

## はじめに



岐阜市は、長良川と金華山に代表される豊かな自然と、利便性に富んだ都市とが調和したまちであります。

その証に、私たちが日ごろ目にする以上に、市内には多種多様な生きものが生息していることが、本市が平成 21 年度から 25 年度にかけて行った「岐阜市自然環境基礎調査」で明らかになっています。その数は 5,366 種にのぼり、都市化が進んだ本市にも、多くの生きものを育む豊かな自然環境が残っていることを物語っています。

しかし、この岐阜市にも絶滅の危機に瀕している生きものがあることは確かです。今回作成した本書「岐阜市の注目すべき生きものたち 岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015」には、基礎調査で確認した、植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類（十脚類）の 9 分類群から、絶滅の危機に瀕している生きものに加え、人為的影響で市外から侵入した外来の生きものを挙げ、その結果をまとめました。

絶滅の危機に瀕している生きもののリスト「レッドリスト」には、465 種を選定しており、今後私たちはその生態を見守り、必要に応じて保全対策を実施していかなければなりません。一方、「ブルーリスト」には 285 種が該当、このリストに挙げた生きものは、もともと岐阜市に生息していた生きものに大きな影響を与えかねないものも含まれているため、その生態の状況を把握しながら、適切に対応していくことが必要だと考えています。

今後は本書の作成を生物多様性保全のひとつのステップとし、市内に生息する生きものと自然環境を保全する活動計画「生物多様性地域戦略」の策定を進めていきたいと考えておりますので、引き続き皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本書の作成にあたり、多大なご尽力を賜りました専門家の先生方や関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月  
岐阜市長 細江茂光

<撮影者名> 順不同

ヒナコウモリ：梶浦敬一  
 ナタネキバサナギガイ：川瀬基弘(市外産)  
 アオハダトンボ：中島和典  
 シロヒレタビラ：岐阜市自然環境課  
 ヒメコウホネ：岐阜市自然環境課  
 サンコウチョウ：大塚之稔  
 カスミサンショウウオ：高木雅紀  
 サワガニ：向井貴彦  
 ニホンイシガメ：岐阜市自然環境課  
 ソウシチョウ：大塚之稔  
 ウシガエル：鈴木彰  
 オオキンケイギク：岐阜市自然環境課  
 ブルーギル：向井貴彦  
 ホクベイカミツキガメ：矢部隆(市外撮影)  
 アライグマ：梶浦敬一

ヒナコウモリ 絶滅危惧 I 類	アオハダトンボ 絶滅危惧 I 類	ヒメコウホネ 絶滅危惧 I 類
ナタネキバサナギガイ 絶滅危惧 I 類	シロヒレタビラ 絶滅危惧 I 類	
サンコウチョウ 準絶滅危惧	カスミサンショウウオ 絶滅危惧 I 類	ソウシチョウ 侵入ランクC
	サワガニ 準絶滅危惧	ウシガエル 侵入ランクA
ニホンイシガメ 準絶滅危惧	ブルーギル 侵入ランクA	オオキンケイギク 侵入ランクA
	アライグマ 侵入ランクA	

(表紙写真種名等)

## まえがき

今もなお、あちらこちらで「新種発見」のニュースが流れる一方で、絶滅したあるいは絶滅の危機に瀕している生きものが多数います。身近にいる生きものも、「昔はよく見かけたが、最近は見ない」といったものも少なくありません。また逆に、「昔は見なかったが、最近よく目にする」という声も聞きます。大きな開発事業があれば別ですが、普段の何気ない生活の中でも、生きものたちの暮らしは日々変化しています。

岐阜市には都市環境から里地里山環境や森林環境といった多様な環境が見られ、そこに棲む生きものたちは、古くから人の営みと共に生きてきました。

しかしながら、こうした生きものたちも、大規模開発や河川改修、水質汚染などはもとより、山林や農耕地の管理不足、水路の暗渠化といった小規模の環境改変によっても大きな影響を受けて減少しています。一方で、市域外から侵入した外来生物の中には、生育・生息域を広げると共に、在来の生きものの生育・生息をも脅かす存在となっているものもいます。

岐阜市では、自然環境基礎調査をはじめ、多くの有識者や市民の方々の協力、情報の提供などを得て、昨年度、岐阜市に生育・生息する生きものについて整理した「岐阜市の自然情報」を作成しました。今年度はさらに、岐阜市での絶滅のおそれのある野生生物リスト（いわゆる岐阜市版レッドリスト）と、岐阜市で見られる外来生物リスト（いわゆる岐阜市版ブルーリスト）を作成することになり、作業を行ってきました。

結果として、レッドリスト掲載種では、植物が 309 種、動物が 156 種の合計 465 種が選定されました。一方、ブルーリスト掲載種は、植物が 200 種、動物が 85 種の合計 285 種が該当しました。

これらの数が「多い」か「少ない」かは別として、岐阜市に生育・生息記録のある生きもののうち、465 種が絶滅あるいは絶滅の危機に瀕しており、反面、285 種もの外来生物が岐阜市内に生育・生息していることとなります。

この現状を認識し、レッドリスト掲載種に対しては、今後、これらの生きものを保全していくための方策を検討していく必要があります。一方、ブルーリスト掲載種については、在来の生きものや自然環境、市民生活などへの影響の程度を調査し、必要に応じて適切な対策を検討していくことが必要です。

なお、今回作成した各リストは、上記のとおり、自然環境基礎調査をはじめとする膨大な調査データを基に整理したものです。これに対しては、市民の方々から様々な意見をいただくと共に、選定にあられた先生方にご尽力いただいたことにより作成することができました。ただ、これで各リストは完結したわけではありません。むしろ出発点です。今後、さらなる調査や改訂作業が行われることにより、その年代の現状に即したリストが作成され、適切な対策などが図られていくことを期待します。

また、このリストの公開により、一人でも多くの方が、身近な生きものに関心を持っていただき、そしてその関心が、岐阜市の自然環境をより良い方向に導くことを祈念します。

平成 27 年 3 月

岐阜市版レッドリスト等作成検討委員会

委員長 田中 俊弘





# 目次

I. 岐阜市版レッドリスト	1
I-1. 総論	3
I-1-1 背景と目的	4
I-1-2 選定体制	4
I-1-3 選定経緯	5
I-1-4 選定対象分類群	5
I-1-5 リスト掲載種の選定要件	5
I-1-6 カテゴリー定義	6
I-1-7 選定結果総括	8
I-1-8 今回取り上げなかった種	10
I-2. 各論	13
I-2-1 植物（維管束植物）	14
I-2-2 哺乳類	86
I-2-3 鳥類	90
I-2-4 爬虫類	97
I-2-5 両生類	100
I-2-6 魚類	104
I-2-7 昆虫類	114
I-2-8 貝類	122
I-2-9 甲殻類（十脚類）	135
I-3. 岐阜市版レッドリスト掲載種一覧	137
II. 岐阜市版ブルーリスト	147
II-1. 総論	149
II-1-1 背景と目的	150
II-1-2 選定体制	150
II-1-3 選定経緯	151
II-1-4 選定対象分類群	151
II-1-5 リスト掲載種の選定要件	151
II-1-6 カテゴリー定義	152
II-1-7 選定結果総括	152
II-2. 各論	155
II-2-1 植物（維管束植物）	156
II-2-2 哺乳類	188
II-2-3 鳥類	190
II-2-4 爬虫類	192
II-2-5 両生類	194
II-2-6 魚類	196
II-2-7 昆虫類	200
II-2-8 貝類	208
II-2-9 甲殻類（十脚類）	213
II-3. 岐阜市版ブルーリスト掲載種一覧	215
参考・引用文献	222
索引	223

あとがき





# I. 岐阜市版レッドリスト 2015



シロチドリ 絶滅危惧Ⅰ類	エンシュウムヨウラン 絶滅危惧Ⅰ類	スナヤツメ(北方種) 絶滅危惧Ⅱ類
-----------------	----------------------	----------------------

Ⅰ. 岐阜市版レッドリスト 2015

トウカイヨシノボリ 絶滅危惧Ⅰ類	ニホンアカガエル 絶滅危惧Ⅱ類	ヨタカ 絶滅危惧Ⅰ類
---------------------	--------------------	---------------

コキクガシラコウモリ 準絶滅危惧	ヒメタイコウチ 絶滅危惧Ⅱ類	サギソウ 絶滅危惧Ⅰ類
---------------------	-------------------	----------------

カイツブリ 準絶滅危惧	ミゾレヌマエビ 絶滅危惧Ⅱ類	レンズガイ 絶滅危惧Ⅱ類
----------------	-------------------	-----------------

カザグルマ 絶滅危惧Ⅰ類	タカチホヘビ 情報不足	カワヒガイ 準絶滅危惧
-----------------	----------------	----------------

<p>&lt;撮影者名&gt; 順不同</p> <p>シロチドリ：大塚之稔  エンシュウムヨウラン：大塚英樹  スナヤツメ(北方種)：向井貴彦  トウカイヨシノボリ：向井貴彦  ニホンアカガエル：高木雅紀  ヨタカ：大塚之稔  コキクガシラコウモリ：梶浦敬一  ヒメタイコウチ：岐阜市自然環境課  サギソウ：岐阜市自然環境課  カイツブリ：大塚之稔  ミゾレヌマエビ：向井貴彦  レンズガイ：川瀬基弘  カザグルマ：岐阜市自然環境課  タカチホヘビ：高木雅紀  カワヒガイ：向井貴彦</p>
---

(前頁写真種名等)



## I - 1. 総論



撮影：佐藤克則(金華山)

### I-1-1 背景と目的

わが国では先の高度経済成長により、人々の生活基盤が豊かになり、比較的安定した暮らしを維持できるようになってきた。その一方で、身近であった豊かな自然環境は減少し、それとともに普段目にしていた生きものたちが姿を消しつつある。

こうしたなか、国際社会では、国際自然保護連合(IUCN)が1966年に「レッドデータブック(絶滅のおそれのある野生生物のリスト)」を作成し、2006年以降、ほぼ毎年改定が行われている。国内においては、1989年に我が国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物種分科会から「我が国における保護上重要な植物種の現状」が発行された。また、1991年には当時の環境庁から「日本の絶滅のおそれのある野生生物(脊椎動物編)」、「同(無脊椎動物編)」が発行され、以降植物編の発行や改定作業が行われ、現在、第4次リストが公開されている。

こうした流れを受け、各都道府県においてもレッドデータブックやレッドリストが作成されており、岐阜県でも2001年に「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物」が発行され、その後、2009年に「岐阜県レッドリスト(動物編)改訂版」、2013年に「岐阜県レッドリスト(植物編)改訂版」を作成している。動物に関しては、現在、さらに改定作業を実施中である。

こうした国や県レベルでのレッドデータブックやレッドリストは、国全体あるいは県全体をベースに作成されたものであり、市町村レベルでは、必ずしも現状に即したものにはなっていない。こうしたことから、市町村においてもレッドデータブックやレッドリストを作成する動きが出ており、すでに多くの市町村で作成・改定作業が行われている。

岐阜市では、平成8年度～11年度にかけて岐阜市自然環境実態調査を行い、「自然環境と保全 ー岐阜市自然環境実態調査報告書ー」を作成した。さらにその後の様々な資料、調査データや平成21年度～25年度に行った岐阜市自然環境基礎調査によって、「岐阜市の自然情報 ～岐阜市自然環境基礎調査～」を作成したことで、岐阜市内の自然環境の現状がより明らかになってきた。

また、岐阜市は、平野部から丘陵地が主要な環境であり、平野部から3,000mを超える山々を抱える岐阜県全域とでは生物相も異なり、かつ、重要性も異なると考えられる。そこで、岐阜県版との差異を示すとともに、岐阜市の現状に合った評価を行うことにより、岐阜市版レッドリストを作成することとした。

### I-1-2 選定体制

岐阜市版レッドリストの選定は、岐阜市自然環境基礎調査部会が行い、さらに5名からなる岐阜市版レッドリスト等作成検討委員会にて評価方法や検討を行った。

岐阜市自然環境基礎調査部会と岐阜市版レッドリスト等作成検討委員は、表I-1-1のとおりであり、選定等にご協力いただいた方は以下のとおりである。

表 I-1-1 岐阜市自然環境基礎調査部会

分野等	委員名	所属
委員長	◎ 田中俊弘	岐阜生物多様性研究会 代表
植物	近藤慎一	岐阜県植物研究会 会員
哺乳類	梶浦敬一	ぎふ哺乳動物研究会 会員
鳥類	○ 大塚之稔	日本野鳥の会岐阜 代表
爬虫類	○ 矢部 隆	愛知学泉大学 現代マネジメント学部 教授
両生類	高木雅紀	岐阜県立岐阜高等学校 教諭
魚類	○ 向井貴彦	岐阜大学 地域科学部 准教授
昆虫類	○ 野平照雄	岐阜県昆虫分布研究会 会員、一般財団法人 自然学総合研究所 客員研究員
貝類	川瀬基弘	愛知みずほ大学 人間科学部 講師
甲殻類(十脚類)	兼 向井貴彦	岐阜大学 地域科学部 准教授
注) 名前の前の「◎」は検討委員長 「○」は検討委員 「兼」は他の分類群との兼務		

## ＜協力者＞

大塚英樹 田上正隆 中島和典 藤原麒一朗 箕浦博之 村瀬文好 矢追雄一

(五十音順、敬称略)

## I-1-3 選定経緯

岐阜市は、これまで2回に渡って自然環境に関する調査を実施し、それぞれ冊子として取りまとめている(表 I-1-2 参照)。

今回、これらの調査結果などを基に、岐阜市版のレッドリストの作成を行った。

表 I-1-2 選定経緯

年 度	事 項
平成8年度 ～平成11年度	「岐阜市自然環境実態調査」の実施 →「自然環境と保全 ー岐阜市自然環境実態調査報告ー」刊行
平成21年度 ～平成25年度	「岐阜市自然環境基礎調査」の実施 →「岐阜市の自然情報 ～岐阜市自然環境基礎調査～」刊行
平成26年6月	第1回 検討委員会
平成26年8月	第2回 検討委員会
平成26年12月	第3回 検討委員会
平成27年3月	「岐阜市の注目すべき生きものたち 岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト2015」刊行

## I-1-4 選定対象分類群

レッドリスト選定対象分類群は、平成21年度～平成25年度にかけて行った岐阜市自然環境基礎調査での調査対象分類群であり、かつ、岐阜県レッドリストの対象分類群を参考に「植物(維管束植物)」「哺乳類」「鳥類」「爬虫類」「両生類」「魚類」「昆虫類」「貝類」「甲殻類(十脚類)」の9分類群とした。

## I-1-5 リスト掲載種の選定要件

岐阜市にはこれまでに、上記の9分類群のうち、表 I-1-3 のとおり5,381種の生育・生息記録がある。

今回のレッドリスト掲載種の選定にあたっては、岐阜市内に生育・生息記録のあるこれら種のうち、表 I-1-4 に示す選定理由により絶滅が危惧される種をレッドリスト掲載種として選定した。

表 I-1-3 岐阜市内で生育・生息記録のある生物の科種数

分類群名	科数 (科)	種数 (種)
植物	160	1,541
哺乳類	18	35
鳥類	57	238
爬虫類	10	17
両生類	7	16
魚類	21	67
昆虫類	291	3,358
貝類	34	101
甲殻類(十脚類)	5	8
動物小計	443	3,840
合計	603	5,381

注)科種数については、「岐阜市の自然情報 ～岐阜市自然環境基礎調査～」(2014 岐阜市)に新たな記録種を加えたもので整理している。

表 I-1-4 レッドリスト掲載種選定理由

選定理由	
分布限界	北限や南限など、生育・生息地が分布の限界になっている。
希少	個体数が極めて少ない。
特殊環境	湿地や湧水地など限られた面積しかない環境や、小規模の開発によっても影響を受けやすい環境にのみ生育・生息している。
特異生態	寄生や腐生、共生など特異な生態のため、環境変化の影響を受け易い。
環境改変	各種開発行為あるいは放置により、生育・生息環境が減少・消失している。また、これにより個体数が減少している。
営利目的	採集・捕獲などにより個体数が減少している。
外来種の影響	外来種による捕食や生育・生息環境の競合により、個体数が減少している。

### I-1-6 カテゴリー定義

#### (1) 環境省、岐阜県のカテゴリー区分との関係

環境省のレッドリストでは、「絶滅のおそれのある地域個体群」を含め、8つのカテゴリーに区分している。岐阜県では、絶滅危惧 I A類と絶滅危惧 I B類を絶滅危惧 I類に整理するとともに、「絶滅のおそれのある地域個体群」を除いた6区分としている。岐阜市では、岐阜県に準拠し、6区分として整理した。

表 I-1-5 カテゴリー区分の関係

環境省	岐阜県	岐阜市
絶滅	絶滅	絶滅
野生絶滅	野生絶滅	野生絶滅
絶滅危惧 I類 ┌ 絶滅危惧 I A類 └ 絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 I類	絶滅危惧 I類
絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 II類
準絶滅危惧	準絶滅危惧	準絶滅危惧
情報不足	情報不足	情報不足
絶滅のおそれのある地域個体群	—	—



## (2) 岐阜市版レッドリスト カテゴリー定義

岐阜市版レッドリストのカテゴリー定義については、「岐阜県レッドリスト(動物編)改訂版」(平成21年)および「岐阜県レッドリスト(植物編)改訂版」(平成25年)を参考に、表 I-1-6 のとおり定性的要件により整理した。

表 I-1-6 岐阜市版レッドリスト カテゴリー定義

区分	基本理念	定性的要件
絶滅	市内では、すでに絶滅したと考えられる種。	過去に市内に生育・生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、市内ではすでに絶滅したと考えられる種。
野生絶滅	市内において、飼育・栽培下でのみ存続している種。	過去に市内に生育・生息したことが確認されており、飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態では存続しているが、市内において本来の自然の生育・生息地ではすでに絶滅したと考えられる種。
絶滅危惧Ⅰ類	市内において、絶滅の危機に瀕している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。	市内において次のいずれかに該当する種。 ①既知の全ての個体群で、危機的水準にまで個体数が減少している。 ②既知のすべての生息地で、生育・生息要件が著しく悪化している。 ③既知の全ての個体群でその再生産能力を上回る捕獲・採取圧あるいは被食圧を受けている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種、または生態的に優越すると考えられる別種が侵入している。 ⑤生育・生息地面積や成熟個体数について、継続的な減少が予測されるあるいは、極度の減少が見られる。 ⑥それほど遠くない過去(約30年~50年)の生息記録以降確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。
絶滅危惧Ⅱ類	市内において、絶滅の危険が増大している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。	市内において次のいずれかに該当する種。 ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生育・生息地で生育・生息要件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧あるいは被食圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種または生態的に優越すると考えられる別種が侵入している。
準絶滅危惧	市内において、存続基盤が脆弱な種。 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。	市内において次のいずれかに該当する種。 生息状況の推移からみて、種の存続への圧迫が強まっていると判断されているもの。具体的には分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。 ①個体数が減少している。 ②生育・生息条件が悪化している。 ③過度の捕獲・採取圧あるいは被食圧による圧迫を受けている。 ④交雑可能な別種、または生態的に優越すると考えられる別種が侵入している。
情報不足	市内において、評価するだけの情報が不足している種。	ランクを判定するに足る情報は無いが、次のいずれかに該当する種。 ①どの生育・生息地においても生育・生息密度が低く希少である。 ②生育・生息地が局限されている。 ③生物地理上、孤立した分布特性を有する(分布域がごく限られた固有種等)。 ④生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。

I-1-7 選定結果総括

(1) 岐阜市版レッドリスト掲載種数

岐阜市にはこれまでに5,381種の動植物について生息・生育が記録されており、今回のレッドリスト掲載種では、そのうち8.6%にあたる465種を選定した。このうち植物については、岐阜市内で生育記録のある種の20.1%にあたる309種をレッドリスト掲載種として選定した。一方動物については、4.1%(分類群ごとでは哺乳類が28.6%、鳥類が9.2%、爬虫類が35.3%、両生類が68.8%、魚類が53.7%、昆虫類が0.7%、貝類が41.6%、甲殻類が50.0%)にあたる156種をレッドリスト掲載種として選定した(表I-1-7参照)。

表 I-1-7 岐阜市版レッドリスト掲載種の分類群別カテゴリ別種数

分類群		岐阜市カテゴリ						合計
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	情報不足	
植物	シダ植物	0	0	4	4	3	6	17
	種子植物	1	0	68	96	98	29	292
	小計	1	0	72	100	101	35	309
動物	哺乳類	0	0	2	0	8	0	10
	鳥類	0	0	8	4	10	0	22
	爬虫類	0	0	0	0	1	5	6
	両生類	0	0	1	2	2	6	11
	魚類	0	1	7	7	17	4	36
	昆虫類	1	0	3	8	8	5	25
	貝類	0	0	8	9	16	9	42
	甲殻類(十脚類)	0	0	0	2	2	0	4
	小計	1	1	29	32	64	29	156
合計	2	1	101	132	165	64	465	

(2) レッドリスト掲載種分布状況

植物については、3次メッシュの1/2地域メッシュで見ると、市域全体(907メッシュ)の28.1%にあたる255メッシュでいずれかのレッドリスト種の生育が記録されている(図I-1-1参照)。

一方、動物では、市域の57.6%にあたる522メッシュでいずれかのレッドリスト種の生息が記録されている(図I-1-2参照)。

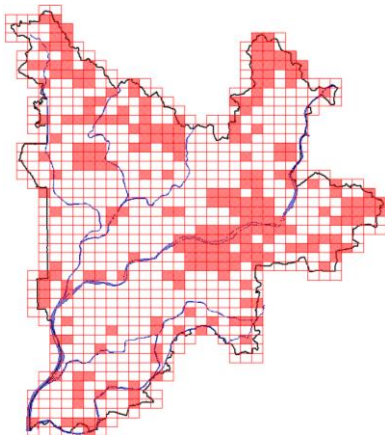


図 I-1-1 植物レッドリスト掲載種記録メッシュ

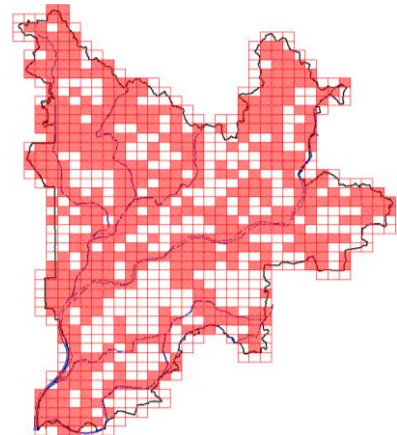


図 I-1-2 動物レッドリスト掲載種記録メッシュ

注)いずれも詳細な位置情報のあるデータについて整理。

(3) 地区別記録種数等

岐阜市では、市域を自治会連合会を基準に50の地区に区分している。

この地区ごとのレッドリスト掲載種(植物・動物)の記録種数は、表I-1-8のとおりである。

また、記録種数の分布状況を図I-1-3に示す。

これによると、岐阜市の中心市街地に向かって記録種数が減少している状況である。

このうち、網代、方県、常磐、三輪北、金華、日野、長良東の7地区でレッドリスト掲載種の記録種数が100を超えている。また、それらに隣接する黒野、三輪南、藍川、岩、芥見、芥見東及び合渡の各地区でも50を超える数のレッドリスト掲載種の記録がある。

表 I-1-8 地区別レッドリスト掲載種記録種数

地区名	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足	合計
日野	0	0	20	48	72	10	150
金華	0	0	20	34	72	10	136
方県	0	0	15	31	72	14	132
長良東	0	0	14	33	68	7	122
網代	0	0	8	20	74	12	114
三輪北	0	0	10	24	63	12	109
常磐	0	0	17	26	48	13	104
三輪南	0	1	7	19	49	8	84
芥見東	0	0	14	29	34	6	83
芥見	0	0	6	15	47	9	77
黒野	0	0	15	14	36	9	74
藍川	0	0	4	16	41	7	68
岩	0	0	6	13	32	6	57
合渡	0	0	4	8	30	9	51
岩野田北	0	0	4	13	21	7	45
鷺山	0	0	7	8	23	7	45
鏡島	0	0	4	10	23	5	42
長良	0	0	4	8	26	4	42
岩野田	0	0	6	6	22	7	41
西郷	0	0	3	6	25	7	41
芥見南	0	0	4	10	19	3	36
日置江	0	0	5	5	20	6	36
長森西	0	0	3	6	22	3	34
柳津	0	0	4	4	21	5	34
島	0	0	1	6	21	5	33
木田	0	0	3	8	15	6	32
七郷	0	0	3	7	16	6	32
長良西	0	0	2	5	19	5	31
梅林	0	0	3	5	21	2	31
市橋	0	0	3	5	16	5	29
早田	0	0	4	3	15	4	26
長森南	0	0	0	5	14	4	23
長森東	0	0	0	5	14	3	22
厚見	0	0	0	2	14	5	21
鶺鴒	0	0	1	2	13	5	21
城西	0	0	2	4	10	5	21
則武	0	0	3	4	7	5	19
善部	0	0	0	1	14	3	18
京町	0	0	2	2	11	0	15
白山	0	0	1	0	10	3	14
長森北	0	0	0	3	8	3	14
本郷	0	0	0	5	9	0	14
加納東	0	0	2	0	10	1	13
三里	0	0	0	0	7	5	12
本荘	0	0	0	1	8	2	11
華陽	0	0	0	0	6	2	8
明德	0	0	1	1	4	0	6
加納西	0	0	2	0	3	0	5
木之本	0	0	0	1	0	0	1
徹明	0	0	0	0	0	0	0

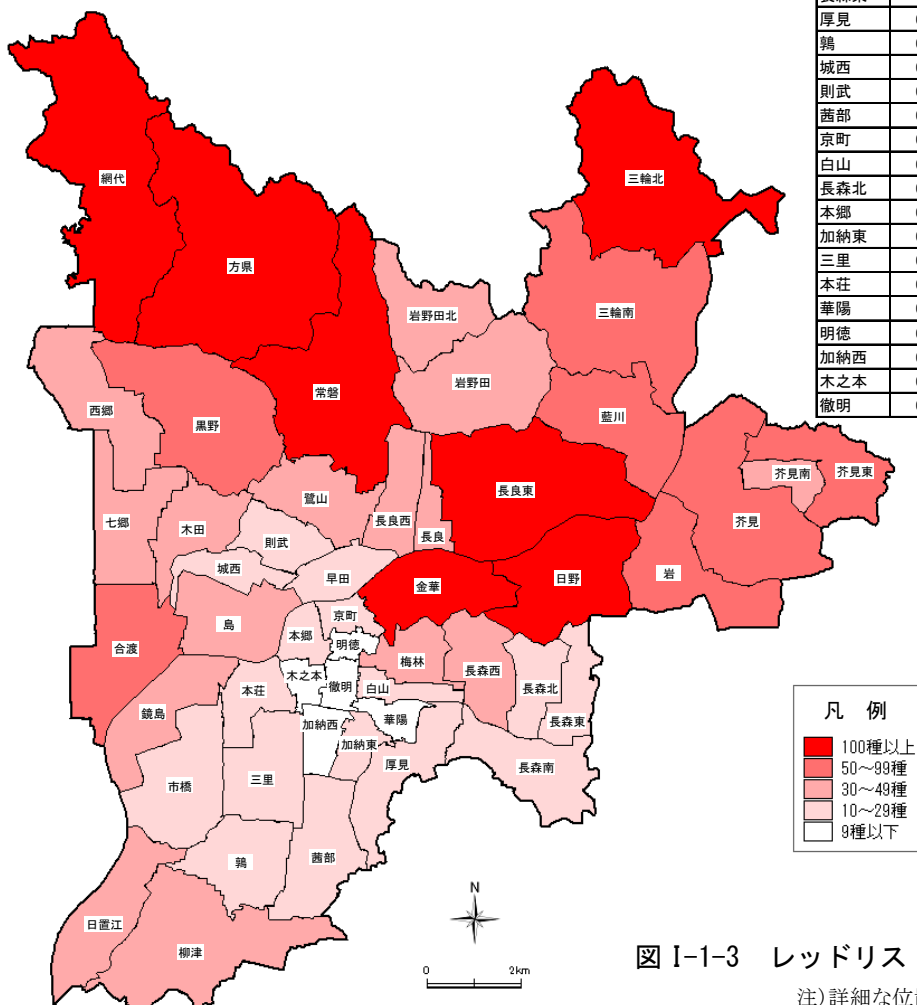


図 I-1-3 レッドリスト掲載種記録種数の分布状況

注) 詳細な位置情報のあるデータについて整理。

I-1-8 今回取り上げなかった種

岐阜市に係るレッドリスト掲載種としては、これまでに環境省や岐阜県で選定が行われている。これらのうち、表 I-1-9 に示した種については、岐阜市での生育・生息情報があるものの、「市内に広く分布し、個体数も多い」「分布は局地的だが個体数が多い」「渡りなど移動途中での記録のみ」「市内での繁殖記録が無い」「記録が 1 回のみ」「記録年代が非常に古い」「他の地域から人為的に持ち込まれた移入種」などの理由から、岐阜市版レッドリスト掲載種には選定しなかった。

表 I-1-9 今回取り上げなかった種 (1/3)

分類	和名	学名	環境省 レッドリスト	岐阜県 レッドリスト
植物	トキホコリ	<i>Elatostema densiflorum</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	アゼオトギリ	<i>Hypericum oliganthum</i>	絶滅危惧ⅠB類	
	ヒゴスミレ	<i>Viola chaerophylloides</i> var. <i>sieboldiana</i>		絶滅危惧Ⅰ類
	ヤマジソ	<i>Mosla japonica</i>	準絶滅危惧	
	ホナガタツナミソウ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> var. <i>maekawae</i>		準絶滅危惧
	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	準絶滅危惧	
	オオヌカキビ	<i>Panicum paludosum</i>	絶滅危惧ⅠA類	
	ヒンジモ	<i>Lemna trisulca</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	シラン	<i>Bletilla striata</i>	準絶滅危惧	
	ハルザキヤツシロラン	<i>Gastrodia nipponica</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
鳥類	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	マガン	<i>Anser albifrons</i>	準絶滅危惧	
	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	情報不足	準絶滅危惧
	トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	アオバト	<i>Treron sieboldii</i>		情報不足
	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	絶滅危惧ⅠA類	
	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
	オオヨシゴイ	<i>Ixobrychus eurhythmus</i>	絶滅危惧ⅠA類	
	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
	チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	準絶滅危惧	
	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutu</i>		情報不足
	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	情報不足	
	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	準絶滅危惧	
	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	準絶滅危惧	
	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	絶滅危惧ⅠB類	
	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>		情報不足
	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類
	クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類

表 I-1-9 今回取り上げなかった種 (2/3)

分類	和名	学名	環境省 レッドリスト	岐阜県 レッドリスト
鳥類	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>		情報不足
	コノハズク	<i>Otus sunia</i>		絶滅危惧Ⅱ類
	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>		準絶滅危惧
	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>		準絶滅危惧
	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類
	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	絶滅危惧ⅠB類	
	アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅰ類
	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>		準絶滅危惧
	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>		情報不足
	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>		準絶滅危惧
	ハジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>		情報不足
	コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
両生類	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	準絶滅危惧	
魚類	ゼゼラ	<i>Biwia zezera</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>	絶滅危惧ⅠB類	情報不足
	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	情報不足	
	アジメドジョウ	<i>Niwaella delicata</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	シマヒレヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. BF	準絶滅危惧	
昆虫類	マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>		情報不足
	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	準絶滅危惧	
	タバサナエ	<i>Trigomphus citimus tabei</i>	準絶滅危惧	
	フタスジサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i>	準絶滅危惧	情報不足
	オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i>	準絶滅危惧	情報不足
	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i>	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅰ類
	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	準絶滅危惧	
	ルリイロスカシクロバ	<i>Illiberis consimilis</i>		情報不足
	ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i>		準絶滅危惧
	スジグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus leoninus leoninus</i>	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	ヒメジミ本州・九州亜種	<i>Plebejus argus micrargus</i>	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>	準絶滅危惧	
	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i>	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
	ウラナミジャノメ本土亜種	<i>Ypthima multistriata nipponica</i>	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類
	スキバホウジャク	<i>Hemaris radians</i>	絶滅危惧Ⅱ類	
	ギンボシスズメ	<i>Parum colligata</i>		情報不足
	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	準絶滅危惧	
	カギモンハナオイアツバ	<i>Cidaripura signata</i>	準絶滅危惧	
	ウスミモンキリガ	<i>Eupsilia contractra</i>	準絶滅危惧	
	キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i>	準絶滅危惧	
	ミスジキリガ	<i>Jodia sericea</i>	準絶滅危惧	
	カギモンキリガ	<i>Orthosia nigromaculata</i>		情報不足

表 I-1-9 今回取り上げなかった種 (3/3)

分類	和名	学名	環境省 レッドリスト	岐阜県 レッドリスト	
昆虫類	ギンモンアカヨトウ	<i>Plusilla rosalia</i>	絶滅危惧Ⅱ類		
	ネグロクサアブ	<i>Coenomyia basalis</i>	情報不足		
	ヒトツメアオゴミムシ	<i>Chlaenius deliciolus</i>	準絶滅危惧		
	イグチケブカゴミムシ	<i>Peronomerus auripilis</i>	準絶滅危惧		
	シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringii</i>	準絶滅危惧		
	オオイチモンジシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus conspersus</i>	絶滅危惧ⅠB類		
	シャーブツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus sharpi</i>	準絶滅危惧		
	キベリマメゲンゴロウ	<i>Platambus fimbriatus</i>	準絶滅危惧		
	コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i>	絶滅危惧Ⅱ類		
	スジヒラタガムシ	<i>Helochares nipponicus</i>	準絶滅危惧		
	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	情報不足		
	ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>	準絶滅危惧		
	シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i>	絶滅危惧ⅠB類		
	オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
	アカマダラハナムグリ	<i>Anthracophora rusticola</i>	情報不足	準絶滅危惧	
	クロモンマグソコガネ	<i>Aphodius variabilis</i>	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類	
	マルエンマコガネ	<i>Onthophagus viduus</i>		絶滅危惧Ⅰ類	
	ミイロムネビロオオキノコムシ	<i>Microsternus tricolor</i>		準絶滅危惧	
	カツラネクイハムシ	<i>Donacia katsurai</i>		準絶滅危惧	
	ホシアシブトハバチ	<i>Agenocimbex jucunda</i>	情報不足		
	オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i>	情報不足		
	ケブカツヤオオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i>	情報不足		
	トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>	絶滅危惧Ⅱ類		
	ヤマトアシナガバチ	<i>Polistes japonicus japonicus</i>	情報不足		
	モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>	情報不足		
	スギハラベッコウ	<i>Leptodialepis sugiharai</i>	情報不足		
	ヤマトアオスジベッコウ	<i>Paracyphononyx alienus</i>	情報不足		
	クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>	準絶滅危惧		
	ナミルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i>	情報不足		
	クズハキリバチ	<i>Megachile pseudomonticola</i>	情報不足		
	貝類	タテヒダカワニナ	<i>Semisulcospira (Biwamelania) decipiens</i>	準絶滅危惧	
		イボカワニナ	<i>Semisulcospira (Biwamelania) decipiens multigranosa</i>	準絶滅危惧	
カゴメカワニナ		<i>Semisulcospira (Biwamelania) decipiens reticulata</i>	準絶滅危惧		
ヒメヒラマキミズマイマイ		<i>Gyraulus pulcher</i>	情報不足		
ヒラマキガイモドキ		<i>Polypylis hemisphaerula</i>	準絶滅危惧		
オオウエキビ		<i>Trochochlamys fraterna</i>	情報不足		
ヤマトシジミ		<i>Corbicula japonica</i>	準絶滅危惧		



## I - 2. 各論



撮影：佐藤克則(金華山)

## I-2-1 植物（維管束植物）

植物(維管束植物)のレッドリスト掲載種は、岐阜市内で生育記録のある1,541種のうち20.1%にあたる309種を選定した。

分類別にみると、シダ植物が17種、裸子植物が1種、双子葉植物が221種、単子葉植物が70種となる。また、カテゴリー別では、絶滅種としてジュンサイの1種が挙げられ、絶滅危惧Ⅰ類はミズニラ、カザグルマ、ヒメコウホネ、イヌセンブリ、セッコクなど72種(シダ植物4種、双子葉植物44種、単子葉植物24種)、絶滅危惧Ⅱ類はウチワゴケ、シデコブシ、ツメレンゲ、キキョウ、ギンランなど100種(シダ植物4種、双子葉植物72種、単子葉植物24種)、準絶滅危惧はクサソテツ、イヌガヤ、ニリンソウ、リンドウ、カキツバタなど101種(シダ植物3種、裸子植物1種、双子葉植物81種、単子葉植物16種)、情報不足はミヤマウラボシ、カシワ、ハナノキ、ガガブタ、エビネなど35種(シダ植物6種、双子葉植物23種、単子葉植物6種)である。なお、野生絶滅の該当種はない(表I-2-1参照)。

絶滅種として挙げられたジュンサイは、「自然環境と保全 岐阜市自然環境実態調査報告」(2000岐阜市)によると、かつては三田洞に生育していたが、2000年時点ではすでに消失していたとされている。

確認場所の詳細な記録があるデータを基に、カテゴリーごとの分布状況(3次メッシュの1/2地域メッシュ)についてみると、絶滅危惧Ⅰ類の種群は、金華山周辺、長良古津地区、大洞地区など主に岐阜市の中東部を中心に59メッシュで記録がある。絶滅危惧Ⅱ類の種群は、金華山周辺、日野地区、大洞地区、山県北野地区、椿洞地区、雛倉地区など岐阜市の中部から北部を中心に118メッシュで記録がある。準絶滅危惧の種群は、絶滅危惧Ⅰ類やⅡ類の種群と同様の地区のほか、境川や荒田川沿いなど市域の南部を含む217メッシュで記録がある。カテゴリーごとの分布状況は図I-2-1に示すとおりである。

表 I-2-1 植物分類別カテゴリー別種数

分類				岐阜市カテゴリー						
				絶滅	野生絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	情報不足	合計
シダ植物				0	0	4	4	3	6	17
種子植物	裸子植物			0	0	0	0	1	0	1
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	1	0	24	42	54	15	136
			合弁花類	0	0	20	30	27	8	85
単子葉植物			0	0	24	24	16	6	70	
合計				1	0	72	100	101	35	309

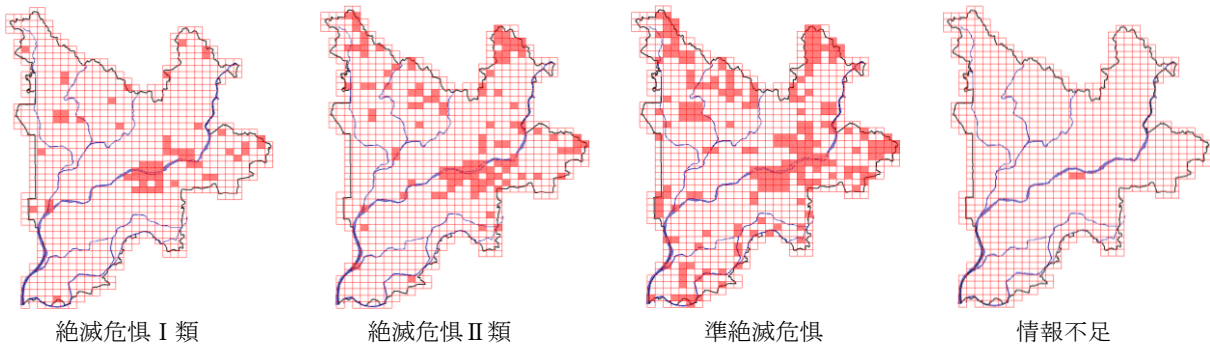


図 I-2-1 カテゴリー別分布状況(植物)



## ジュンサイ

*Brasenia schreberi*

スイレン科

岐阜市：絶滅  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化、営利目的

＜種の概要＞ 水質が酸性に偏り、底に有機物の堆積が見られる比較的古い池に生育する多年生の水生植物。根茎は泥中を横走し、葉は水面に浮かぶ。葉身は楕円形で径5～10cm、裏面は紫色を帯びる。花期は6～8月。水面で開花し、花被片は紫褐色。粘質物に被われた若芽は、吸い物の具や酢の物として古くから賞味されている。

＜分布＞ [市内] 岩野田で記録があった。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## ミズニラ

*Isoetes japonica*

ミズニラ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 池沼や川底、湿地に生育するやわらかい夏緑性の水生シダ植物。葉は長さ10～30cmで4稜のある円柱状、先端はしだいに細くなる。葉の基部は広がって卵状となり、そのくぼみに1個の孢子嚢がある。大孢子の表面にはハチの巣状の模様がある。

＜分布＞ [市内] 岩で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 北海道(胆振)、本州、四国(徳島県)、九州(鹿児島県)に分布。

＜特記事項＞ 貧栄養の水域に生育するが、開発等による直接的な影響や、富栄養化に伴う他の植物との競争により、生育場所を失っている。



撮影：大塚英樹

## カミガモシダ

*Asplenium oligophlebium*

チャセンシダ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 山地の岩上や地上に生育する固有種。常緑性のシダ植物。根茎は短く斜上し葉を叢生する。葉柄は長さ2～8cm、紫～茶褐色で光沢があり、基部に鱗片を付ける。葉身は単羽状で線形～狭披針形、長さ7～20cm、幅1.5～3.5cm。羽片は薄い草質、無柄で狭長楕円形、基部に耳状突起があるため三角状長楕円形に見える。孢子嚢群は長楕円形～線形、羽片に数個ずつ付く。和名は京都の上賀茂神社に由来する。

＜分布＞ [市内] 三輪北で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(新潟県、岐阜県以西)、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## メヤブソテツ

*Cyrtomium caryotideum*

オシダ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 常緑性のシダ植物で、葉は頂羽片の発達する単羽状複生。長さは50cmに達することがある。側羽片は2～6対で短い柄があり、頂羽片共に革質。辺縁には鋭鋸歯がある。孢子嚢群は葉裏に多数散在し、胞膜は灰白色で、辺縁は不規則な鋸歯縁となる。

＜分布＞ [市内] 鏡島、合渡で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)、四国、九州の山地に稀に見られる。



撮影：則行雅臣(市外撮影)

**ヘラシダ***Deparia lancea*

オシダ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変

**<種の概要>** 山地の林床、崖地や溪流沿いの陰湿な場所に生育する単葉の常緑性のシダ植物。根茎は長く横走し、黒褐色で長さ2.5~3mm、幅約0.8mmの線状披針形~線形の鱗片がある。葉柄は3~25cm、わら色~褐色で基部に鱗片がある。葉身は単葉で披針形~線形で革質、全縁から浅い波状縁。長さ10~30cm、幅2.5cm以下。胞子嚢群は脈に沿って線形。包膜は全縁。

**<分布>** [市内] 長良東で記録がある。

[県内] 県中部に分布。

[県外] 本州(関東地方中・南部以西の暖地)、四国、九州、琉球に分布。



撮影：大塚英樹

**ムカゴイラクサ***Laportea bulbifera*

イラクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変

**<種の概要>** 山地に生育する多年草で、草丈は40~80cm。葉は長さ5~15cm、幅3~6cm、鋸歯縁。花期は8~9月。雌雄同株で、雌花序は長柄と共に長さ4~7cmで、上方の葉腋に付く。また雄花序は柄がなく長さ4~7cmで、下方の葉腋に付く。葉腋に約5mm径の球形のむかごを付ける。また、葉柄には触れると非常に痛い刺毛がある。

**<分布>** [市内] 金華で記録がある。

[県内] 県内全域に分布。

[県外] 北海道~九州に分布。



撮影：大塚英樹

**ミヤコミズ***Pilea kiotensis*

イラクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変

**<種の概要>** 山地のやや湿った場所に生育する一年草で、草丈は20~40cm。植物体はやや多汁でやわらかい。葉は対生し、狭卵形~長楕円形で長さ3~12cm、先は尾状に尖り、基部はくさび形。葉縁にはまばらに鋸歯があり、葉面には3脈が目立つ。花期は9~10月。葉腋に集散花序が付く。花序の柄には乳頭状の短毛がある。最初に京都付近で発見されたことから都ミズの名がついたと言われている。

**<分布>** [市内] 金華で記録がある。

[県内] 県南部に分布。

[県外] 本州(近畿以西)~九州北部に分布。



撮影：大塚英樹

**シロバナサクラタデ***Persicaria japonica*

タデ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変

**<種の概要>** 日あたりの良い水辺など湿地に生育する多年草。地下茎があり、茎は直立し、よく分枝し、高さ50~100cmになる。葉には短い柄があり、葉は披針形、長さ7~16cm、幅1~2cm。托葉鞘は1~2.5cmの筒状で伏毛があり、縁毛は長い。花期は8~11月。総状花序はややまばらな穂状で先は垂れる。萼は5深裂し腺点があり白色。そう果は3稜形かレンズ形、黒色で光沢があり、長さ1.5~2mm。

**<分布>** [市内] 金華、三輪南、日野、藍川で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、南部に分布。

[県外] 北海道~九州に分布。



撮影：大塚英樹



## ニッケイ

*Cinnamomum sieboldii*

クスノキ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 常緑高木。葉は革質、卵状狭長楕円形または狭楕円形で、長さ8～15cm、幅2.5～5cm、先は長く尖り基部も狭くなる。3行脈は基部よりやや上で分枝し、側方の脈は上向き葉の先端近くまでおよぶ。葉柄は8～15mm。花期は5～6月。花序は新枝に腋生し、葉より短い。花は淡黄緑色。果実は長さ11mmほどの楕円形で黒紫色に熟す。

＜分布＞[市内] 金華、長森西、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 原産地は中国と言われ、栽培からの逸出個体が徳之島、沖縄島、石垣島のほか、各地で野生化している。



撮影：佐久間智子(市外撮影)

## カザグルマ

*Clematis patens*

キンポウゲ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 林縁に生育する落葉性のつる植物。茎は褐色で木化する。葉は羽状複葉、小葉は3～5枚、卵形で先は尖るが鋸歯はない。1年目の枝に1～3対の葉をつけ、1個の花を頂生する。花期は5～6月。花は上向きに完全に開き、径7～12cm、花弁は無く、花弁に見えるのは萼である。萼が8枚で、淡紫色または白色。先端は急に尖る。湿り気が多い場所を好む。

＜分布＞[市内] 芥見、芥見東・南で記録がある。  
[県内] 県北部・中部・東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州北部に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## クサボタン

*Clematis stans*

キンポウゲ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 山地の林縁や草地に生育する多年草。茎は直立して蔓にならず、高さ1mくらい。茎の下部は木化する。葉は長い柄があり、1回3出複葉。小葉は長さ4～13cm、ほぼ卵形で3浅裂し、先は鋭くとがり基部はくさび形～切形で不揃いな粗い鋸歯がある。花期は夏～初秋。茎の先端や葉腋に集散状の花序を生じ、しばしば集まって大きな円錐状となる。花弁は無く、萼が下向きの鐘状となり、先は反り返る。長さ1.2～2cm、多数付ける。外面は短い白毛を密生し、内面は淡紫色。

＜分布＞[市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州～四国、九州に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## トウゴクサバノオ

*Dichocarpum trachyspermum*

キンポウゲ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 林内に生育する一年草～二年草。地下茎は発達せず、茎は高さ10～20cmで、基部に数枚の根出葉を束生する。茎葉は全て対生し、対になった葉の基部の鞘は合着する。頂小葉は広卵形～倒卵形で、しばしば3中裂し、鈍い鋸歯がある。花期は4～5月。花は全開せずやや垂れ下がって咲き、径6～8mm、淡黄緑色～白色。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部、南部に分布。  
[県外] 本州(宮城県以南)、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

**バイカモ***Ranunculus nipponicus* var. *submersus*

キンポウゲ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 浅くてきれいな流水に生育する多年生の沈水植物。茎は長さ1～2mにもなり、節から根を出す。葉は3～4回3出し、裂片はさらに2分裂し全体的に房状になる。花期は6～8月。葉腋に単生し梅に似た白色の花を付ける。日本特産種。**<分布>** [市内] 七郷、西郷で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、西部に分布。  
[県外] 北海道と本州に分布。

撮影：近藤慎一(市外撮影)

**ヘビノボラス***Berberis sieboldii*

メギ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 小型の落葉低木で幹は高さ80cm程度。葉はやや革質、倒卵形ないし倒披針形、鋭頭ときにやや鈍頭、長さ3～9cm、幅1～2cm、先が刺状になった細かい鋸歯がある。花期は5月。短枝の先より垂れ下がる総状花序を出し、数個の黄色い花を付ける。果実はほぼ球形。赤色に熟し径約6mm。**<分布>** [市内] 芥見東・南で記録がある。  
[県内] 県北部・中部・東部に分布。  
[県外] 本州(中部地方南西部・近畿地方)、九州(宮崎県)に分布。

撮影：岐阜市自然環境課

**オグラコウホネ***Nuphar oguraensis*

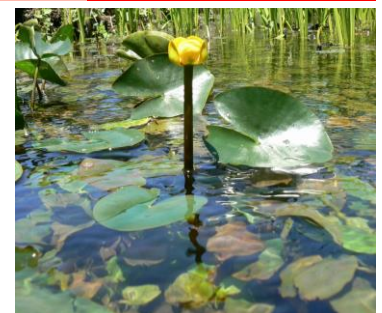
スイレン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 浅い池や沼に生育する多年生の水生植物。水上葉は広卵形、長さ5～10cm、幅4～6cm、裏面に毛がある。花期は7～10月。花弁は黄色、径3～4cm。**<分布>** [市内] 黒野、方県で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(中部以西)、九州に分布。

撮影：岐阜市自然環境課

**ヒメコウホネ***Nuphar subintegerrima*

スイレン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湖沼、ため池、河川の淀みなどに生育する多年生の浮葉植物。地下茎で広がる。沈水葉は広卵形で薄い膜質。浮葉と抽水葉は広卵形～円心形で革質。花期は6～10月、花は径2.5～4cmで黄色。花弁と思われるものは萼であり、花弁はその内側の萼状のものである。**<分布>** [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。**<特記事項>** 「岐阜市自然環境の保全に係る条例」の貴重野生動植物種。

撮影：岐阜市自然環境課



## ヒツジグサ

*Nymphaea tetragona*

スイレン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化、営利目的

＜種の概要＞ 古い池や沼に生育する多年生の浮葉植物。太短い塊状の根茎から葉を根生する。沈水葉は薄く幅広い矢じり形～半円形で、浮葉は革質の楕円形～卵形で基部は深く切れ込む。花期は6～11月。径3～7cmで多数の白色の花弁からなる。

＜分布＞ [市内] 芥見、芥見南、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ヒトリシズカ

*Chloranthus japonicus*

センリョウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 林中に生育する多年草。短い根茎から数本～多数の茎が直立する。茎ははじめ赤紫色で、のちに緑色となり、無毛で高さ15～30cm、下部の3～4節には鱗片葉があり、上部2節に大型の葉がある。上部2節の節間のごく短く、4枚の葉が輪生しているように見える。葉は長さ4～9cm、幅2～7cm、縁には先の尖った鋸歯がある。花期は4～5月。頂生する1本(まれに2本)の穂状花序を伸ばし、密に多数の花を付ける。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## フタリシズカ

*Chloranthus serratus*

センリョウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 林中に生育する多年草。短い根茎から数本の茎が直立し、高さ30～60cm。葉は対生し、下部の3～4対は鱗片状で小さく、広卵形で膜質。上部の2～3対の葉は大きく、節間は5～20mm、葉柄は長さ5～15mm、葉身は楕円形または卵状楕円形で先は尖り、長さ5～17cm、幅2～8cm、縁に多数の鋸歯がある。花期は5月。頂生ときに腋生する2～6cmの穂状花序を伸ばす。通常1～2回分枝する。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## モウセンゴケ

*Drosera rotundifolia*

モウセンゴケ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境変化

＜種の概要＞ 日あたりの良い酸性湿地に生育する多年草。根出葉の葉身は倒卵状円形で、長さ5～10mm、裏面に長い消化腺毛があり、基部は細くなって柄となる。この消化腺毛で小さな昆虫類を捕え、栄養源とする。花期は6～8月。高さ6～20cmの花茎が出て、数個の白色の花を総状に付ける。花序の先は巻き状となり、花は片側に付く。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ヤマエンゴサク

*Corydalis lineariloba*

ケシ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 樹林地または開墾地に生育する多年草。全体に弱々しい。地下に径1~2cmの塊茎がある。茎は高さ10~20cm。葉は柄があり、1-3回3出複葉。小葉は長さ1~3cm、全縁または3裂する。花期は4~5月。花は青紫色。蒴果は広披針形または狭卵形で長さ10~13mm、幅2.5~4mm。

＜分布＞ [市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ヒロハコンロンソウ

*Cardamine appendiculata*

アブラナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の谷間の湿地に生育する多年草。根茎は水平に伸びる。茎は直立し枝を分け、高さ30~60cmになる。葉には長い柄があり、羽状複葉。小葉は同形で5~7個あり、卵形~卵状楕円形、長さ4~10cm、幅1~2.5cm。先は鋭形で粗い鋸歯がある。葉柄の基部に小さい耳部がある。花期は5~7月。総状花序に白色の花を十数個付ける。

＜分布＞ [市内] 方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州中北部に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## チダケサシ

*Astilbe microphylla*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 明るい林床、林縁および山麓の草地に生育する。根茎は太く斜上する。葉は2回奇数羽状複葉~4回奇数羽状深裂。小葉は楕円形~倒卵形で長さ2~4cm、幅1~2cm、縁にやや不揃いの鋭い重鋸歯がある。花期は6~8月。花茎は高さ40~80cm。花は複総状で、側枝は下部のもので長さ3~5cm。淡紅色の小さな花を密に付ける。花軸には長さ0.5mmほどの淡褐色の腺毛を密生する。

＜分布＞ [市内] 金華、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## アカショウマ

*Astilbe thunbergii* var. *thunbergii*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ やや明るい林床や林縁に生育する多年草。葉は光沢なく、3回3出複葉で、小葉は楕円形~狭卵形、長さ4~12cm、幅2~4.5cm、先端は尾状に伸びて鋭形、縁には重鋸歯がある。花期は5~7月。花茎は高さ40~80cm、基部はしばしば紅色を帯びる。花序は複総状、側枝は下部のもので長さ6~9cm、短腺毛を密生。花卉は白色。

＜分布＞ [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(東北地方南部~近畿)、四国に分布。



撮影：大塚英樹



## ウラジロウツギ

*Deutzia maximowicziana*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野の斜面や崖などに生育する高さ 2m 程度になる落葉低木で、よく分枝する。樹皮は灰色で、古くなるとはがれる。1年目の枝は紫褐色で、柄のある星状毛を密生する。葉柄は長さ 2～7mm、葉身は狭卵形～長楕円状披針形、細鋸歯縁、長さ 3.5～10cm、幅 2.5～4cm。表裏ともに星状毛がありざらつく。花期は 5 月。1 年目の枝先に円錐花序を付ける。花序や萼片にも星状毛を密生する。

＜分布＞ [市内] 岩、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(中部地方ならびに近畿地方)、四国に分布。



撮影：大塚英樹

## タヌキマメ

*Crotalaria sessiliflora*

マメ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 平地や丘陵などの日あたりの良い草地や道端に生育する一年草。茎は高さ 20～70cm になり、全体に褐色の長毛がある。葉は線形～狭長卵形で長さ 4～11cm、幅 3～10mm、ほとんど無柄。花期は 7～9 月。総状花序は長さ 1～10cm、青紫色の花を 2～20 個付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見東・南、金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(東北地方南部以西)～琉球に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ミヤマカタバミ

*Oxalis griffithii*

カタバミ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地のスギ林やブナ林に生育する多年草。根茎は太い。葉柄、花茎、葉の裏面には密に軟毛がある。小葉は倒心形で幅 2.5～4cm、先端は鈍端。花期は 3～4 月。花は白色で径 3～4cm。蒴果は楕円形、長さ 10～17mm。

＜分布＞ [市内] 芥見で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(東北地方南部～中国地方)、四国に分布。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## ヒカゲスミレ

*Viola yezoensis*

スミレ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 低山地の木陰に生育する多年草。全体にあらい毛がある。地下茎は細短く、匍枝の先に苗を作ることがある。葉は卵形ないし長卵形、長く伸び先は鈍頭、長さ 3～6cm、基部は深い心形、鈍鋸歯縁。葉柄は長さ 5～10cm。花期は 4～5 月。花は大形で白色。

＜分布＞ [市内] 金華、長良、長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道南部～九州に分布。



撮影：大塚英樹

**ミズユキノシタ***Ludwigia ovalis*

アカバナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 水辺に生育するやわらかい多年草。茎の下部は長く這い、上部は斜上・分枝し、長さ20~40cmになる。葉は互生し、広卵形~楕円状卵形。長さ1~2.5cm、幅1~1.8cm。花期は7~10月。葉腋に直径2mm程度の花を付けるが花卉は無い。**<分布>** [市内] 黒野、三輪北、方県で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~琉球に分布。

撮影：大塚英樹

**ギンリョウソウモドキ***Monotropa uniflora*

イチヤクソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変**<種の概要>** 林中のやや暗い場所に生育する腐生の多年草。全体に白色で、高さ10~30cm。鱗片葉は卵状楕円形。花期は8~9月。茎の先に1花を付ける。蒴果は上向きに付き、球形または球状楕円形で長さ1~1.5cm。別名：アキノギンリョウソウ。**<分布>** [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：中尾茂樹(市外撮影)

**ベニドウダン***Enkianthus cernuus* f. *rubens*

ツツジ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変、営利目的**<種の概要>** 岩の多い山地に生育する高さ1~3mの落葉低木。葉は枝先に集まって互生し、葉柄は長さ2~4mm、葉身は倒狭卵形~倒卵形、長さ1.5~3cm、幅0.7~1.5cm。縁には鉤状で先が短い毛になる細鋸歯がある。花期は5~6月。枝先から長さ3~4cmの総状花序を下垂し、5~8個の朱紅色の広鐘形の花を付ける。**<分布>** [市内] 常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方、中部地方南部、福井県、近畿地方、中国地方瀬戸内海側)、四国、九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ギンレイカ***Lysimachia acroadenia*

サクラソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の湿り気が多い場所に生育する多年草。茎には陵があり、高さ30~70cmになる。茎の上部や花序には粒状の腺毛が散生する。葉は互生し、広披針形~狭卵形、下部は翼のある柄となる。葉は柄と共に長さ5~14cm、幅1~3cm。裏面に赤褐色の細点が散らばる。花期は6~7月。枝先に総状花序を伸ばし、まばらに赤みを帯びた白色の小さな花を10~30個付ける。蒴果は球形で、径5mm、熟すと先が5裂する。**<分布>** [市内] 金華、長良東で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：大塚英樹



## アイナエ

*Mitrasacme pygmaea*

マチン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い暖地の低湿地に生育する小さな一年草。茎は短く、花茎を除いて0.5～1cm程度。葉は対生で2～4対つき、卵形または長楕円形、長さ5～15mm、幅3～6mm。花期は8～9月。茎頂や葉腋から高さ2～10cmの花茎を1～3本伸ばし3～15個の花を散形状に付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。



撮影：野々目徳弘

## イヌセンブリ

*Swertia tosaensis*

リンドウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野のやや湿った場所に生育する一年草～越年草。茎は基部から分枝し、高さ5～30cm。葉は倒披針形で長さ2～5cm。花期は10～11月。花弁は白色で淡紫色の条があり、径15mm、5深裂する。全草には苦味が無く、同属のセンブリのように葉には用いられない。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ジュズネノキ

*Damnacanthus macrophyllus*

アカネ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 林内に生育し、まばらに分枝して高さ1～2mになる常緑低木。若枝には短毛が密生する。ふつう托葉の内側に長さ1～2mmの短い刺がある。葉は楕円形～長楕円形で先は鋭く尖り、基部は鋭形または鈍形。葉柄は1～3mm、葉は長さ4.5～10cm、幅1.8～3cm。花期は4～5月。枝先または葉のわきにできる短い花序に1～2個の白色の筒状の花を付ける。液果は球形で径3～5mm、赤く熟す。

＜分布＞ [市内] 金華、長良、長良東、日野、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(近畿地方以西)、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## シモバシラ

*Collinsonia japonica*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山の木陰に生育する多年草。茎は四角で高さ40～70cm。葉は対生で8～20cm、幅3～5.5cm、鋸歯縁で両端は尖り、短い葉柄がある。花期は9～10月。葉腋から白色の花冠を持つ総状花序を出す。冬季、枯れた根元から霜柱に似た氷柱が出る特性からこの名がある。

＜分布＞ [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

**ヒメサルダヒコ***Lycopus ramosissimus* var. *ramosissimus*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地に生育する多年草。茎は下部が地を這って多数分枝し、高さ10~40cmになる。基部から多くの細い地下匍枝を伸ばす。葉は対生、菱状狭卵形で、縁には粗い鈍鋸歯があり、長さ3~4cm、幅1~2cm。花期は8~10月。葉腋に群がって付く。花冠は白色で径約3mm。**<分布>** [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ラショウモンカズラ***Meehania urticifolia*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山の木陰に生育する多年草。花茎は直立して高さ20~30cm、長毛がまばらに生える。全体に香気があり、花が終わると長い走出枝が茎の下部から伸びる。葉は2~3cmの葉柄があり、三角状心形で長さ2~5cm、幅2~3.5cm、粗い鈍鋸歯がある。花期は4~5月。花冠は紫色で、長さ4~5cm。**<分布>** [市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州から九州に分布。

撮影：佐藤克則(市外撮影)

**ミズネコノオ***Pogostemon stellatus*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：準絶滅危惧**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 水田や低湿地に生育する高さ15~50cmの軟弱な一年草。茎は中央付近で多数枝を出す。葉は1~6個ずつ輪生し、長さ2~6mm、幅2~4mm。花期は8~10月。花穂は茎頂と枝先に直立し、長さ2~5mm、幅4~5mm。花冠は白色または淡紅色で密に付く。**<分布>** [市内] 黒野、常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道~九州、奄美(徳之島)に分布。

撮影：大塚英樹

**ミストラノオ***Pogostemon yatabeanus*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 低湿地に生育する多年草。茎は横に這う地下茎から立ち上がって、高さ30~50cmになり、3~4個ずつ葉を輪生する。葉は線形~広線形で長さ3~7cm、幅2~5mm、先は鈍く全縁でやわらかい。花期は8~10月。茎頂に長さ2~8cmの花穂を1個立て、淡紅色の花を密に付ける。**<分布>** [市内] 芥見、岩で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：大塚英樹



## ヒメナミキ

*Scutellaria dependens*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 湿地の草むらに生育する繊細な多年草。茎は直立し高さ 20～40cm、地下に細長い走出枝を出す。葉は 1～3mm の葉柄があり、狭卵状三角形で、長さ 1～2cm、幅 6～10mm。1～2 対の低い鋸歯がある。花期は 6～8 月。花は葉腋に 1 個ずつ付き、白色でわずかに淡紅紫色を帯び、長さ 7mm。

＜分布＞[市内] 日野地区で記録がある。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 北海道、本州、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## オオアブノメ

*Gratiola japonica*

ゴマノハグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 湿地に生育する一年草。茎は直立して高さ 10～20cm、肉質でやわらかい。葉は対生し、披針状長楕円形で柄がない。長さ 1～3cm、幅 2.5～7mm。花期は 5～6 月。葉腋ごとに 1 花を付ける。花冠は白色。筒形で長さ 4～5mm、多くは閉鎖花。

＜分布＞[市内] 柳津で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部、南部に分布。  
[県外] 本州(宮城県以南)、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## イヌノフグリ

*Veronica polita* var. *lilacina*

ゴマノハグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 土手や道端などの草地に生育する越年草。茎は基部で分枝し、横に広がり長さ 10～25cm。毛が散生する。葉は茎の下部では対生し、上部では互生となる。長さ幅とも 4～11mm の卵円形で数対の先の鈍い鋸歯がある。花期は 3～4 月。茎の上部の葉腋ごとに 1 花を付ける。花柄は 3～7mm で曲がった毛が生える。花冠は淡紅白色で紅紫色の条があり、径 3～4mm。

＜分布＞[市内] 三輪北で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部、南部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。



撮影：佐久間智子(市外撮影)

## イワタバコ

*Conandron ramondioides*

イワタバコ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日陰の岩壁などに生育する多年草。根茎に褐色の長毛があるほかは無毛。ふつう 1～2 枚の大きな葉がある。葉には長さ 3～10cm の翼のある柄があり、葉身は長さ 10～30cm、幅 5～15cm、楕円状倒卵形で先は尖り、不揃いな鋸歯がある。葉質はやわらかく、表面の脈はへこんでしわのあるように見える。花期は 6～8 月。葉腋から長さ 10～30cm の花茎を伸ばし、2～30 個の花を付ける。花冠は紅紫色で径 1.5cm。

＜分布＞[市内] 岩、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(福島県以南)～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## イヌタヌキモ

*Utricularia australis*

タヌキモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 低地のため池に生育する多年生の浮遊植物。茎は細く径0.3～2mm、長さ1mに達する。葉は全体の長さが1.5～4.5cm、基部で2本に分枝し、さらに二又状に何回か分枝する。捕虫囊を持ち、プランクトンなどを捕食し栄養源とするいわゆる食虫植物である。花期は7～9月。花茎は長さ10～30cmで水上に3～10個の黄色い花を付ける。

＜分布＞[市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## タヌキモ

*Utricularia japonica*

タヌキモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 低地のため池に生育する多年生の浮遊植物。茎は細く径2～3.5mm、長さ1mに達する。葉は全体の長さが2～6cm、基部で2本に分枝し、さらに二又状に何回か分枝、各裂片は糸状。捕虫囊を持ち、プランクトンなどを捕食し栄養源とするいわゆる食虫植物である。花期は7～9月。花茎は長さ10～30cmで水上に3～10個の黄色い花を付ける。

＜分布＞[市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ウグイスカグラ

*Lonicera gracilipes* var. *glabra*

スイカズラ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日本特産の落葉低木。高さ3mに達する。枝は中実で白色の髄がある。茎から花まで全て無毛。葉は広披針形～卵形、先は尖り基部はくさび形、長さ3～8cm、幅1.5～5.5cm。葉柄は長さ3～5mm。花期は4～6月。葉より先あるいは同時に開花する。花柄は細く、垂れ、長さ1～2cm、先に1～2個の花を付ける。花冠は漏斗状で下垂し、バラ紅色。花筒は細く、長さ10～12mm。液果は紅熟し、広楕円形で長さ4～5mm。

＜分布＞[市内] 日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州、四国に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## スイラン

*Hololeion krameri*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 水辺や湿地に生育する多年草。茎は高さ50～100cmになり、よく分枝する。根出葉は茎葉と同様線状披針形で互生し、長さ15～50cm、幅1.2～3cm。縁にはまばらに鋸歯があり、両面とも無毛で厚い。花期は9～10月。3.5～10cmの花茎に径3～3.5cmの黄色い花を付ける。

＜分布＞[市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(中部以西)～九州に分布。



撮影：大塚英樹



## サワギク

*Nemosenecio nikoensis*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の木陰に生育する多年草。茎は高さ 35～110cm、根出葉は密に白毛があるが、花時にはない。茎葉は薄くて羽状に深裂する。花期は 6～8 月。花は枝の先にやや散状に多数つき、径 12mm。舌状花冠は長さ 8mm、幅 1mm。そう果は長さ 1.5mm で細毛があり、冠毛は白色。

＜分布＞ [市内] 金華、長森西、梅林で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ヘラオモダカ

*Alisma canaliculatum*

オモダカ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 水田や浅い池に生育する多年草。葉は根生し、葉柄がある。葉身は披針形で全縁、長さ 10～30cm、幅 2～4cm、基部は次第に細くなり葉柄につづく。花期は 8～10 月。直立する花茎を出し、高さ 40～130cm にもなる。花茎は 3 個ずつの枝を輪生し、さらに 3 個ずつの小枝を輪生する。これを繰り返すことで、先端に多数の両性花を付ける。花弁は 3 個、卵円形で白色。

＜分布＞ [市内] 日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)

## スブタ

*Blyxa echinosperma*

トチカガミ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 水田や溝などに生育する一年生の沈水植物。葉は根生し株状となる。葉は線形で紫褐色を帯び、長さ 10～30cm、幅 5～8mm、先は次第に細くなり、縁に細かい鋸歯がある。花期は 8～10 月。花柄は葉腋から水面上に伸び、苞鞘は円筒形、3 枚の細い白色の花弁を持つ花を付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。



撮影：大塚英樹

## ヤナギスブタ

*Blyxa japonica*

トチカガミ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 水田や溝などに生育する一年生の沈水植物。茎は水中に伸長・分枝し植物体の長さは 30cm にも達する。葉は互生し線形で紫褐色を帯び、長さ 3～5cm、幅 1.5～2mm、先は次第に細くなり、縁に細かい鋸歯がある。花期は 7～10 月。花柄は葉腋から水面上に伸び、苞鞘は円筒形、3 枚の細い白色の花弁を持つ花を付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。



撮影：大塚英樹

**コウガイモ***Vallisneria denseserrulata*

トチカガミ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 平地の湖沼、河川、水路に生育する多年生の水中植物。葉は根生し線形(リボン状)で長さ10~60cm、幅5~11cm、縁には鋸歯がある。葉腋からは走出枝を伸ばし、先端に新苗を付ける。花期は8~10月。雌雄異株で雌株は直径1mmほどの花柄を水面近くまで長く伸ばし雌花を水面に浮かべる。雄花は葉の基部から数cm伸びた花茎の先の苞鞘に多く詰まっている。**<分布>** [市内] 合渡で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州・九州に分布。

撮影：大塚英樹

**アマナ***Amana edulis*

ユリ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 原野に生育する多年草。外皮鱗茎は広卵形で長さ3~4cm。葉は線形で花茎の下部に2個付き、それ以下は地中にあるので、根出葉のように見える。花期は3~5月。花茎は高さ15~20cm、先に白色で暗紫色の脈がある1花が付く。**<分布>** [市内] 金華、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(福島県以南、石川県以西)、四国、九州、奄美大島に分布。

撮影：則行雅臣(市外撮影)

**ミヤマナルコユリ***Polygonatum lasianthum*

ユリ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の林下に生育する多年草。根茎は肥厚し節間が短い。茎は高さ30~70cm、陵角があり、上部は斜上する。葉は互生し、卵形または長楕円形で、長さ6~10cm、裏面は粉白を帯びることが多い。花期は5~6月。花冠は白色。葉腋に花柄が斜上し、その頂から2~3の小花柄が垂れて花が付く。花筒は長さ15~20mm、先は6浅裂する。**<分布>** [市内] 常磐で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：中尾茂樹(市外撮影)

**キツネノカミソリ***Lycoris sanguinea*

ヒガンバナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山野に生育する多年草。鱗茎は広卵形で径2~4cm、外皮は黒褐色。葉は春に出て帯状、長さ30~40cm、幅8~10mm、淡緑色で夏には枯れる。花期は8~9月。高さ30~50cmの花茎が立ち、黄赤色の3~5花を散形状に付ける。**<分布>** [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ホシクサ***Eriocaulon cinereum*

ホシクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地あるいは乾いた水田などに生育する無茎の一年草。葉は束生し、線形で長さ3~8cm、下部の幅1~2mm。花期は8~9月。花茎は高さ4~15cmで、先端に径4mmほどの卵状球形の頭花を付ける。雄花は少数で花弁は3個、雌花は多数あり花弁はない。**<分布>** [市内] 金華、岩で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州~琉球に分布。

撮影：佐藤克則(市外撮影)

**イトイヌノヒゲ***Eriocaulon decemflorum*

ホシクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の湿地に生育する一年草。茎はごく短く、根出葉は線形で、長さ3~10cm、3~9脈があり、格子状になり先は著しく尖る。花期は8~9月。高さ5~30cmの花茎が出て、頂に頭花を付ける。頭花は倒円錐形で径3~7mm、白色。総苞片は卵状披針形で頭花より長く、緑白色。**<分布>** [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**シロイヌノヒゲ***Eriocaulon sikokianum*

ホシクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地に生育する無茎の一年草。葉は線形で長さ12~18cm、基部の幅3~5mm。花期は8~9月。花茎は高さ15~38cm。頭花は半球形で総苞を含み径約10mm。総苞片は卵状披針形。頭花の中心部には雄花と雌花があり、それぞれに白色の短毛があることから全体的に白色の花に見える。**<分布>** [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ミズタカモジ***Elymus humidus*

イネ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 水田跡などに生育する多年草。葉鞘の外縁はまったく無毛。茎はのちに倒れて地を這い、各節から新苗が出て、翌年の茎となって開花する。花期は5~7月。花穂は太くて直立し、小穂は圧着する。**<分布>** [市内] 岩で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、南部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。



## ウラシマソウ

*Arisaema thunbergii* subsp. *urashima*

サトイモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 平地から低山地の原野、林縁、林中に生育する多年草。球茎は偏球形で、多数の子球を付ける。偽茎は葉柄より短い。葉は1～2個、鳥足状に11～17枚の小葉を付ける。小葉は狭倒卵形、長楕円形または狭卵形。花期は4～5月。花序は葉よりも下に位置する。仏縁苞の特に内面は濃紫色で白条があり、筒部は白色を帯びて淡紫褐色。付属体は下部で膨らみ、しだいに細くなって、先は長く糸状に伸び、長さ60cmにもなる。

＜分布＞ [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道(日高、渡島)、本州、四国、九州(佐賀県)に分布。



撮影：大塚英樹

## オニスゲ

*Carex dickinsii*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 平地の水湿地に生育する多年草。長い地下匍枝がある。茎は高さ20～50cm。葉は扁平で幅4～8mm。花期は5～7月。頂小穂は雄性で長い柄があり淡いわら色。側小穂は雌性で1～3個、大型の楕円形で無柄。果苞は開出して著しく膨らみ、長さ1cm程度。この形などから鬼菅の名がある。別名：ミクリスゲ。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## カンガレイ

*Schoenoplectus triangulatus*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 池沼、川岸の湿地に生育する多年草。茎は株立ちになって高さ50～120cm、鋭3稜形。花期は7～10月。花序は側生状で、無柄の小穂が4～20個集まって頭状をなす。小穂は長楕円形、長さ1～2cm、幅4～6mm、淡緑色または淡褐色で角ばらない。

＜分布＞ [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)

## コマツカサススキ

*Scirpus fuirenooides*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 平地の湿地に生育する多年草。茎は高さ1～1.5m。茎の葉は伸長し、扁平で幅4～8cm、葉鞘は長さ3～10cm。花期は8～9月。花序は側生の分花序となり、1～2個の小穂集団をつけ、頂生の分花序は1回分枝して3～6個の枝に小穂集団を生じる。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：大塚英樹



## ムギラン

*Bulbophyllum inconspicuum*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 常緑樹林内の樹上や岩上に着生する多年草。根茎は横に這い、まばらに偽球茎をつけ、その先端に1葉を付ける。葉は肉質で厚く、長さ1～3cm、幅6～8mmで円頭。花期は6～7月。偽球茎の基部から花茎を出し、帯黄白色の花を1個付ける。

＜分布＞ [市内] 岩野田北で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## キンラン

*Cephalanthera falcata*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 山地や丘陵地の疎林下に生育する多年草。茎は直立して高さ30～70cm、稜線がある。葉は互生し広披針形、長さ8～15cm、幅2～4cm、先端は尖り基部は茎を抱く。花期は4～6月。黄色い花を3～12個付ける。

＜分布＞ [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## サイハイラン

*Cremastra appendiculata* var. *variabilis*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 山地の林床に生育する多年草。偽球茎は卵形。ふつう1個の葉を頂生する。葉は狭長楕円形、革質、長さ15～35cm、幅3～5cm、長鋭尖頭で基部は柄となる。花期は5～6月。花茎は高さ30～50cmで基部は鞘葉に包まれる。総状花序で10～20花をやや密に付ける。花は淡緑褐色で紅紫色を帯びる。和名は、花序が「采配」に似ていることによる。

＜分布＞ [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 南千島、北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## セッコク

*Dendrobium moniliforme*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 常緑樹林内の樹上や岩上に多数の根を出し着生する多年草。茎は束生し、高さ5～25cmで多数の節がある。葉は披針形で長さ4～7cm、2～3年生、互生し光沢がある。花期は5～6月。葉の落ちた節から細い花茎を出し、白色または淡紅色の花を1～2個付ける。甘い芳香がある。

＜分布＞ [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。

＜特記事項＞ 「岐阜県野生生物保護条例」の指定希少野生生物。



撮影：大塚英樹

**オニノヤガラ***Gastrodia elata*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変**<種の概要>** 山地の樹林下に生育する無葉緑腐生植物。ナラタケと共生するといわれている。塊茎は楕円形で長さ10cm前後、表面に多数の節がある。茎は円柱状で直立し、高さ40~100cm、帯黄褐色。花期は6~7月。20~50個の花を総状花序に付ける。花は黄褐色、3萼片が合着しつぼ状となる。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**アキザキヤツシロラン***Gastrodia verrucosa*

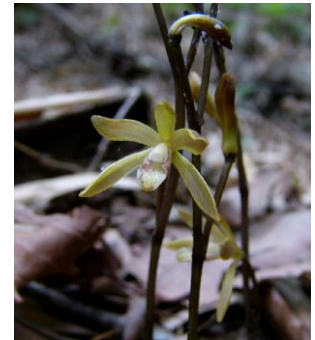
ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変**<種の概要>** 常緑広葉樹林下や竹林下に生育する無葉緑腐生植物。塊茎は紡錘状で斜上し、長さ2~3cm、表面に単細胞に毛がある。茎は細く円柱状で高さ3~4cm。花期は9~10月。**<分布>** [市内] 黒野で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(千葉県以西)~琉球に分布。

撮影：大塚英樹

**エンシュウムヨウラン***Lecanorchis suginoana*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変**<種の概要>** 樹林の林床に生育する無葉緑腐生植物。茎は硬く、高さ20~30cm。花期は5~6月。花は長さ約1.5cm、淡褐色~鮮やかな黄色、唇弁は淡色、内側に黄色の肉質の毛があり、赤紫色を帯びない。花後は花茎まで黒くなる。日本固有種。**<分布>** [市内] 常磐で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 愛知県、静岡県に分布。

撮影：大塚英樹

**コケイラン***Oreorchis patens*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変**<種の概要>** 林内のやや湿った場所に生育する多年草。偽球茎は卵形。葉はふつう2個つき、披針形で長さ20~30cm、幅1~3cm、鋭尖頭。花期は5~7月。高さ30~40cmの花茎に多数の黄褐色の花を総状に付ける。**<分布>** [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹



## サギソウ

*Pecteilis radiata*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅰ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 日あたりの良い湿地に生育する多年草。前年の走出枝の先端に生じた円形の球茎から地上茎を出す。茎は高さ15～40cm。花期は7～8月。茎の上部に1～数個の白色の花を付ける。その姿は白鷺が舞うようで美しい。

＜分布＞ [市内] 芥見東、三輪南で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

＜特記事項＞ 各種開発や山野草ブームなどにより、急激に減少している。



撮影：岐阜市自然環境課

## ミズスギ

*Lycopodium cernuum*

ヒカゲノカズラ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 地上生の常緑性のシダ植物。匍匐茎は地上を長く這い、不規則に分枝し、所々で直立する側枝を出す。葉と共に径3～5mm、まばらに根を付ける。直立茎は高さ30cmを超えることもあり、分枝して樹木状となる。葉は匍匐茎、直立茎共に披針形～線状披針形。孢子嚢穂は卵形で小枝の先に1～2個頂生し、下向きに付く。やや湿った向陽の地に生じる。

＜分布＞ [市内] 芥見東、岩野田北、金華、三輪北、常磐、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(伊豆諸島、伊豆半島、東海地方以西の暖地)、四国、九州、小笠原に分布。

撮影：岐阜市自然環境課

## ウチワゴケ

*Crepidomanes minutum*

コケシノブ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：絶滅危惧ⅠB類

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 岩上や樹幹上に生育する常緑性のシダ植物。根茎は細長く横走し、暗褐色の毛が密生する。葉は直径15mm前後のうちわ形で、辺縁は不規則に浅裂～深裂する。低地のやや空中湿度の高い森林内などに生じる。別名：ミニホラゴケ。

＜分布＞ [市内] 岩野田北、金華、三輪北で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道と東北地方ではやや稀であるが、関東地方西部以西、沖縄、小笠原などではごく普通に生育する。

撮影：佐藤克則(市外撮影)

## クジャクシダ

*Adiantum pedatum*

イノモトソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 山地の林下の地上や岩上に生育する夏緑性のシダ植物。根茎は短く匍匐し、径約2mm、鱗片をつけ、葉を叢生状に付ける。葉柄は光沢があり、紫褐色から赤褐色、長さ15～45cm。葉身は卵形～円形、長さ15～25cm、幅15～30cm、偽叉状に分岐して各枝の上側に単羽状の小羽片を付ける。小羽片は披針形、長さ10～30cm、幅2～3cm。小葉は半月状の長楕円形。孢子嚢群は裂片の上縁に生じる。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国の一部、福岡県に分布。

撮影：則行雅臣(市外撮影)

**ピロードシダ***Pyrrosia linearifolia*

ウラボシ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：－  
環境省：－**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化、営利目的**<種の概要>** 山地のやや薄暗い岩上や樹幹などに着生する常緑性のシダ植物。根茎は長く横走り、径約1.7mm、密に鱗片を付ける。葉身が基部まで流れるため、葉柄と葉身はほとんど区別がつかない。葉身は線形、先端は円形、長さ2～15cm、幅5mm、全面に黄褐色から灰褐色の宿存性の星状毛が密に付く。孢子嚢群は中肋の両側に1～2列並び、円形。**<分布>** [市内] 京町、金華、梅林、明徳で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州(南部除く)、沖縄県に広く分布。

撮影：大塚英樹

**ヤマモモ***Morella rubra*

ヤマモモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：－  
環境省：－**<選定理由>** 分布限界、希少、特殊環境、環境変化**<種の概要>** 常緑高木で、高さ20mに達する。若枝は無毛でしばしば赤色を帯びる。古い枝は灰白色、葉の跡がこぶ状に残り、楕円形の皮目がある。葉は革質、広倒披針形、長さ5～10cm、幅1.5～3cm、両面無毛、裏面に淡黄色の透明な油点がある。葉の縁は全縁からまばらに小さな鋸歯がある。幼苗は大きな粗い鋸歯がある。花期は3～4月。葉のわきに穂状花序をだす。雌雄異株。花被はない。果実は球形で径1.5～2cm、6月に赤く熟し、食べられる。**<分布>** [市内] 磐、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部、南部に分布。  
[県外] 本州(関東南部、福井県以西)、四国、九州、琉球に分布。**<特記事項>** 延算寺と岩滝にあるヤマモモは、いずれも市の天然記念物に指定されている。撮影：岐阜市教育委員会  
(延算寺のヤマモモ)**オノエヤナギ***Salix udensis*

ヤナギ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：－  
環境省：－**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化**<種の概要>** 落葉高木で、高さ15mに達する。小枝は褐色、ふつう無毛だが、若枝はまれに密に軟毛がある。若葉の縁は裏側に巻く。成葉は披針形から狭披針形、長さ10～16cm、幅1～2cm、先端は長く尖り基部は鋭形ないし鈍形。表面は暗緑色、無毛で光沢がある。裏面は帯白淡緑色、やや無毛か短圧毛を散生する。托葉は斜卵形。花期は4～5月。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国に分布。**カテンソウ***Nanocnide japonica*

イラクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：－  
環境省：－**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化**<種の概要>** 山野の林下に生育する多年草。茎は高さ10～30cm。葉は互生し、葉身は扇状卵形、基部は切形、長さ幅共に1～3cm、先は円く、縁に数対の深い鈍歯牙がある。葉柄は葉身とほぼ同長。花期は4～5月。そう果はレンズ形で細点があり、長さ1mm内外。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、西部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

撮影：中尾茂樹(市外撮影)



## カナビキソウ

*Thesium chinense*

ビャクダン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い草地に生育する多年草。半寄生植物。茎は高さ10～25cm、陵があり粉緑白色。葉は線形、鋭頭で長さ2～4cm。花期は4～6月。花は腋生し、白色で小型。

＜分布＞ [市内] 金華、早田、長良、長良西・東、日野で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道南部～琉球に分布。



撮影：大塚英樹

## サデクサ

*Persicaria maackiana*

タデ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 低地の水辺に生育する一年草で、草丈は30～100cmになる。茎は斜上し多くの枝を分け、鋭い下向きの刺毛がある。葉は有柄、披針状長楕円形～披針形、先端は鋭形で基部は鈍型となる。葉の両面には星状毛を密生し、長さ3～8cm、幅2～7cm。花期は7～10月。短い頭状の総状花序で、白色(果時には紅色)の花を2～5個付ける。

＜分布＞ [市内] 鏡島、合渡で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、南部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ホソバノウナギツカミ

*Persicaria praetermissa*

タデ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 暖地の水辺に生育する一年草。茎は高さ30～80cm、下部から枝を分け、上部は斜上し下向きの刺毛がある。下部の葉は卵形、上部の葉は長楕円形～長披針形、先は鋭尖形、基部はほこ形、長さ2～10cm。花期は8～11月。総状花序は二又に分かれる花柄上につき、まばらに花を付ける。花柄の上部には腺毛がある。そう果はレンズ形または3稜形、光沢が無く長さ約2mm。

＜分布＞ [市内] 長森東・南・北で記録がある。  
[県内] 県西部・中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～琉球に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ネバリタデ

*Persicaria viscofera* var. *viscofera*

タデ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野の日あたりの良い場所に生育する一年草。茎は直立し、高さ40～80cm、上部で枝を分け、葉と共にあら毛がある。葉は披針形～広披針形で長さ4～10cm、幅1～2cm。托葉鞘は長い筒形で外面に毛があり縁毛は長い。花期は7～10月。総状花序は細い穂状で直立し、長さ3～5cm。そう果は3稜形で光沢のある黒色。長さ1.5～2mm。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)



**フシグロ***Silene firma*

ナデシコ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 低地から山地の日あたりの良い場所に生育する越年草。茎は直立し、高さ30~100cm、節は暗紫色を帯びる。葉は披針形~卵状披針形、長さ3~10cm、幅1~3cm。花期は6~9月。花は茎頂や葉腋につき、花柄は1~3cm。花弁は白色。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ミヤマハコベ***Stellaria sessiliflora*

ナデシコ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山間の川辺の半日陰地に生育する多年草。茎は株状で下部は地面を這い、高さ10~35cm。葉は長い柄があり、卵形~心円形、長さ1~4cm、幅0.7~2.5cm。花期は5~7月。花は葉腋に単生する。花弁は白色、2深裂して萼より長い。種子は腎円形、黒褐色で径1~1.2mm、点状突起がある。**<分布>** [市内] 芥見、金華、長良、長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**アオハコベ***Stellaria uchiyamana var. apetala*

ナデシコ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の林床に生育する多年草。茎は地面を長く這い、斜上し高さ20~30cm。葉は対生でほとんど柄は無く、長さ1~2.5cm、幅0.8~2.5cm、先は鋭形で茎とともに分枝毛や星状毛がある。花期は4~6月。花弁は無い。**<分布>** [市内] 岩、長良東、日野、網代、藍川で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(近畿以西)~九州に分布。

撮影：大塚英樹(市外撮影)

**シデコブシ***Magnolia stellata*

モクレン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：準絶滅危惧**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 低山に生育する落葉小高木または低木。高さはせいぜい5m程度。若枝には密に毛がある。葉は互生し長楕円形から倒披針形、長さ5~10cm、幅1~3cm、鈍頭または円頭。葉柄は2~5mmで有毛。花期は3~4月。葉の展開前に開花し、径7~10cm。花被片は12~18枚あり、萼と花弁の区別は無く、淡紅色または白色、狭倒披針形で鈍頭。集合果は垂れ下がって赤熟し、長さ3~7cm。**<分布>** [市内] 芥見南、網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(中部地方南西部)に分布。

撮影：村瀬文好(各務原市産)

## マツブサ

*Schisandra repanda*

マツブサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 落葉性のつる性木本。コルク質が発達し、樹皮が縦に割れる。葉は厚い膜質で、卵形から広楕円形、長さ2～6cm、幅3.5～5cm、縁には3～5個の波状鋸歯がある。葉柄は葉身の長さの半分以上。雌雄異株。花期は5～7月。花は黄白色で、径約1cm、花被片は9～10枚。集合果は長さ4.5～6.5cm、長い柄で垂れ下がり、果実は黒藍色に熟す。

＜分布＞[市内] 金華、三輪北、長森西、梅林で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)

## マツモ

*Ceratophyllum demersum*

マツモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 池や河川に生育する多年生の沈水植物。根は無く、水中に浮遊していることが多い。茎は20～120cm、盛んに分枝する。葉は5～10個が輪生し、線状の裂片が1～2回二又状に分かれ、裂片の縁には鋸歯がある。花期は5～8月。花を付けない個体も多い。別名：キンギョモ。

＜分布＞[市内] 鏡島、合渡、黒野、鷺山、則武、木田で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に広く分布。



撮影：大塚英樹

## ヒメオトギリ

*Hypericum japonicum*

オトギリソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 放棄水田や山沿いの小湿地に生育する草丈15～40cmの一年草。茎は4稜形で細く、上方で分枝する。葉は三角状卵形で円頭、長さ5～13mmで基部はなかば茎を抱く。葉には多数の小さな明点が入り、縁に腺体は見られない。花期は8～9月。径7～8mmの橙黄色の花を付ける。

＜分布＞[市内] 芥見東、三輪南、三輪北、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(千葉県・東海地方以西)～琉球に生育。



撮影：大塚英樹

## ヤマハタザオ

*Arabis hirsuta*

アブラナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する越年草。茎は直立して高さ30～90cmになり、下部には単毛と星状毛が混生する。根出葉は長楕円状へら型、長さ2.5～10cm、波状鋸歯縁で両面に2分毛がある。茎葉は柄がなく、基部は心形で茎を抱き、長さ2～7cm。花期は5～7月。花弁は白色で楕円状へら形、長さ3～6mm。長角果は無毛で、長さ2～6cm、幅1～2mm。

＜分布＞[市内] 金華、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹



**ジャニンジン***Cardamine impatiens*

アブラナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 木陰や水湿地に生育する一年草～越年草。茎は細く直立して高さ10～80cmになる。葉は薄く、羽状複葉。小葉はあらく切れ込み、側小葉は2～9対、柄の基部に小さい耳部がある。花期は3～6月。花弁は緑白色、長楕円状へら形で、長さ2～3.5mm。長角果は無毛で長さ15～25mm。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ミズタガラシ***Cardamine lyrata*

アブラナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 水田や水湿地に生育する多年草。全草無毛で高さ30～60cm。茎は花時まで直立し、花後は倒れて地を這う性質がある。葉は頭大羽状複葉、長さ1～7cm、短い柄がある。頂小葉は大きく広卵形、長さ6～25mm。側小葉は小さく卵形、2～7対ある。花期は4～6月。径1cm程度の白色の花を10～30個、総状花序に付ける。長角果は線形、長さ2～3cm、幅約1.2mm。**<分布>** [市内] 金華、三輪北、常磐、長森西、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。

撮影：岐阜市自然環境課

**ユリワサビ***Eutrema tenue*

アブラナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山間の溪流のほとりに生育する多年草。根茎は細くて短い。葉はワサビの葉より小さく、柄の基部は膨らむ。花期は3～5月。花序はまばらに白い花を付ける。長角果は開出するか下向きで、長さ10～15mm。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

撮影：加藤範夫(市外撮影)

**ハタザオ***Turritis glabra*

アブラナ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山野に生育する越年草。茎は直立し、高さ35～135cm、下部に毛がある。根出葉は倒披針形で、長さ3～14cm、全縁か波状縁、低鋸歯縁となる。両面に2分毛と星状毛がある。茎葉は上へと小さくなり、基部は広がり矢じり形になって茎を抱く。花期は5～8月。花弁は黄白色で倒卵形、長さ5～7.5mm。長角果は平らな4稜形で、長さ4～8cm、幅1～1.5mm。**<分布>** [市内] 島、本郷で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

撮影：大塚英樹

## ツメレンゲ

*Orostachys japonica*

ベンケイソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化、営利目的

＜種の概要＞ 日あたりの良い岩上や民家の屋根上に生育する多年草。多肉で披針形の葉を密集させ顕著なロゼットとなる。花期は10～11月。高さ8～30cmの筒状の花茎に多数の白色の花を付ける。夏季のロゼットは径12cmにもなる。

＜分布＞ [市内] 芥見、金華、長森西、長森北、長良東、日野、梅林で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ヒメレンゲ

*Sedum subtile*

ベンケイソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 沢沿いの岩上などに生育する多年草。花後に花茎の基部の葉腋から走出枝を出し、その先端に小さなロゼットをつくって越冬する。茎の下部の葉はさじ型、中・上部の葉は広線形～狭倒披針形、長さ5～20mm、幅1～3mmで鋭頭～鈍頭。花期は5～6月。花は5～10cmの直立する花茎に集散状に頂生する。花弁は黄色で菱状楕円形～菱状披針形、長さ4.5～6mm。

＜分布＞ [市内] 岩、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ツルネコノメソウ

*Chrysosplenium flagelliferum*

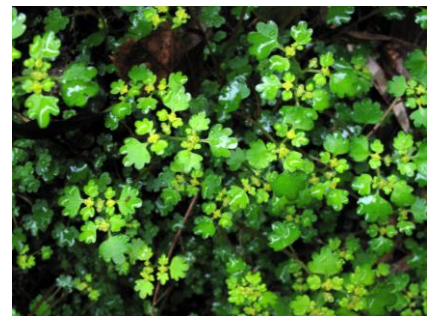
ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 落葉広葉樹林下などの沢沿いの水湿地に生育する多年草。地上性の走出枝があり、花茎の葉と同形の葉を互生する。花後に走出枝は急速に伸長し、新個体をつくる。根出葉は有柄、円形で長さ2～3.5cm、幅3～5cm、縁に円頭に終わる鋸歯がある。茎葉は扇形で長さ2～8mm、幅3～9mm、有柄。花は黄色で径3～6mm、単柄がある。

＜分布＞ [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州(近畿以北)、四国(剣山)に分布。



撮影：大塚英樹

## ヒメウツギ

*Deutzia gracilis*

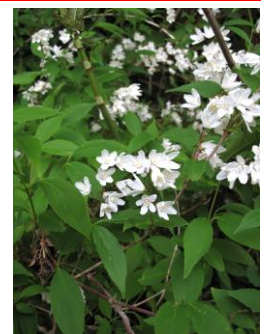
ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境変化

＜種の概要＞ 川岸の岩上など日あたりの良い場所に生育する高さ1.5m程度の落葉低木。良く分枝する。樹皮は灰色で、古くなるとはがれる。葉は長楕円状披針形または狭卵形、先は長い鋭尖形、細かな鋸歯縁で、長さ4～8.5cm、幅1.5～3cm。表面には星状毛がある。花期は5～6月。花は径1.4cm程度、1年目の枝先に狭い円錐花序を付ける。花弁は白色で広倒披針形。

＜分布＞ [市内] 芥見、金華、三輪南、日野、藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹



## タマアジサイ

*Hydrangea involucrata*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 沢沿いの肥沃地や斜面などに生育する高さ 2m 程度の落葉低木。樹皮は灰白色で、不規則に裂け、はがれる。枝は太く円形の皮目を散生する。髓は太く、縦断面ははしご状。葉は両面ともに硬毛が生え、長楕円形～倒卵形、長さ 10～25cm、幅 4～12cm、縁には先が芒に終わる歯状の細かい鋸歯がある。花期は 7～9 月。花序は集散状で枝先に頂生し、初め円形の大きな数個の総苞に包まれて球形、のち脱落する。花弁様萼片は 3～5 個、広卵形～円形、長さ 1～12mm、白色または紫色。普通花は小さく、花弁は 5 個、つぼみの時は紫色、のち淡紫白色となる。日本固有種。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(福島県～岐阜県)の主に太平洋側の山地に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ヤマアジサイ

*Hydrangea serrata* var. *serrata*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する落葉低木。高さ 1～2m。葉は草質で、長楕円形～卵状楕円形、長さ 10～15cm、幅 5～10cm、縁に三角状の鋸歯がある。葉柄は長さ 1～3cm。花期は 6～7 月。花序は 1～3cm の柄があり、集散状で径 4～10cm。普通花の周辺に装飾花を付ける。装飾花は径 1.3～3cm、有毛の長い柄がある。花弁様の萼片は 4 個のものも多く楕円形から円形、白色～淡青色でのちに淡紫色に変わるものが多い。

＜分布＞ [市内] 芥見東、金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(福島県以南の主として太平洋側)、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## コチャルメルソウ

*Mitella pauciflora*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

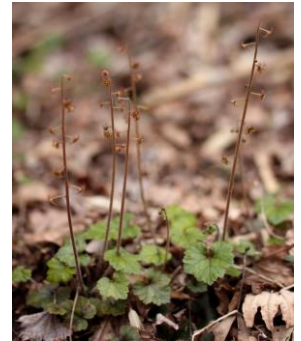
岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の溪流沿いの湿った林床に生育する多年草。長く横に這う根茎がある。地中に走out枝を出す。根出葉は広卵形～卵円形、基部は深い心形、縁は浅く 5 裂し、長さ 2～5cm、幅 2.5～6cm、両面に立ったあらい毛と微小腺毛がある。葉柄は長さ 2～15cm。花期は 4～6 月。花茎は高さ 20～30cm、花柄と共に短腺毛を密生する。萼筒には腺状突起を密生する。花弁は紅紫色または淡黄緑色で長さ 4mm、羽状に細く 7～9 裂し、外面にはやや密に腺点がある。

＜分布＞ [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## ヤブサンザシ

*Ribes fasciculatum*

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する高さ 1m 程度の落葉低木。下部からよく分枝し、若枝は灰白色で軟毛を密生するがのち無毛、樹皮は縦方向にはがれ褐色に変わる。葉は互生し、短枝に付く。葉身は広卵形で長さ 2～7cm、幅 2.5～9cm、掌状に浅・中裂し鈍鋸歯縁、両面には短い軟毛がある。葉柄は長さ 2～3.5cm、羽状の長毛や長腺毛がある。花期は 4～5 月。雌雄異株。花は短枝の葉腋に束状に付く。花弁はへら形で小さい。液果は球形で径 7～8mm、赤く熟す。

＜分布＞ [市内] 三輪南、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹



## ナメライモンジソウ

ユキノシタ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

*Saxifraga fortunei* var. *suwoensis*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 河川や溪流沿いの岩上に生育する多年草。根茎は短く葉を束生する。葉は腎円形、長さ1～15cm、幅4～20cm、基部は心形、掌状に5～7中裂し、裂片は倒卵形。金平糖状の蔞酸塩の結晶があり、長毛を生じる。花期は7～10月。花茎は高さ5～40cm。花弁は花時に平開し、白色まれに淡紅色。上側の3弁は楕円形で長さ3～4mm、下側の2弁は線状楕円形で長さ4～15mm。

＜分布＞[市内] 岩、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(中部地方以西)、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## カワラサイコ

バラ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

*Potentilla chinensis*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い川原や砂地に生育する多年草。根茎は太く、茎は30～70cmになり、長毛が生え、葉を互生する。葉は羽状複葉、小葉は15～25個、倒披針形で長さ2～5cm。花期は6～8月。花は黄色で、径10～15mm。

＜分布＞[市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## ワレモコウ

バラ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

*Sanguisorba officinalis*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い丘や山地の草地に生育する多年草。根茎は太く、葉を根生する。茎は高さ30～100cmになり、上部で分枝する。根出葉は有柄で、5～11個の小葉からなる。小葉は楕円形～長楕円形、長さ2.5～5cm、縁には三角形のそろった歯牙がある。花期は8～10月。枝先に楕円形で長さ2～2.5cmの穂状花序を付ける。花は暗紅色で穂の上部から咲き始める。

＜分布＞[市内] 芥見、岩、金華、三輪北、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## タンキリマメ

マメ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

*Rhynchosia volubilis*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 海岸や平地から低山地の草地、林縁などに生育するつる性の多年草。つるは長さ2m以上になる。茎には下向きの黄褐色の短軟毛がある。小葉は菱状倒卵形～広倒卵形で、両面ともに黄褐色の腺点と脈状に伏した短軟毛が密にある。花期は7～10月。花序は基部の葉よりも短く、短柄があり、5～20花を付ける。花は黄色で長さ8～10mm。萼は短軟毛をやや密生し、腺点がある。

＜分布＞[市内] 三輪南で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(千葉県以西)～琉球に分布。



撮影：大塚英樹

## ヤマアイ

*Mercurialis leiocarpa*

トウダイグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山林の下草として生育する多年草。地下茎は繰り返し分枝し、草丈は30～40cmになる。地下茎は乾燥すると紫色になる。雌雄異株。葉は対生し、葉身は長楕円状披針形～円状楕円形、長さ10cm前後、鋸歯縁。花期は4～7月。枝先の葉腋から花枝を出し、穂状花序を付ける。染料植物のアイヤリュウキュウアイと混同されるが、本種は、青藍の色素を含まないため、藍色にはならず緑色となる。

＜分布＞[市内] 芥見、日野で記録がある。

[県内] 県西部、中部に分布。

[県外] 本州～琉球に分布。



撮影：大塚英樹

## コクサギ

*Orixa japonica*

ミカン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 低地の二次林に生育する高さ3m程度の落葉低木。全体に臭気がある。若枝は緑色で2年目以降では灰白色となり皮目がある。葉は薄くて柔らかく、倒卵形で長さ5～13cm、幅3～7cm、表面には短毛が散生し、裏面には全体に毛がある。また全面に油点がある。花期は4～5月。花は緑色。

＜分布＞[市内] 芥見で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州、四国、九州に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ツルシキミ

*Skimmia japonica* var. *intermedia* f. *repens*

ミカン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 高さ30～100cm程度の常緑低木。茎の基部は地を這い、斜上する。葉は長さ4～6cm、幅1～2.5cm。ほぼ全縁で両面無毛。花期は4～5月。枝先に散房状の円錐花序を付ける。花弁は白色、4枚で長楕円形。果実は球形で径8～10mm、赤熟する。

＜分布＞[市内] 常磐で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 北海道、本州(東北地方、中部地方以西の日本海側)に主に分布するが、関東以西の本州、四国、九州などでも山地上部に分布。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## ニガキ

*Picrasma quassioides*

ニガキ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 低地の山林に生育する高さ12mに達する落葉高木。枝は赤褐色で皮目が目立ち、樹皮には苦みがある。葉は奇数羽状複葉で、長さ15～25cm、小葉は対生あるいはやや対生し、1～13枚。長さ3～7cm、幅1～3cm、鋭鋸歯縁。花期は4～5月。葉腋の集散花序に多数の花を付ける。花弁は黄緑色で楕円形。株全体に苦み物質のカッシンを含み、葉にも使われる。

＜分布＞[市内] 芥見東で記録がある。

[県内] 県北部、中部、東部に分布。

[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)



## エンコウカエデ

*Acer pictum* subsp. *dissectum* f. *dissectum*

カエデ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する高さ20mに達する落葉高木。葉は対生し、葉身は5角形、長さ4~9cm、幅5.5~12cm、ふつう5中裂するが、若い木では5深裂し、鋸歯はなく基部は浅心形ないし切形、裂片の先は尾状鋭尖頭、裏面基部脈腋に短毛があるほかはほとんど無毛。葉柄は長さ3~13cm、枝の下部では葉身よりも長い。花期は4~5月。花序は複総状、有花枝に頂生し長さ3~4cm、上向きに10~50花を付ける。花は5数性で淡黄色。分果は長さ2~2.5cmで果翼は鋭角に開く。日本固有種。

＜分布＞ [市内] 常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(岩手県~兵庫県)、四国、九州に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)

## キツリフネ

*Impatiens noli-tangere*

ツリフネソウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 分布限界、希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山中の湿地に生育する一年草。茎は高さ40~80cm。葉は互生し、卵形~長楕円形で長さ4~8cm、幅2~5cm、縁に粗い鈍鋸歯がある。葉柄は長さ2~5cm。花期は7~9月。花序は葉腋から下垂し、3~5花が付く。花は淡黄色で、正面の幅は約25mm、側面の長さは30~40mm。細長い花柄で吊り下る。

＜分布＞ [市内] 岩野田、岩野田北、金華、常磐、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ナガバノスミレサイシン

*Viola bissetii*

スミレ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林下に生育する多年草。地下茎はやや太くて横たわる。葉は少数。花に遅れて開き、やや厚く、三角状長卵形~三角状披針形で長く尖り、長さ5~10cm、低い鋸歯があり、基部は深く湾入する。花期は4~5月。花柄は長さ5~12cm。花は淡紫色で大型。花卉は長さ15~18mm、距は太短い。

＜分布＞ [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西の太平洋側)~九州に分布。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## エイザンスミレ

*Viola eizanensis*

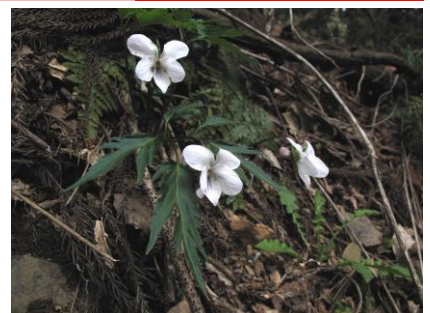
スミレ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の木陰に生育する多年草。葉は3全裂し、各裂片には柄があり、側裂片はさらに2分裂し鳥足状になる。夏の葉は3小葉からなり、各小葉は披針形で長さ10cm、分裂しない。花期は4~5月。大型で淡紅紫色。

＜分布＞ [市内] 金華、長森西、梅林で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。



撮影：大塚英樹(市外撮影)



## ヒシ

*Trapa japonica*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 池に生育する一年生の水生植物。浮葉は密生して水面に浮かび、三角状菱形。縁には鋸歯があり、径2.5～5cm、裏面や葉柄には毛がある。葉柄は長く、中央部が膨らむ。花期は7～10月。花は白色で径1cm程度。花弁は楕円状倒卵形で2浅裂する。石果はやや平らな倒三角形で、左右の両端が刺となり、刺の先に小さな下向きの刺がある。

＜分布＞ [市内] 日置江で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部、南部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

ヒシ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## ハリギリ

*Kalopanax septemlobus*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地林内に生育する高さ30mにも達する落葉高木。若枝には軟毛が密生するが、のち無毛。太く鋭い刺があり、灰白色で長楕円形の皮目がある。葉は円形で5～9中裂し、径10～25cm、基部は切形または浅心形、縁に細鋸歯がある。花期は7～8月。花弁は黄緑色。

＜分布＞ [市内] 常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

ウコギ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## シャク

*Anthriscus sylvestris* subsp. *sylvestris*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の湿地に生育する多年草。茎は直立し、高さ80～140cmになる。葉は有柄で2回3出羽状複葉、小葉は細裂する。花期は5～6月。花は白色。果実は細長く、先は尖り、黒く熟す。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

セリ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—



撮影：大塚英樹

## ハルリンドウ

*Gentiana thunbergii* var. *thunbergii*

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良いやや湿った山野に生育する越年草。高さ5～15cm。根出葉はロゼット状につき卵形で長さ1～3cm。茎葉は卵状披針形で長さ5～10mm。花期は3～5月。花は茎頂に1個付く。花冠は青紫色で、長さ2～3cm。

＜分布＞ [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

リンドウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—



撮影：岐阜市自然環境課

## アケボノソウ

*Swertia bimaculata*

リンドウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野のやや湿った場所に生育する一年草～越年草。根出葉は大形で長楕円形、並行する数脈がある。茎は4稜条があり、高さ50～80cm。茎葉は卵形～披針形で、長さ5～12cm。花期は9～10月。まばらな集散状円錐花序で、花柄は長さ1～5cm、花冠は黄白色で4～5深裂する。

＜分布＞ [市内] 三輪北、網代、藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## センブリ

*Swertia japonica*

リンドウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野の日あたりの良い場所に生育する一年草～越年草。高さ5～20cm。茎は淡紫色を帯びる。茎葉は線形で長さ1.5～3.5cm。花期は8～11月。花は円錐状につき、花冠は白色で5深裂。裂片は広披針形で紫脈があり、長さ12～15mm。全草に強い苦みがあり、類似のイヌセンブリと区別できる。古くから健胃剤として利用されている。

＜分布＞ [市内] 芥見東・南で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道西南部～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## スズサイコ

*Vincetoxicum pycnostelma*

ガガイモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良いやや乾いた草地に生育する多年草。茎は細く、直立して高さ40～100cm。葉は対生で、長披針形～線状長楕円形、長さ6～13cm、幅4～15mm。花期は7～8月。花序は茎の先や葉腋から出る。2～3cmの総花柄があり、集散状に黄褐色の花を付ける。袋果は細長い披針形で長さ5～8cmになる。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

＜特記事項＞ 以前は耕作地の法面などにもよく見られたが、草刈などの管理が行われなくなり、減少傾向にある。



撮影：岐阜市自然環境課

## ヤマルリソウ

*Omphalodes japonica*

ムラサキ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山の木陰や道端などに生育する多年草。茎は多数斜上し、高さ7～20cm、開出した白毛が多い。根出葉はロゼット状に広がり、倒披針形で長さ7～20cm、幅2～5cm。茎葉は基部茎を抱き、上部に向かい小さくなる。花期は4～5月。花は淡青紫色で径約1cm、8～17mmの小花柄がある。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(福島県以南)～九州に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)



**ニシキゴロモ***Ajuga yezoensis*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 丘陵地の林内に生育する多年草。茎は高さ8~15cm。葉は対生で数対あり、基部の2~3対は鱗片状となる。葉は長楕円形~広卵形で長さ2~6cm、幅1~3cm、葉柄は1~3cm。花期は4~5月。花は2~6個ずつ葉腋につき、淡紫色で、筒部は10~11mm。下舌は大きく3裂する。**<分布>** [市内] 芥見東、岩野田北、三輪北、常磐で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州の主として日本海側に分布。

撮影：大塚英樹

**ヒキオコシ***Isodon japonicus*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** やや乾いた丘陵地に生育する多年草。茎は地下茎から数本直立し、高さ50~100cm、4稜があり、密に下向きの細毛がある。葉は広卵形で長さ6~15cm、幅3.5~8cm、鋸歯縁。花期は9~10月。茎の上部は多数分枝し、大きな円錐花序を作る。花冠は淡青紫色で、上唇には紫点がある。**<分布>** [市内] 三輪北で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道(西南部)~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**コシロネ***Lycopus cavaleriei*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地に生育する多年草。茎は直立し、高さ20~80cmになる。葉は菱状狭楕円形で、先は鈍く縁には粗い鋸歯があり、長さ3~4cm、幅1~2cm。花期は8~10月。花は葉腋に群がって付く。花冠は白色で径約3mm。**<分布>** [市内] 常磐、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ヒメシロネ***Lycopus maackianus*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山間の湿地に生育する多年草。茎は直立し高さ30~70cm、4稜がある。葉は対生し、厚く光沢があり、披針形~広披針形、長さ4~8cm、幅5~15cm、鋭い鋸歯がある。花期は8~10月。花は葉腋につき、白色で径約5mm。**<分布>** [市内] 芥見東、岩、三輪北で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹



**ウツボグサ***Prunella vulgaris* subsp. *asiatica*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の草地に生育する多年草。茎は高さ 10~30cm、葉は対生で卵状長楕円形、長さ 2~5cm、少数の低い鋸歯がある。花期は 6~8 月。茎頂に密な花穂をつくる。花冠は紫色で長さ 1.5~2cm。**<分布>** [市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**タツナミソウ***Scutellaria indica*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 丘陵地の半日陰に生育する多年草。茎は高さ 20~40cm、短く這った地下茎から立ち上がり、白色の荒い開出毛が多い。葉は対生で数対あり、広卵心形~三角状卵形、長さ幅ともに 1~2.5cm、両面ともに軟毛があり縁には鈍い葉牙がある。花期は 5~6 月。花序は開出毛が多く、長さ 3~8cm でやや密に花を付ける。花は青紫色、長さ 2cm 内外、下唇には紫点がある。**<分布>** [市内] 三輪北、長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**イヌゴマ***Stachys aspera* var. *hispidula*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地に生育する多年草。細長い地下茎がある。茎は直立し高さ 40~70cm、4 稜あり、稜には短い下向きの刺がある。葉は三角状被針形、長さ 4~8cm、幅 1~2.5cm。裏面の中肋にも短い下向きの刺があつてざらつく。花期は 7~8 月。花冠は淡紫色、長さ 12~15mm、下唇は 3 裂して紫色の細点がある。**<分布>** [市内] 茜部、鏡島、三輪南、市橋、柳津で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ツルニガクサ***Teucrium viscidum* var. *miquelianum*

シソ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の木陰に生育する多年草。茎は直立し高さ 20~40cm。地下に細い走出枝を出す。葉はやや薄く、長さ 4~10cm、幅 1.5~5cm。花期は 7~9 月。花序は長さ 3~5cm、一方向に偏って密に淡紅色の花を付ける。萼は長さ 3mm 程度で全面に腺毛がある。**<分布>** [市内] 金華、長良、長良東、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 日本全土に分布。

撮影：佐藤克則(市外撮影)

## ハダカホオズキ

*Tubocapsicum anomalum*

ナス科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ やや湿り気のある林縁に生育する多年草。茎は直立し多くの枝に分かれ、高さ 60～90cm。葉は無毛で卵形～卵状楕円形、柄とともに長さ 6～23cm、幅 3～9cm。花期は 8～9 月。葉腋に細い柄のあるやや下向きの花を付ける。花冠は淡黄色で径 8mm。

＜分布＞ [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～琉球、小笠原に分布。



撮影：大塚英樹

## シソクサ

*Limnophila chinensis* subsp. *Aromatica*

ゴマノハグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 湿地に生育する一年草。茎は直立してあまり分枝せず高さ 10～30cm。葉は対生し、柄が無く長楕円形で、長さ 10～25mm、幅 3～10mm、少数の鋸歯がある。葉には多くの油点があり、透かして見ると確認できる。これがシソの香りを出す。花期は 9～10 月。上部の葉腋から長さ 7～15mm の花柄を出し、白色筒型の 1 花を付ける。

＜分布＞ [市内] 金華、常磐、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～琉球南部に分布。



撮影：大塚英樹

## ママコナ

*Melampyrum roseum* var. *japonicum*

ゴマノハグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林下に生育する半寄生の一年草。茎は直立し高さ 20～50cm。葉は長卵形で両端尖り、長さ 2～8cm、幅 1～3cm で 3～15mm の柄がある。花期は 7～9 月。枝先に長さ 3～10cm の花序を作り、多くの花を付ける。花軸や萼にはやや密に白毛がある。苞は葉状で小さく、先は鋭く尖り、両縁に刺毛状の長い葉芽がある。花冠は紅紫色、花喉の両側に白色の斑がある。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野、藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道西部、本州、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## クチナシグサ

*Monochasma sheareri*

ゴマノハグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 低地のやや乾いた落葉広葉樹林下に生育する半寄生の越年草。茎はやや地を這い、長さ 15～60cm、曲がった毛が散生する。茎上部の葉は線形で両面に毛が散生し、長さ 20～35mm、幅 2～3mm。花期は 4～5 月。茎上部の葉腋に淡紅紫色の長さ 10mm 程度の花を 1 個ずつ付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見東、芥見南、岩野田北、常磐、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方、中京地方、中国地方)、四国、九州北部のいずれも乾燥した地域に分布。



撮影：大塚英樹



## ソクズ

*Sambucus chinensis*

スイカズラ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 人家付近に生育する大型の多年草。茎は直立し、高さ1～1.5m。葉は奇数羽状複葉で5～7の小葉がある。小葉は長さ5～17cm、幅2～6cm。花期は7～8月。大型の散房状集散花序で、白色の径3～4mmの小さい花を多数付ける。花序の所々に黄色の腺体がある。果実は赤く熟し、径4mm内外。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## オミナエシ

*Patrinia scabiosifolia*

オミナエシ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良いやや乾いた草地に生育する多年草。茎は高さ60～100cm。葉は対生し、頭大羽状に深裂。花期は8～10月。集散花序に多数の黄色い小花を付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見東・南で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

＜特記事項＞ 以前は耕作地の法面などにもよく見られ秋の七草としても親しまれたが、草刈などの管理が行われなくなり、減少傾向にある。



撮影：野々目徳弘

## ツルカノコソウ

*Valeriana flaccidissima*

オミナエシ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の木陰に生育する多年草。茎は高さ20～40cm、花後に細い走out枝を伸ばす。葉は卵状楕円形～広披針形。花期は4～5月。花は散房花序につき、花冠は白色～紅色、漏斗状で2mm内外。羽状の白色冠毛がある。

＜分布＞ [市内] 金華、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## サワギキョウ

*Lobelia sessilifolia*

キキョウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野の湿地に生育する多年草。根茎は短く太く横に這う。茎は直立し分枝せず中空、高さ50～100cm。葉は互生し披針形で長さ4～7cm、低鋸歯縁で柄はない。上部の葉は次第に小型になり、苞となってその腋に花をつけ密な総状花序となる。花期は8～9月。花柄は5～12mm、花冠は濃紫色で長さ2.5～3cm。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹



**キキョウ***Platycodon grandiflorus*

キキョウ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化、営利目的**<種の概要>** 山野の草地に生育する多年草。茎は高さ 50~100cm。葉は互生、まれに対生・輪生となり、狭卵形で長さ 4~7cm、先は尖り、縁には鋭鋸歯がある。花期は 7~8 月。茎頂近くに径 4~5cm の青紫色の花を付ける。根茎は桔梗根として薬用にされる。**<分布>** [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州・奄美諸島に分布。**<特記事項>** 以前は耕作地の法面などにもよく見られ秋の七草としても親しまれたが、草刈などの管理が行われなくなり、減少傾向にある。

撮影：佐藤克則(市外撮影)

**ヌマダイコン***Adenostemma lavenia*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化**<種の概要>** 湿った場所や溝などに生育する多年草。茎は高さ 30~100cm。葉は卵形~卵状長楕円形、長さ 4~20cm、鈍鋸歯縁で両面にまばらに短毛がある。葉柄は 1~6cm。花期は 9~11 月。開花時は径 5~6mm、のち 7~8mm となる。小花は全て両性の筒状花からなる。**<分布>** [市内] 三輪北、藍川で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以南)~琉球に分布。

撮影：佐藤克則(市外撮影)

**イヌヨモギ***Artemisia keiskeana*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化**<種の概要>** やや乾いた丘陵地に生育する多年草。茎は叢生し、花を付けない茎は短く、先にロゼット状に葉を付ける。花茎は高さ 30~80cm、下部の葉は花時には枯れる。中部の葉は倒卵形からさじ型で、長さ 4.5~8.5cm、大きな鋸歯がある。花期は 8~10 月。総状円錐花序に多数の下向きの花を付ける。花は球形で、幅 3~3.5mm。そう果は狭倒卵形で長さ 2mm、毛は無い。**<分布>** [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

撮影：大塚英樹

**ミヤマヨメナ***Aster savatieri*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境変化**<種の概要>** 山の陰地に生育する多年草。茎は直立し高さ 20~50cm、根出葉は花時にもある。葉は長楕円形~卵状長楕円形で、長さ 3.5~6cm、幅 2.5~3cm、縁に大きな鋸歯がある。花期は 5~6 月。枝の先に径 3.5~4cm の花を 1 個つけ、舌状花は淡青紫色。そう果は倒卵状長楕円形で冠毛はない。**<分布>** [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：加藤範夫(市外撮影)

## センダングサ

*Bidens biternata*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 暖地の湿潤な草地や溝沿いに生育する一年草。茎は高さ 30～150cm、断面はやや四角形。葉は対生し、1～2 回羽状複葉。葉柄を含め長さ 9～15cm、両面に毛が多い。花期は 9～11 月。頭花は径 7～10mm。舌状花は黄色。そう果は線形で偏 4 稜形、長さ 9～19mm、芒は 3～4 本。

＜分布＞ [市内] 岩、城西、早田、長良東、島、日野、本郷で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## タウコギ

*Bidens tripartita*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 水田の畔や湿地に生育する多年草。茎は高さ 20～150cm。葉は対生し、やや翼のある柄があり、長さ 5～13cm、ふつう 3～5 裂する。花期は 8～10 月。頭花ははじめ径 7～8mm、のち 25～35mm になる。舌状花は無い。そう果は長さ 7～11mm、下向きの刺があり、芒は 2 本。

＜分布＞ [市内] 芥見東、三輪北で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 日本全土に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## リュウノウギク

*Chrysanthemum makinoi*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い山地の崖に生育する多年草。細長い地下茎がある。茎は高さ 40～80cm で、まばらに分枝する。葉は卵形～広卵形、長さ 4～8cm、3 浅裂～3 中裂、大きな鈍鋸歯がある。表面は短毛があり、裏面には密に丁字状毛があって灰白色。花期は 10～11 月。頭花は細長い枝の先に単生し、径 2.5～5cm。舌状花は白色でのちに淡紅色となる。

＜分布＞ [市内] 芥見東、芥見南で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(福島県・新潟県以西)、四国、九州(宮崎県)に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ヤマニガナ

*Lactuca raddeana* var. *elata*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林縁や草地に生育する一年草～越年草。茎は高さ 60～200cm。葉は下部のものは時に羽裂する。花期は 8～9 月。狭い円錐花序に濃黄色の径 1cm 内外の頭花を多数付ける。そう果の冠毛は白色。

＜分布＞ [市内] 常磐で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



## センボンヤリ

*Leibnitzia anandria*

キク科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

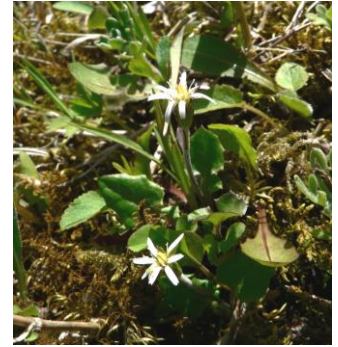
岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の丘陵地に生育する多年草。春型と秋型がある。春型の花期は4～6月。草丈は高さ10cm、頭花は径約1.5cm、白色で裏は紫色を帯びる。葉の裏面にはくも毛が密生し白い。秋型の花期は9～10月。草丈は高さ30～60cmに達し、花茎には小さな葉を付ける。そう果は長さ6mm、長さ11mmの褐色の冠毛がある。

＜分布＞ [市内] 岩野田北、常磐で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～本州に分布。



撮影：大塚英樹(市外撮影)

## フトヒルムシロ

*Potamogeton fryeri*

ヒルムシロ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 池や沼、河川の淀みなどに生育する多年生の水生植物。地下茎は水底の泥の中を横走する。各節から根を出し、1節おきに水中茎を出す。水中茎は水深に応じて伸び、下部には沈水葉、上部には浮葉を付ける。沈水葉は披針形、浮葉は基部が円形または浅い心形で縁が葉柄に沿って流れる。花期は6～10月。浮葉の腋から穂状花序を出す。花序は長さ2.5～5cm、開花時には直立し、水面より上に出る。

＜分布＞ [市内] 金華、三輪南、長森東、日野で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## ホッソモ

*Najas graminea*

イバラモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 淡水に生育する沈水性の一年草。茎は長さ約30cmになり、細くよく分枝し、節から根を出す。葉は長さ約2cm、幅約0.5mm、縁には微小な鋸歯がある。葉鞘の上端は耳状に付き出る。花期は7～9月。種子の表面の細胞は小さく、稜がある。

＜分布＞ [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## コオニユリ

*Lilium leichtlinii* f. *pseudotigrinum*

ユリ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の草地に生育する多年草。茎は直立し、高さ1～2mになる。葉は多数つき、披針形で長さ5～15cm。花期は7～9月。花被片は橙赤色で濃色の斑点があり、披針形。オニユリに似るが、鱗茎は白色で小型、葉腋には珠芽がないことなどで区別できる。

＜分布＞ [市内] 岩野田北、常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)



## ナルコユリ

*Polygonatum falcatum*

ユリ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林下に生育する多年草。根茎は太く節間は短い。茎は円柱形で稜はなく、高さ 50～100cm。上部は弓上に曲がる。葉は披針形で、長さ 8～15cm、裏面脈状に小突起がある。花期は 5～6 月。葉腋に 3～5 個つき、散房状に下垂する。花筒は緑白色で長さ 17～23cm、花糸は長さ 5～7mm。液果は径 8～10mm で黒紫色に熟す。

＜分布＞ [市内] 芥見で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：則行雅臣(市外撮影)

## アマドコロ

*Polygonatum odoratum* var. *pluriflorum*

ユリ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する多年草。根茎は長く、径 4～7mm、白色で節間は長い。茎は高さ 30～80cm、稜角があり、上部は弓上に曲がる。葉は長楕円形で、長さ 5～15cm、裏面は白色を帯びる。花期は 4～5 月。花は葉腋に 1～2 個下垂する。花筒は長さ 15～20cm、白色で先は緑色を帯びる。花糸には細突起がある。液果は径 10mm で黒紫色に熟す。

＜分布＞ [市内] 金華、三輪南、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ノハナショウブ

*Iris ensata* var. *spontanea*

アヤメ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山野の草地や湿原に生育する多年草。葉は剣状で長さ 30～60cm、幅 5～12mm、太い中脈が目立つ。花期は 6～7 月。高さ 40～80cm の花茎が立ち、頂部に数個の苞があり、その中から数個の花を次々に開く。花は赤紫色で径約 10cm、外花被片は楕円形で先が垂れ、中央から基部の爪にかけては黄色となる。

＜分布＞ [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：岐阜市自然環境課

## アヤメ

*Iris sanguinea*

アヤメ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 山地のやや乾いた草地に生育する多年草。葉は長さ 30～50cm、幅 5～10mm、中脈はあるが目立たない。花期は 5～7 月。花は高さ 30～60cm の花茎に 2～3 個付く。花卉は紫色で径 8cm 内外。爪部は黄色地に紫色の細脈がある。

＜分布＞ [市内] 日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ニッポンイヌノヒゲ

*Eriocaulon taquetii*

ホシクサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 湿地や水中に生育する無茎の一年草。葉は多数束生し、披針状線形でやや厚く、長さ 10～20cm。花茎は高さ 15～22cm、ややねじれる。花期は 8～10 月。頭花は倒円錐形または半球形で径 6～8mm。総苞片は披針形で先は尖り、頭花より長い。

＜分布＞ [市内] 芥見東、三輪北で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ヒメコヌカグサ

*Agrostis valvata*

イネ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山のやや湿った場所にまれに生育する多年草。根茎は発達せず稈は束生、高さ 40～70cm。葉は扁平で長さ 7～15cm、幅 3～5mm。花期は 5～6 月。小穂は長さ 2.5～3mm、淡緑色でしばしば赤紫色を帯びる。苞穎は同形、小花は淡白色で苞穎より少し長く、芒は無い。同じコヌカグサ属の中では、小花が苞穎よりやや長いことが特徴である。

＜分布＞ [市内] 芥見東、金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## ヒメノガリヤス

*Calamagrostis hakonensis*

イネ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 山地や丘陵地に生育する多年草。根茎は短くて硬く、茎は細く高さ 30～60cm、時に群生する。葉は扁平で幅 3～6mm、途中でねじれ、表裏反転することがある。葉鞘の上端には環状に短毛がある。花期は 7～10 月。長さ 5～8cm の円錐花序に長さ 3～5mm の淡黄緑色の小花を付ける。

＜分布＞ [市内] 金華、長良、長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## チョウセンガリヤス

*Cleistogenes hackelii*

イネ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

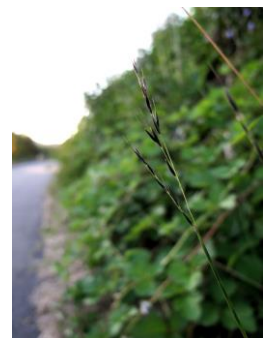
岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良いやや乾燥傾向にある山道などに生育する多年草。茎は高さ 40～100cm。葉は短線形で、葉鞘には長毛がある。花期は 8～10 月。長さ 4～8cm の円錐花序に鉛緑色で赤紫色の小花を付ける。

＜分布＞ [市内] 日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。



撮影：大塚英樹



**オガルカヤ***Cymbopogon tortilis* var. *goeringii*

イネ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 丘陵から低山の草地に生育する多年草。茎は直立し高さ100cm前後になる。葉は線形で、幅3~5mm。茎はやや硬くて平滑、短く分枝し、多数の花序をつけ、長さ20~40cmの円柱花序となる。花期は8~11月。**<分布>** [市内] 芥見で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州~琉球に分布。

撮影：大塚英樹

**オオハンゲ***Pinellia tripartita*

サトイモ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 山地の常緑樹林下に生育する多年草。葉は1~4個。葉身は3深裂し、裂片は広卵形または狭卵形で短鋭尖頭、長さ8~20cm。花期は6~8月。花茎は高さ20~50cmで、葉の上にやや突き出るか、ほぼ同高。苞は緑色または帯紫色で長さ6~10cm、舷弦部は卵形で鈍頭。内面に小突起を密生し、外面はなめらか。付属体は長さ15~25cm。**<分布>** [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(中部地方)~琉球に分布。

撮影：中尾茂樹(市外撮影)

**マツバスゲ***Carex biwensis*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地に生育する多年草。茎は高さ10~40cm、鈍3稜があつて平滑。葉は幅約1.5mm。小穂は1個で頂生し長さ1~2cmで芒はなく、上部は雄花部で線形、下部は雌花部で長楕円形。雌鱗片は錆色。花期は5~6月。瘦果は3稜形で長さ約1.3mm、赤褐色。柱頭は3個。**<分布>** [市内] 金華、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州~九州に分布。

撮影：則行雅臣(市外撮影)

**クロヒナスゲ***Carex gifuensis*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 比較的明るい林内に生育する多年草。大株となり、匍枝を欠く。稈は20~30cm。葉は幅1.5~2.5mm、開花時は稈より短いが、その後著しく伸長する。花期は4~6月。小穂は2~3個。頂小穂は雄性で、狭披針形。長さ1~1.5cm、幅1~1.5mm、帯赤色。側小穂は雌性。無柄で楕円形、長さ5~10mm、幅3mm。**<分布>** [市内] 金華、長森西、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 岐阜県のほか、栃木県、三重県、愛媛県に隔離分布。

撮影：大塚英樹



**オオハリイ***Eleocharis congesta* var. *congesta*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 湿地や水田跡地に生育する多年草。茎は高さ10～30cm、幅0.2～1mm、鮮緑色。花期は6～10月。小穂は披針形～狭卵形、長さ3～8mm、幅1.5～2.5mm。時に基部に腋芽ができる。果は倒卵形、鈍3稜形で黄緑色、長さ0.7～1.2mm、刺針は6個。**<分布>** [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

撮影：大塚英樹

**ノテンツキ***Fimbristylis complanata* f. *exaltata*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 平地や山地の湿地に生育する多年草。茎は高さ20～80cm、扁平で平滑、ほとんど叢生しない。葉は幅1.5～3mm。花期は6～10月。小穂は披針形で長さ5～8mm、褐色の5～15個の小花からなる。瘦果は3稜ある倒卵形で長さ約0.9mm、淡色で表面は平滑あるいは瘤状の突起がまばらにある。**<分布>** [市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。

撮影：大塚英樹

**フトイ***Schoenoplectus tabernaemontani*

カヤツリグサ科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、環境改変**<種の概要>** 平地や山地の池沼などの浅水中に生育する大型の多年草。根茎は太く横に這い、茎は粉緑色で円く高さ1～2m、径7～15mm。花期は7～10月。花序は側生状で数個の枝が出て、枝端に1～3個の小穂が付く。小穂は卵形で赤褐色を帯び、長さ5～10mm。果は長さ2mm、倒卵形、レンズ型。柱頭はふつう2個。**<分布>** [市内] 黒野、方県で記録がある。  
[県内] 県中部、南部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

撮影：中尾茂樹(市外撮影)

**ギンラン***Cephalanthera erecta*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：—

**<選定理由>** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的**<種の概要>** 山地樹林下に生育する多年草。茎は直立し、高さ10～30cm。葉は3～6個で互生、狭長楕円形で長さ3～8cm、幅1～3cm、鋭尖頭、基部は茎を抱く。花期は5～6月。白色の数花を付ける。**<分布>** [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

撮影：大塚英樹

## ツチアケビ

*Cyrtosia septentrionalis*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 落葉樹林下またはササ類の群落中に生育する無葉緑腐生植物。全体に褐色で、根茎は太く横に長く這い、大型の鱗片葉を付ける。地上茎は高さ 50～100cm、まばらに分枝し、複状花序となる。花期は 6～7 月。黄褐色の花を多数付ける。果実は肉質、バナナ状で下垂し、長さ 6～10cm、径約 3cm、秋に赤く熟す。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道(札幌以南)～九州に分布。



果実  
撮影：大塚英樹

## カキラン

*Epipactis thunbergii*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 日あたりの良い湿地に生育する多年草。根茎は横に這い、節から根を出す。茎は高さ 30～70cm。葉は狭卵形で互生し、長さ 7～12cm、幅 2～4cm。著しい縦脈があり、基部は茎を抱く。花期は 6～8 月。黄褐色の花を 10 個程度付ける。花の色が柿の実の色に似ていることからこの名がある。

＜分布＞ [市内] 市内の数カ所で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。



撮影：大塚英樹

## クロヤツシロラン

*Gastrodia pubilabiata*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 常緑照葉樹林やスギ植林、竹林などの林床に生育する無葉緑腐生植物。茎は高さ 2～3cm。花期は 9～10 月。花序は短縮し、茎頂から数個の花が束生状にでる。花は汚紫褐色。茎は果実期には高さ数十 cm に伸長する。

＜分布＞ [市内] 黒野、常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)、四国、九州に分布。



撮影：大塚英樹

## トンボソウ

*Platanthera ussuriensis*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特殊環境、特異生態、環境改変

＜種の概要＞ 山林の樹下に生育する多年草。茎は高さ 15～35cm、下部にやや接して 2 葉があり、その上に数個の鱗片葉がある。葉は狭長楕円形～倒披針形で長さ 8～13cm、幅 1～3cm。花期は 7～8 月。穂状花序に淡緑色の小花を多数付ける。

＜分布＞ [市内] 岩野田北、常磐、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 南千島、北海道～九州に分布。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

**カヤラン***Thrixspermum japonicum*

ラン科

岐阜市：絶滅危惧Ⅱ類

岐阜県：—

環境省：—

**＜選定理由＞** 希少、特殊環境、特異生態、環境改変**＜種の概要＞** 常緑樹林内の樹幹に着生する多年草。気根は茎の中部以下から出て細長い。茎は細く、長さ3~7cm、分枝することなく古い葉鞘に包まれる。葉は10~20個、左右2列に互生し、披針形で長さ2~4cm、幅4~6mm、鈍頭、基部は細くなって鞘に関節する。花期は3~5月。花茎は細く、葉腋から出て淡黄色の花を数個付ける。**＜分布＞** [市内] 芥見東、岩、常磐、日野、方県で記録がある。

[県内] 県西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州(岩手県以南)~九州に分布。



撮影：大塚英樹

**ホソバカナワラビ***Arachniodes aristata*

オシダ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：—

**＜選定理由＞** 希少、環境改変**＜種の概要＞** 常緑性のシダ植物。葉は3回羽状複生から4回羽状深裂で、孢子葉では長さ50cmを超えることがある。羽片は5~10対で、最下のものが最も大きく、上部に行くほど短くなる。先端はさらに急に短くなり、頂羽片状となる。根茎は長く横走り、赤褐色の鱗片を付ける。葉柄はわら色で基部は褐色で鱗片が多い。**＜分布＞** [市内] 金華で記録がある。

[県内] 県中部に分布。

[県外] 本州(関東地方以西)・四国・九州・琉球に分布。

**クサソテツ***Matteuccia struthiopteris*

オシダ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**＜選定理由＞** 希少、環境改変**＜種の概要＞** 夏緑性のシダ植物。根茎は直立茎と匍匐枝からなり、直立茎は塊状、径2~9cm、葉を叢生し鱗片を付ける。葉は2形。栄養葉の葉柄は長さ2~25cm、わら色で黒色あるいは赤褐色の鱗片を付ける。葉身は倒卵形~倒卵状披針形、長さ50~150cm、幅15~60cm、羽片は多数で基部に向かって短くなり最下部では数mmとなる。孢子葉は狭倒披針形、長さ15~35cm、幅3~7cm、辺縁は羽状に浅裂し、裏に巻いて包膜をもった孢子囊群を包む。**＜分布＞** [市内] 金華、三輪北、長良で記録がある。

[県内] 県内全域に分布。

[県外] 北海道、本州、四国(稀)、九州(中央山地)に分布。

**コウヤワラビ***Onoclea sensibilis* var. *interrupta*

オシダ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**＜選定理由＞** 希少、環境改変**＜種の概要＞** 夏緑性のシダ植物。根茎は長く横走り、径3~6mm。葉は2形。栄養葉の葉柄は長さ8~30cm、わら色で基部は褐色。葉身は広卵形から三角状楕円形、長さ8~30cm、幅8~25cm。羽片は5~14対あり、披針形で鈍頭、基部に向かって次第に狭くなる。下部の羽片は狭いくさび形で有柄、上部のものは中軸に流れ、連続した翼をつくる。孢子葉の葉身は2回羽状複生。孢子囊群は薄くて透明な包膜に包まれ、さらにそれが葉面に包まれ球状となり、羽軸上に2~3mm間隔で並ぶ。**＜分布＞** [市内] 金華、三輪北、長良で記録がある。

[県内] 県内全域に分布。

[県外] 北海道、本州、九州(中央山地)に分布。



## イヌガヤ

イヌガヤ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

*Cephalotaxus harringtonia* var. *harringtonia*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑の小高木または低木。大きいものでは樹高 8～10m、径 30～40cm になる。樹皮は暗灰褐色で浅く縦裂する。葉は互生するが、側枝では葉基がねじれて水平に 2 列に並び、線形で長さ 3～5cm、幅 3～4mm、先は短く尖るが触っても痛くない。表面は暗緑色、裏面は灰白色の気孔があり白っぽい。花期は 3～4 月。雌雄異株。雄花は前年枝の葉腋につき球形。雌花は前年枝の頂部の葉腋につき卵形。材は緻密で硬く、細工物などに利用される。

＜分布＞[市内] 方県、網代で記録がある。

[県内] 県内全域に分布。

[県外] 本州(岩手県以南)、四国、九州(屋久島まで)に分布。

## カワラハンノキ

カバノキ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

*Alnus serrulatoidea*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 川岸などに生育する低木または小高木。樹高 5～7m。幹は暗褐色で皮目があり、下部からよく枝分かれする。葉はやや厚く、広倒卵形、長さ 5～10cm、幅 3～7cm、先端は微凹頭。側脈は 7～9 対あり、裏面に隆起し、脈上または脈腋に毛がある。花期は 2～3 月。葉に先だって開く。雄花序は枝先に 2～5 個つき、雌花序はその下の葉腋に 1～5 個つく。堅果は広卵円形で長さ約 3mm。

＜分布＞[市内] 芥見、芥見東、岩、金華、三輪南、長良、長良東、日野、藍川で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州(東海・近畿・中国地方)、四国、九州(宮崎県)に分布。

## スタジイ

ブナ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

*Castanopsis sieboldii*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑高木。樹高 20m、径 1m に達する。樹皮は黒褐色で深く縦方向に裂ける。葉は互生し、約 1cm の柄がある。葉身はやや厚い革質で、長さ 5～15cm、披針形～楕円状卵形、先は鋭尖形に細まって鈍頭に終わり、基部は広くさび形か円形。葉の表面は深緑色、初め細かい褐色の隣上毛を散生するが、のち無毛、裏面は灰褐色の隣上毛を密生し、銀白色のちに灰褐色となる。花期は 5～6 月。堅果は卵状長楕円形で長さ 12～21mm、翌年の秋までに熟す。殻斗は卵形、先は鋭形、鱗片状突起は合着するが、先端部のみ離生し環状に配列する。類似のツブラジイ(コジイ)は、樹皮がほとんど縦裂しないことで区別できる。

＜分布＞[市内] 金華、三輪北で記録がある。

[県内] 県中部、東部、南部に分布。

[県外] 本州(福島県・新潟県以西)、四国、九州(屋久島まで)に分布。

## クヌギ

ブナ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：情報不足

環境省：—

*Quercus acutissima*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 落葉高木。樹高 15m、径 60cm に達する。樹皮は灰褐色で不規則に割れる。葉は互生し、長楕円状披針形で長さ 8～15cm、側脈は 13～17 対で、先は 2～3mm の芒となり葉縁から突出する。葉の表面は無毛、裏面は黄褐色の脱落性軟毛を密生するがのちほとんど無毛。花期は 4～5 月。雄花序は新枝や葉が伸びる前に出て、下垂し、長さ 10cm 内外で軟毛を密生する。雌花は新枝の中部から先の葉腋に 1～3 個付く。堅果は球形で、径 2～2.3cm。総苞片は広線形でらせん状に密につき、反り返り灰白色の短い毛を密生する。薪炭材やしいたげ栽培のほだ木として広く栽植される。

＜分布＞[市内] 芥見、芥見東、三輪北、長良東、日野で記録がある。

[県内] 県北部、中部、東部に分布。

[県外] 本州(岩手県・山形県以南)、四国、九州、琉球に分布。

## イチイガシ

ブナ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

*Quercus gilva*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑高木。樹高は 30m、径 1.5m に達する。樹皮は灰黒褐色で皮目が多く、大小不揃いな薄片となって剥げ落ち、波状の紋様ができる。若枝は黄褐色の星状毛を密生する。葉は互生し、倒披針形～広倒披針形、革質で長さ 6～14cm、上半分には鋭い目立つ鋸歯がある。葉の表面には初め黄褐色の星状毛を密生するが、のち無毛、裏面は宿存性の黄褐色の星状毛を密生する。花期は 4～5 月。雄花序は新枝の下部に数個ついて下垂し長さ 5～16cm、黄褐色の毛を密生する。雌花序は新枝の上部の葉腋に直立し、数個の花を穂状に付ける。堅果は卵円形から広卵形、径 1～1.3cm、年内に熟す。殻斗は杯形。

＜分布＞[市内] 金華、日野、梅林で記録がある。

[県内] 県中部、東部に分布。

[県外] 本州(関東東地方南部以西の太平洋側)、四国、九州に分布。

## タニソバ

*Persicaria nepalensis*

タデ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 原野や山地の日陰、湿地に生育する一年草。茎は高さ 10～50cm、赤みを帯びよく分枝し無毛。葉は有柄で卵形、長さ 1～9cm、幅 0.5～3cm、裏面に毛と腺点がある。葉柄には広い翼があって基部は茎を抱く。花期は 7～10 月。総状花序は頂生か腋生、頭状に集まる。萼は広い筒状で 4 裂し緑色、白色または紅色。そう果はレンズ状で、表面には小さなこぶ状突起がある。

＜分布＞ [市内] 藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## サワハコベ

*Stellaria diversiflora*

ナデシコ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山林下の湿地に生育する多年草。茎の下部は地を這い、上部は斜上し枝を分け、長さ 5～30cm。葉は柄があり、卵形～3 角状卵形、長さ 1～4cm、幅 0.8～2.5cm、表面には伏せ毛がある。花期は 5～7 月。花は長い柄があり、葉腋に単生する。花弁は 5 枚、白色で 2 中裂し、長さ 4～7mm。種子は楕円形で長さ約 2mm、星状の小突起を全面に密生する。

＜分布＞ [市内] 三輪北、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

## アブラチャン

*Lindera praecox*

クスノキ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 落葉低木。幹は叢生し、高さは 6m に達する。小枝は細く、明らかな皮目を散点する。葉は互生し卵状楕円形、長さ 5～8cm、幅 2～4cm、無毛。花期は 3～4 月。展葉に先だつて咲く。花序は前年の枝に腋生する芽に数個付く。花後、芽は伸長し枝・葉となるため、花序は枝の基部に取り残された状態になる。花被片は淡黄色でやや半透明、雄花より雌花の方が小さい。果実は径 15mm 程度で球形、乾燥して黄褐色。

＜分布＞ [市内] 芥見東、三輪南、網代、藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

## シロモジ

*Lindera triloba*

クスノキ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する落葉低木。幹は叢生し、高さは 6m に達する。小枝は細く、1 年目の枝には秋になっても皮目が現れない。葉は互生し 3 角状倒広卵形、3 中裂し、長さ 7～12cm、幅 7～10cm、基部から 3 脈が目立つ。両面共に無毛で裏面は粉白色。花期は 3～4 月。展葉に先だつて咲く。花序は前年の枝に腋生する芽に数個付く。花序の柄は 2～4mm、3～5 個の花が散形に付く。花被片は黄色、雄花では長さ 3mm、雌花ではそれより短い。果実は径 10～12mm で球形、乾燥して黄褐色。

＜分布＞ [市内] 三輪南、三輪北、網代で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州(中部地方以西)、四国、九州に分布。

## カゴノキ

*Litsea coreana*

クスノキ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 分布限界、希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑高木。樹高は 22m に達する。幹は和名の由来のとおり、鹿の子状にまだらに剥げ落ちる。葉は互生し、枝先にやや輪状に集まる。倒披針形～倒卵状長楕円形で、長さ 5～9cm、幅 1.4～4cm。葉柄は細く、長さ 8～15mm。花期は 8～9 月。雌雄異株。花序は枝の下方の葉の無い部分から上方の葉の間にかけて腋生する芽に数個付く。花は黄色、散形につき小花柄は短く長毛がある。果実は倒卵状球形で長さ 7～8mm、幅 6～7mm、翌年の秋に赤熟する。

＜分布＞ [市内] 金華、長森西、長良、長良東、日野、梅林で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東・福井県以西)、四国、九州に分布。

## ヤマグルマ

*Trochodendron aralioides*

ヤマグルマ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑高木。急峻な場所に生育する。樹高 20m、太さ 1m を超えることもある。樹皮は黒褐色を帯びた灰色でありあまり割れない。葉は 2～9cm の長い柄があり、葉身は革質で広倒卵形～狭倒卵形、長さ 5～14cm、幅 2～8cm。先は多少尾状になり、上部には波状鈍鋸歯がある。花期は 5～6 月。枝端に長さ 7～12cm の花序を付ける。花は 1 花序に 10～20 個つき、花被片は無く、黄緑色で径 10～12mm。果実は偏球形で径 7～10mm、秋に褐色に熟す。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(山形県南部以南)、四国、九州、琉球に分布。

## ニリンソウ

*Anemone flaccida*

キンポウゲ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 林縁や林床、草地にも生育する多年草。根茎はやや太く、長さ 5cm 程度。先端に数枚の根出葉と 1～3 本の花茎を束生する。根出葉は 3 全裂し、側裂片はさらに 2 深裂する。茎葉は 3 枚が輪生し、無柄で深く欠刻する。花期は 4～5 月。花茎に径 2cm 位の白色の花を 1～4 個付ける。花卉のように見える部分は萼片で、5～7 枚ある。葉や茎は早春に現れ、初夏には枯れる。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野、網代で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## ムベ

*Stauntonia hexaphylla*

アケビ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する常緑性でつる性の木本植物。葉は掌状複葉で柄がある。小葉は 5～7 枚あるが、若株では 3 枚のこともある。葉身は楕円形～長倒卵形で長さ 5～10cm、幅 2～4cm、革質で光沢があり、裏面は淡緑色で細かい網状脈が目立つ。小葉柄は 1～4cm。花期は 4～5 月。総状花序に 3～7 花を付ける。花被片は無く、萼片は淡黄白色で内面に淡紅紫色の条がある。液果は卵円形で長さ 5～8cm、紫色に熟し、果肉は白く多数の黒色の種子がある。

＜分布＞ [市内] 芥見、金華、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)、四国、九州、琉球に分布。

## マタタビ

*Actinidia polygama*

マタタビ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 原野や丘陵地に生育する落葉性でつる性の木本植物で、よく分枝する。枝の髄は白色で太く中実、小枝は幼時には淡褐色の軟毛があり、のち無毛。葉は薄く、広卵形～長楕円形、長さ 6～15cm、幅 3.5～8cm、縁には尖った低平鋸歯があり、両面の脈状にはかたい毛が散生、裏面の脈腋には淡褐色毛がある。葉柄は長さ 2～7cm。枝の上方につく葉は、表面全体あるいは先端が白色となる。花期は 6～7 月。花は白色で芳香があり、花卉は 5 枚で広楕円形～広倒卵形、長さ 10～12mm。果実は長楕円形で、先端はくちばし状に細くなり、長さ 2～2.5cm、橙黄色に熟し、多数の種子がある。

＜分布＞ [市内] 三輪北、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## ミヤマキケマン

*Corydalis pallida*

ケシ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地や低地の日あたりの良い草地に生育する無毛の越年草。茎は円く、下方はよく分枝し、高さは約 50cm になる。葉は卵形～長卵形で 1～2 回羽状複葉、小葉は広卵形で羽状に深裂し、更に欠刻がある。花期は 4～7 月。総状花序は長さ 3～10cm で密に多数の花を付ける。花は黄色で、長さ 20～23mm。蒴果は線形、長さ 2～3cm で著しく数珠状となる。

＜分布＞ [市内] 金華、長良東、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州(近畿地方以東)に分布。



## ヤマガラシ

*Barbarea orthoceras*

アブラナ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 深山の溪流のほとりに生育する多年草。茎は直立して上部は枝を分け、高さ 20～60cm になる。葉は頭大羽状に中～全裂し、長さ 6～12cm、頂小葉は楕円形～広卵形、側裂片は小さい。茎葉は基部が耳状に伸び、茎を抱く。花期は 5～8 月。花序は多数の花をつけ、花後に伸びる。花弁は黄色で倒卵形、長さ 4.5～7mm。長角果は 4 稜形で直立し、長さ 3～5cm。

＜分布＞ [市内] 岩、三輪北、長良東、日野、藍川で記録がある。

[県内] 県北部、西部に分布。

[県外] 北海道、本州(中部以北)に分布。

## ワサビ

*Eutrema japonicum*

アブラナ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 深山の澄んだ溪流に生育する多年草。根茎は太い円柱形で多くの節がある。茎は直立し、柄のある心形の葉を数個つけ、高さ 20～40cm になる。根出葉は数個束生し、長い柄があり、円形で径 6～12cm、葉柄の下部は広がる。花期は 3～5 月。花弁は白色で長楕円形。太い地下茎は香辛料となるので、各地で栽培されている。

＜分布＞ [市内] 芥見、岩、岩野田北、常磐、長良東、日野、方県で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 北海道～九州に分布。

## マンサク

*Hamamelis japonica*

マンサク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 林内に生育する落葉高木。樹高は 12m に達する。若枝や葉柄には星状毛がやや密生する。葉柄は 5～15mm、葉身はひし形状円形～倒卵状楕円形、長さ 5～10cm、幅 3.5～7cm、6～7 本の側脈がやや平行に斜上し、縁は波状鋸歯となる。基部は歪んでやや心形。両面に星状毛が散生する。花期は 3～5 月。花は葉に先だって開き、花序軸の先に 2～3 花を付ける。花弁は黄色で線形、長さ 10～13mm。

＜分布＞ [市内] 芥見、芥見東、金華、三輪南、三輪北、長森西、日野、梅林、方県、網代で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州(関東地方西部以西)、四国、九州に分布。

## オノマンネングサ

*Sedum lineare*

ベンケイソウ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 低山地の岩上、林縁などに生育する多年草。茎は長さ 10～25cm、基部は匍匐し上部は斜上する。葉は 3 個輪生し、柄は無く扁平で線形～線状披針形、長さ 2～3cm、幅 2～2.5mm、淡黄緑色。花期は 5～6 月。集散花序をつけ、花は 5 数性。花弁は黄色で披針形～狭披針形、長さ 6～7mm。

＜分布＞ [市内] 岩、金華、長良東、日野で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州～九州に分布。

## トリアシショウマ

*Astilbe odontophylla*

ユキノシタ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 亜高山帯および温帯の林床や草地に生育する多年草。葉は 3 回 3 出複葉、小葉は卵形～広卵形で、長さ 5～12cm、幅 4～10cm、縁には不揃いの鋭い重鋸歯がある。花期は 7～8 月。花茎は高さ 40～100cm。花序は円錐状で側枝は長さ 12～25cm、よく分枝し、短腺毛を密生する。花弁は白色、さじ型で長さ 4～6mm。

＜分布＞ [市内] 常磐、方県、網代で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 北海道、本州(中部以北)に分布。

## ガクウツギ

*Hydrangea scandens*

ユキノシタ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の斜面や林下に生育する落葉小低木。幹はよく分枝し、高さ1～1.5mになる。若枝は紫褐色で短毛が密生するが、翌年には灰色となる。髓は円形で白い。葉は長楕円状披針形～狭卵形で長さ4～7cm、三角状の低い鋸歯があり、表面は深緑色で金属光沢、裏面は側脈のわきに毛が密生する。花期は5～6月。装飾花は白色～淡黄色で径2.5～3cm、有毛の長い柄がある。普通花は径4.5mm程度で花柄は有毛。花弁は淡黄緑色で、倒卵形～広倒卵形、長さ2mm前後でやや反り返り散りやすい。

＜分布＞ [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東南部・東海・近畿地方)、四国、九州に分布。

## ミカワチャルメルソウ

*Mitella furusei* var. *furusei*

ユキノシタ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の溪流の湿った林下に生育する多年草。根茎は短く、根出葉を束生する。葉身は広卵形～卵形で長さ1.5～8cm、幅3～5cm、基部は深い心形、縁には不揃いの鋸歯がある。葉の両面には葉柄と同様、粗い毛と腺毛が生える。葉柄は長さ2～8cm。花期は4～5月。花茎は高さ30～50cmになり、下部には開出する長毛、上部には花柄とともに短腺毛がある。花弁は紅紫色を帯び長さ約2mm、腺点があり羽状に7～11裂する。

＜分布＞ [市内] 金華、常磐、長良東、日野、方県、網代、藍川で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 岐阜県のほか、長野県と愛知県に分布。

## コゴメウツギ

*Neillia incisa*

バラ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の日あたりの良い場所に生育する落葉低木。樹高は2.5mに達する。若枝は細く紅褐色、軟毛があり、よく分枝する。葉は3角状広卵形で、長さ2～6cm、幅1.5～3.5cm、先は尾状に伸びて尖り、羽状に中裂または浅裂し、重鋸歯がある。葉の裏面には5～7対の側脈があり、脈上には軟毛をやや密生する。花期は5～6月。円錐または散房花序は頂生および腋生し、長さ2～6cm。花は黄白色で多数付ける。

＜分布＞ [市内] 長良東、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## ワタゲカマツカ

*Pourthiaea villosa* var. *villosa*

バラ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 丘陵地や低地に生育する落葉低木～小高木。樹高は7mに達する。葉は紙質でやや硬く、広倒卵形～狭倒卵形、長さ4～12cm、幅2～6cm、縁には鋭い小型の鋸歯が多数ある。花期は4～5月。花序は散房状で枝先に頂生し、10～20花を付ける。花は径10～13mm、花弁は白色、ほぼ円形～広腎臓形。果実は倒卵形～楕円形、長さ8～10mm、幅5～7mm、赤色または黄赤色に熟す。花の時期まで、若枝、葉柄、葉の裏面、花序の軸、萼の外面などに白色の綿毛が密生することで、近似のカマツカと区別できる。

＜分布＞ [市内] 金華、長森西、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## テリハノイバラ

*Rosa luciae*

バラ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 乾燥傾向にある荒地などに生育するつる性の落葉低木。茎は長く匍匐し、枝には鉤形の刺がある。托葉は幅広く、不斉鋸歯縁。葉は長さ4～9cmの奇数羽状複葉で、7～9小葉からなり、小葉は厚く、平滑、表面は深緑色で光沢がある。頂小葉は側小葉とほぼ同大で、長さ1～2cm、円形ないし広卵形。花期は6～7月。花序の枝は狭く開いて斜めに出て、花が多い場合は円錐形の花序を作る。花は白色で大型、径3～3.5cm。

＜分布＞ [市内] 金華、三里、市橋、長良東、日野、柳津、鶉で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州、琉球に分布。

**ミヤマフユイチゴ***Rubus hakonensis*

バラ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、環境改変

**<種の概要>** 林下などに生育するつる性の常緑低木。茎は細く、細い刺を散生し、軟毛がある。葉は卵形～広卵形、長さ5～8cm、幅4～7cm、3～5浅裂する。縁には小芒に終わる細鋸歯があり、表面には伏毛を散生、裏面には脈上に毛があり網脈が隆起する。花期は8～10月。花序は腋生し総状でやや密に数花を付ける。小花柄は花序の軸とともに短毛がある。花弁は白色、長さ4～5mm。果実は径約9mmの球形で、初冬に紅熟する。

**<分布>** [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)、四国、九州に分布。

**クサイチゴ***Rubus hirsutus*

バラ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、環境改変

**<種の概要>** 明るい林縁や草地に生育する落葉小低木。高さは数十cm。茎や枝には開出する短軟毛を密生するとともに短い柄のある腺毛を混生する。葉は花枝では3小葉、徒長枝では5小葉からなる。小葉は薄く、細かな重鋸歯があり、両面は多毛で腺毛を混生。頂小葉は卵形～長楕円状卵形で長さ2.5～7cm、側小葉は卵形。托葉は披針形。花期は3～4月。花枝は短く少数の葉があり、先に1～2個の花を付ける。小花柄は長さ3～6cm、細長く、軟毛と腺毛が多い。花は大形で白色。花弁は長さ15～20mm。果実は大形で球形、紅熟する。

**<分布>** [市内] 三輪北、柳津で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

**ホドイモ***Apios fortunei*

マメ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、環境改変

**<種の概要>** 日あたりの良い林縁に生育するつる性の多年草。細長い地下茎があり、所々に紡錘体あるいは球形の塊根がある。塊根は親個体から離れると無性的に新個体を形成する。茎は塊根の頂端や地下茎の途中から地上に出て他物に巻きつき2m以上伸長する。葉は奇数羽状複葉で小葉は3～5枚。両面に伏した短剛毛がある。花期は7～9月。花序は開花期間中に次第に伸びて長さ18cmに達する。花は黄緑色。豆果は長さ6～8cm、5～6個の種子を入れる。

**<分布>** [市内] 方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**ジャケツイバラ***Caesalpinia decapetala* var. *japonica*

マメ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、環境改変

**<種の概要>** 急傾斜地や川原などに生育するつる性の落葉低木。茎は他の物に寄りかかるようにして伸び、枝、葉柄、葉軸と共に著しい逆刺がある。葉は偶数羽状複葉で、6～16個の小葉がある。小葉は長楕円形～倒卵形、長さ10～25mm、幅5～10mm。花期は4～6月。花序は頂生する総状花序で、長さ20～30cm、黄色の花を多数付ける。花柄は3～4cm。豆果は長楕円形で長さ7～10cm、幅約3cm。10個内外の種子を入れる。

**<分布>** [市内] 芥見、芥見東、常磐、長良東、方県で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(宮城県・山形県以南)、四国、九州、琉球に分布。

**カワラケツメイ***Chamaecrista nomame*

マメ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

**<選定理由>** 希少、環境改変、外来種の影響

**<種の概要>** 日あたりの良い川原、土手、道端などの草地に生育する一年草～多年草。茎は高さ30～60cm、時に根元から分枝する。葉は奇数羽状複葉で長さ3～7cm、葉柄の上部に蜜腺が1個つく。小葉は線形～狭卵形で先端はわずかに微凸形、中央部のもので長さ8～12mm、幅2～3mm。托葉は針形で宿存する。花期は8～10月。花序は葉腋のやや上につき、1～2花を付ける。花柄は長さ5～15mm。花弁は黄色で倒卵形、長さ6～7mm。豆果は扁平な長方形で、長さ3～4cm、幅5～6mm。8～12個の種子を入れる。

**<分布>** [市内] 芥見東、芥見南、金華、黒野、三輪南、三輪北、長良、長良東、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。



## シラキ

*Neoshirakia japonica*

トウダイグサ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少、環境改変

<種の概要> 山地に生育する落葉小高木。樹高は4~6m。幹は灰黒色で、縦に浅い裂け目がある。葉は互生し、長さ1~2.5cmの柄があり、卵状楕円形~倒卵状楕円形、長さ7~17cm、幅6~11cm、全縁。葉の基部には2個の有柄の腺点がある。花期は5~7月。花は頂生の長さ6~8cmの総状あるいは穂状花序につき、大きな腺体が基部の左右にある。花序の上部には多数の雄花をつけ、下部には1~3個の雌花を付ける。花弁はない。果実は3角状偏球形、長さ6~9mm、幅18mm。

<分布> [市内] 金華、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(岩手県、山形県以南)、四国、九州、琉球(沖縄島・伊平屋島)に分布。

## マツカゼソウ

*Boenninghausenia albiflora* var. *japonica*

ミカン科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少、環境改変

<種の概要> 山地に生育する無毛の多年草。茎は高さ50~80cm、上方で分枝する。葉は互生し、3回3出羽状複葉でやわらかく、小葉は大きさが不同。頂小葉は倒卵形~楕円形で長さ10~25mm。葉裏には油点があり、独特の香りがある。花期は8~10月。花弁は白色で4個。

<分布> [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(宮城県以南)~九州に分布。

## キハダ

*Phellodendron amurense*

ミカン科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 分布限界、希少、環境改変

<種の概要> 山地に生育する落葉高木。樹高は25m、直径は1mに達する。樹皮にはコルク層がよく発達する。葉は対生し、5~11枚の小葉からなる奇数羽状複葉で、長さ15~35cm。小葉は卵形~卵状長楕円形、長さ4~12cm、幅1.5~5cm、縁に細かな鈍鋸歯がある。花期は6月。枝先に長さ7~13cmの散房花序を伸ばし、多くの花を付ける。雌雄異株。花弁は黄緑色で5枚、卵状長楕円形で長さ約4mm、内面に白毛が密生する。果実は径約1cmの球形で黒色に熟す。樹皮の内皮は黄色く黄檗と呼ばれ、苦味健胃剤として利用される。

<分布> [市内] 常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 北海道、本州(東北地方・中部地方北部・近畿地方西部)、四国、九州に分布。

## ヒメハギ

*Polygala japonica*

ヒメハギ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少、環境改変

<種の概要> 日あたりの良いやや乾いた場所に生育する常緑の多年草。茎は硬く、基部は分枝して地を這い、上方は斜上して高さ10~30cmになる。曲がった毛があり、粉をかぶったように見える。葉は互生し、卵形~広披針形で長さ1~3cm、幅3~15mm、先は鈍形で短い突起がある。花期は4~7月。花序はまばらな総状花序で、長さ1~3cm、葉腋の上方か葉に対生する。花は帯紫色、花弁は3個あり長さ6~7mm。

<分布> [市内] 芥見、芥見東、芥見南、岩、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道~琉球に分布。

## ツタウルシ

*Toxicodendron radicans* subsp. *orientale*

ウルシ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少、環境改変

<種の概要> 山地から丘陵地に生育する落葉藤木。気根を出して、木の幹を這い上る。若枝には褐色の毛が密生するがのち無毛となり赤褐色の皮目ができる。葉柄は3~10cm、褐色の毛が散生し、先に3枚の小葉がつく。葉身は卵状楕円形、側小葉の下部はゆがみ、頂小葉は左右相称、裏面には褐色の軟毛が密生する。花期は6~7月。葉腋から総状花序を伸ばして小さな花を多数付ける。雌雄異株。花弁は黄緑色。果実は偏球形で径約5mm、縦条がある。

<分布> [市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## コハウチワカエデ

*Acer sieboldianum*

カエデ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 低山の林内に生育する落葉小高木。樹高は15mに達する。葉は対生、葉身は長さ4～7.5cm、幅5～10cm、7～11中裂し、よくそろった単鋸歯あるは重鋸歯がある。花時には花序や葉柄とともに裏面に白綿毛を密生するが、成葉では裏面脈状にわずかに残る程度。葉柄は長さ3～7cm、葉身と同長～2/3長。花期は5～6月。花序は複散房状、枝に頂生し、15～20花の雄花と両性花を混生する。花柄は長さ3～10mm。花弁は淡黄色。果期は6～9月。分果は長さ約2cm、果翼はほぼ水平に開き、短軟毛がある。日本固有種。

＜分布＞[市内] 常磐、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

## ツリフネソウ

*Impatiens textorii*

ツリフネソウ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山麓の水辺に生育する一年草。茎は高さ50～80cmでやや赤みを帯び、節が隆起する。葉は互生し、葉身は菱状楕円形で長さ6～12cm、幅4～7cm、先は尖り縁に鋸歯がある。葉柄10～45mm。花期は8～10月。花序は葉腋から斜上し、花軸に紅紫色の突起毛がある。花柄は紅紫色で長さ10～15mm。花は紅紫色、正面の幅が25～27mm、側面の長さが35～40mm、内面に濃紫色の斑点がある。蒴果は披針形で長さ1～2cm。

＜分布＞[市内] 三輪北、常磐、長良東、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## タラヨウ

*Ilex latifolia*

モチノキ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑樹林内に生育する常緑高木。高さ20mに達する。葉は対生、葉柄は長さ1.5～2cm、葉身は厚い革質、楕円形で長さ10～17cm、幅4～7cm、多数の尖った細鋸歯がある。花期は5～6月。前年枝の葉腋にある短枝が伸びて分枝し、短い円錐花序をつくり多数の花がつく。雌雄異株。花弁は黄緑色。楕円形で長さ約4mm。果実は枝に群がってつき、球形で径約8mm、赤熟する。

＜分布＞[市内] 金華、長森西、長良東、梅林で記録がある。  
[県内] 県中部、南部に分布。  
[県外] 本州(静岡県以西)、四国、九州に分布。

## ミツバウツギ

*Staphylea bumalda*

ミツバウツギ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 林縁に生育する落葉小高木。樹高は1.5～3m。葉は対生、3小葉からなり、果期の葉では葉柄は長さ1.5～4cm、小葉は卵形で長さ2.5～7cm、幅1～3cm、先が芒状に尖る鋸歯があり、両面に細毛がある。花期は5～6月。花序は側枝に頂生し、長さ5～8cm、数個～十数個の花を付ける。花柄は8～12mm、花弁は5個で白色。蒴果は平たい風船状で上部が2～3に分かれる。

＜分布＞[市内] 金華、三輪南、長良、長良東、日野、藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## ケンポナシ

*Hovenia dulcis*

クロウメモドキ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 丘陵地の斜面や沢沿いに生育する落葉高木。樹高25mにおよぶ。樹皮は縦に浅く裂け、薄くはがれる。葉は互生で広卵形、長さ10～20cm、幅6～14cm、基部から3出脈があり、やや粗い鋸歯がある。脈は裏面に隆起する。葉柄は長さ2～5cm、上端に目立たない数個の腺体がある。花期は6～7月。枝の上部の葉腋や枝先に集散花序を付ける。花は小さく径約7mmで帯緑白色。核果は球形で径約7mm。浅く3裂し紫褐色。

＜分布＞[市内] 方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道(奥尻島)、本州、四国、九州に分布。

## トウグミ

*Elaeagnus multiflora* var. *hortensis*

グミ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する落葉低木。高さ2～4m、幹は黒褐色。枝はしばしば刺に終わる。枝には褐色から赤褐色の鱗状毛が密生する。葉は互生し長さ3～8cm、幅1～3cm、楕円形～長楕円形。表面には早落性の銀色の星状毛があり、裏面には銀色の鱗状毛が密生し、赤褐色の鱗状毛が混じる。花期は4～6月。花は花弁が無く、萼は淡黄色、銀色の鱗状毛を密生し、赤褐色の鱗状毛が混じる。葉腋から1～2花が下垂する。果実は大きく長楕円形で長さ15～20mm、夏に赤く熟す。庭木としても良く植栽される。

＜分布＞ [市内] 金華、長良東、日野、藍川で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州(近畿地方以北、但し静岡県～福島県の太平洋側を除く)に分布。

## アキグミ

*Elaeagnus umbellata* var. *umbellata*

グミ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 低地から山地の日あたりの良い場所や川原などに生育する落葉低木。樹高は2～3m。枝はしばしば刺に終わる。小枝、葉柄、花柄、子房の鱗片は銀白色または淡赤褐色で、薄い色をしているものが多い。葉は互生し倒卵状楕円形～倒披針形、長さ4～8cm、幅1～2.5cm、裏面は銀色の鱗片に厚く被われ、その上に黄褐色ないし赤褐色の鱗片を散生する。表面には脱落性の鱗片がある。花期は4～5月。花は葉腋に1～3個束生し、花弁は無く、萼には鱗状毛が密生する。果実は球形で径約7mm、9～10月に赤く熟す。表面には赤褐色や白色の鱗状毛がある。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道(渡島半島)、本州、四国、九州(屋久島まで)に分布。

## シロバナオオタチツボスミレ

*Viola kusanoana* f. *alba*

スミレ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する多年草。地下茎は長く横たわり、木化し肥厚する。大型のスミレで、茎は数本叢生し、果期には高さ40cmになる。葉は円心形で長さ3～5cm、低い鋸歯があり、基部は心形。托葉は羽状に深裂する。花柄は根生せず、茎上に腋生する。花期は4～5月。花は大きく白色。花弁は長さ15～18mm、距は長さ6～8mm、左右から平たく幅が広い。

＜分布＞ [市内] 長良東で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道、本州(日本海側)、九州(北部)に分布。

## ナガバタチツボスミレ

*Viola ovato-oblonga*

スミレ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 丘陵地や山地に生育する多年草。地下茎は短く横たわり、やや木化する。茎は叢生して分枝し、高さ20～40cm、根出葉は円心形、幅2～3cm、基部は心形。茎葉は長くなり、卵状狭3角形～披針形、先端は次第に尖る。托葉は狭披針形で粗く羽裂する。花期は4～5月。花柄は根生あるいは茎上に腋生、花弁は長さ12～15mm、淡紫色。距は長さ7～8mm。

＜分布＞ [市内] 三輪北、長良東、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(中部地方以西)～九州に分布。

## スミレサイシン

*Viola vaginata*

スミレ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林下に生育する多年草。地下茎はやや太くて横たわり、よく分枝する。葉は花に遅れて開き、極めて大きく長さ5～14cm、円心形で基部は深い心形で先は尖る。縁には低い鋸歯がある。葉の裏面脈上にまばらに毛がある。托葉は離生、披針形で長さ6～8mm。花期は4～6月。花は大形で淡紫色、花弁は長さ15～20mm。距は太短くて、長さ4～5mm。

＜分布＞ [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 北海道(西南部)、本州(主として日本海側)に分布。



**ヒメアギスミレ**

スミレ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—*Viola verecunda* var. *subaequiloba*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 湿地や湿原に生育する多年草。ツボスミレに似るが、葉が三日月状となり、基部の湾入も極めて広い。茎は地表を這い、途中からも根を出す。高さ 5cm 程度。葉は幅 1.5～2.5cm。托葉は披針形。花期は 4～5 月。花は白色。

＜分布＞ [市内] 岩野田、三輪南、三輪北、長良東、網代、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(近畿以西)～九州に分布。

**キブシ**

キブシ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—*Stachyurus praecox*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野の斜面や疎林に生育する落葉低木。樹高は 7m に達する。樹皮は薄紫の汚褐色でやや光沢がある。葉は長さ 1～3cm の柄があり、葉身は楕円形～卵形、長さ 4～14cm、幅 3～7cm、鋸歯縁、草質で表面はやや光沢がある。花期は 3～4 月。展葉前に前年枝の葉腋から長さ 3～10cm の下垂する総状花序を出す。花は淡緑色、長さ 7～9mm。果実は広楕円形～球形で、径 7～12mm。黄褐色に熟す。

＜分布＞ [市内] 芥見東、金華、長良、長良東で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道(西南部)、本州、四国、九州、小笠原に分布。

**ゴキヅル**

ウリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—*Actinostemma tenerum*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 水辺に生育する一年生のつる植物。葉は三角状披針形で先は尖り、長さ 3～10cm。花期は 8～11 月。径 7mm 程度の黄緑色の花を付ける。果実は長さ 2cm 程度の卵状で、熟すと中央で上下に分かれる。この状況からゴキヅル(合器蔓)の名がある。

＜分布＞ [市内] 茜部、厚見、合渡、黒野、鷲山、西郷、長森東・南、日置江、柳津、鶉で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

**キカラスウリ**

ウリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—*Trichosanthes kirilowii* var. *japonica*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 林縁部などに生育するつる性の多年草。根は分枝が少なく非常に太く、長くなる。巻ひげは 2～5 分枝する。葉は円心形で鋸歯縁のものから 3～5 浅～中裂するものまであり、表面は短毛を散生し、表皮下に粒状突起がある。花期は 7～9 月。雌雄異株。花は夕方から咲き始め、朝にはしぼむ。花冠は 5 分裂し、裂片の先は広がって、さらに先端は糸状に細裂する。果実は楕円形で長さ約 10cm、黄色に熟す。

＜分布＞ [市内] 茜部、加納西・東、厚見、黒野、方県、柳津で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道(奥尻島)、本州、四国、九州、奄美大島に分布。

**ミズマツバ**

ミソハギ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類*Rotala mexicana*

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 水田や湿地に生育する小さな一年草。茎の基部は普通地面を這い、分枝して高さ 3～10cm になる。葉は 4 枚輪生し、線形～長披針形、長さ 6～10mm、幅 1～2mm。花期は 8～10 月。葉腋に単生し柄がない淡紅色の花を付ける。

＜分布＞ [市内] 芥見、芥見南、岩、合渡、黒野、三里、七郷、常磐、長森東・南、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。

＜特記事項＞ 除草剤など使用していない水田などではごく普通にみられる水田雑草の一つ。

## ミズキ

*Cornus controversa*

ミズキ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 渓谷斜面やその周辺の比較的水分条件の良好な場所に生育する落葉高木。樹高 15m に達する。枝は水平に広がり、若枝は紫紅色。葉は互生で広卵形～楕円形で全縁、長さ 6～15cm、幅 3～8cm、表面に光沢があり、裏面は粉白色、葉脈は 5～9 対、葉柄は長さ 2～5cm。花期は 5～6 月。枝端に径 6～12cm の散房花序を付ける。花弁は白色で 4 枚、披針状長楕円形で長さ 5～6mm、平開する。核果は球形で径 6～7mm、紫黒色に熟す。

＜分布＞ [市内] 黒野、鷺山、木田で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## ツボクサ

*Centella asiatica*

セリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野の平地に生育する多年草。茎は地を這い、節から根を出す。葉は直立し、各節から 1～4 個出て腎形、径 2.5～5mm、低い鋸歯がある。花期は 5～8 月。花序は茎の節から 1～5 個出るが、花柄は短い。花弁は下部が白く、上部は紫色を帯びている。

＜分布＞ [市内] 芥見東・南、岩、岩野田北、金華、三輪北、長良東、日野、梅林、網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)～琉球に分布。

## ウシミツバ

*Cryptotaenia canadensis* subsp. *japonica* f. *dissecta*

セリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 半日陰で湿気のある山地に生育する多年草。茎は高さ 30～90cm。葉は 3 小葉からなり、小葉は無柄で長さ 4～10cm、幅 2～6cm、重鋸歯がある。花期は 6～7 月。花は白色で径 2～3mm、花弁は 5 個。ミツバに似ているが、小葉に深い切れ込みがある。

＜分布＞ [市内] 岩、三輪南、日野、藍川で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## オオバチドメ

*Hydrocotyle javanica*

セリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山林下の湿った場所に生育する多年草。主茎は地を這い、斜上する枝に花序を付ける。葉は大きく両面脈状に毛があり、掌状にごく浅く切れ込む。花期は 7～10 月。枝の葉腋から 1～数個の花序を出し、花は緑白色で球形に集まる。花序の高さは葉とほぼ同じ。

＜分布＞ [市内] 金華、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。

## ムカゴニンジン

*Sium ninsi*

セリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 湿地や水中に生育する多年草。根は太い。茎は 30～100cm、多くの枝を出し、葉腋にむかごができる。小葉は円形～細長いものへと変化する。葉は奇数羽状複葉、下部の葉は側小葉が 1～2 対つき、上部の葉は 3 出複葉。小葉は卵形～線形、長さ 2～8cm、幅 5～10mm、鋭い鋸歯がある。花期は 9～10 月。花は散形花序につき、白色、5 枚の花弁の先は内側に曲がる。

＜分布＞ [市内] 芥見、芥見東・南、三輪北で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## アブラツツジ

*Enkianthus subsessilis*

ツツジ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林縁や岩地に生育する落葉低木。樹高は1～3m。葉は枝先に集まって互生し、葉身は倒卵形～楕円形、長さ1.5～4cm、幅0.8～2cm、表面主脈上に短軟毛、裏面脈状に短毛が散生し、しばしば褐色の縮れ毛が混じる。花期は5～6月。枝先から長さ3～5cmの総状花序を下垂し、5～14個の花を付ける。花序の軸には開出する軟毛が密生する。花柄は1～2cmで無毛。花冠は緑白色でつぼ形、長さ4～5mm、浅く5裂し、先は反曲する。雄蕊は10本。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 本州中北部に分布。

## ヒカゲツツジ

*Rhododendron keiskei*

ツツジ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の崖や岩上に生育する常緑低木。樹高は1～2m。若枝や葉柄に円形の鱗状毛と脱落性の長毛がある。葉は互生し、やや革質。葉柄は2～4mm。葉身は長楕円形で長さ3～8cm、幅0.8～2cm、両面に円形の鱗状毛があり、特に裏面では密生する。花期は4～5月。枝先1個の花芽から2～4個の花が散形状に開く。花柄は長さ1～1.5mm、円形の鱗状毛が散生する。花冠は淡黄色、上側内面に濃色の斑点があり、広漏斗形で径4～5cm、外面に円形の鱗状毛が散生する。

＜分布＞[市内] 芥見、芥見東・南、岩、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)、四国、九州に分布。

## カラタチバナ

*Ardisia crispa*

ヤブコウジ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑樹林下に生育する常緑の小低木。高さ20～100cm、匍匐茎がある。茎は単純で分枝せず、直立する。葉は互生、狭卵形で長さ8～20cm、幅1.5～4cm、光沢があり、先は次第にとがり鈍頭。縁には波状歯があり、歯間に内腺点がある。花期は7月。葉腋や葉間の早落性の鱗片葉のわきに散状花序を出し、約10花を付ける。花は白色で径7～8mm。果実は球形で径6～7mm、赤く熟す。

＜分布＞[市内] 芥見、岩、三輪南・北、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(茨城県・新潟県以西)、四国、九州、琉球に分布。

## リュウキュウマメガキ

*Diospyros japonica*

カキノキ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する落葉高木。樹高は15mに達する。幹は灰白色で成木の樹皮は縦に浅く裂ける。葉は長さ7.5～17.5cm、幅3.5～7.5cm、裏面は粉白色。葉柄は1～3cm。花期は6月。雌雄異株。雌花は葉腋に単生し、黄色。花冠は長さ約7mm。果期は10～11月。果実は径1.5～3cmで球形～偏球形。橙黄色～橙赤色に熟す。

＜分布＞[市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)、四国、九州、琉球に分布。

## クロミノニシゴリ

*Symplocos paniculata*

ハイノキ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山間の湿地の畔に生育する落葉低木。樹高は2～8m。幹は褐色～灰褐色で、樹皮は縦に裂ける。葉は互生し倒卵状～楕円状、長さ3～10cm、幅2～5cm、表面は光沢なくまばらに圧毛があり、裏面脈状に毛がある。縁には細鋸歯があり、葉の先端は急に短く尖る。花期は5～6月。新しい側枝の先端に円錐花序を付ける。花は白色で、径7～8mm、花冠は5裂して平開。果実は歪んだ球形で、長さ6～7mm、藍色に熟す。

＜分布＞[市内] 芥見、芥見東・南、金華、三輪南、長森西・東・北、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。



**アオダモ***Fraxinus lanuginosa* f. *serrata*

モクセイ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地に生育する落葉高木。樹高は 10m 前後に達する。葉は 3～7 小葉あり、小葉は長楕円形、長さ 4～10cm、幅 1.5～3.5cm、明瞭な鋸歯がある。花期は 5 月。雌雄異株。小枝の先に円錐花序を出し、白い花を多数付ける。翼果は倒披針形、長さ 2～2.8cm、幅 4～5mm。別名：コバノトネリコ。

＜分布＞[市内] 芥見東、金華、長森西、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

**リンドウ***Gentiana scabra* var. *buengeri*

リンドウ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する多年草。茎は直立し高さ 20～100cm、4 条線がある。葉は対生し、長さ 3～8cm、卵状披針形で 3 脈が目立つ。花期は 9～11 月。花は茎頂および上部の葉腋につき、花冠は長さ 4～5cm、紫色で内面に茶褐色の斑点がある。

＜分布＞[市内] 芥見東・南、金華、三輪北、常磐、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～奄美に分布。

**オオアリドオシ***Damnacanthus indicus* var. *major*

アカネ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 常緑樹林内に生育する常緑低木。高さ 10～100cm。節に刺があり、刺の長さは 2～10mm と葉の長さの半分以下。葉は革質、長さ 1～5cm、幅 0.6～2cm、卵形で先は棘状に尖る。花期は 4～5 月。花は枝先あるいは葉のわきに 1～2 個つく。花冠は白色、漏斗形で筒は長さ約 1cm、内面上部に毛が密生する。液果は球形で径 4～5mm、赤熟する。別名：ニセジュズネノキ。

＜分布＞[市内] 岩、金華、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)、四国、九州、琉球(西表島まで)に分布。

**ナギナタコウジュ***Elsholtzia ciliata*

シソ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：－

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の道端などに生育する一年草。茎は高さ 30～60cm、4 角で軟毛があり多く分枝する。葉は対生し、卵形～狭卵形、0.5～2cm の柄があり、葉身は長さ 3～9cm、幅 1～5cm。花期は 9～10 月。花穂はなぎなた状に曲がり、花は一方に偏ってつく。花冠は淡紅紫色で長さ約 5mm、外面に毛が多く、雄蕊はわずかに花外につき出る。

＜分布＞[市内] 芥見、芥見東・南、岩、金華、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**ミゾコウジュ***Salvia plebeia*

シソ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：－  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 湿った草地や河原、畦などに生育する越年草。茎は四角で直立し高さ 30～70cm。下向きの毛がある。葉は対生で長楕円形、短い柄があり長さ 3～6cm、幅 1～2cm、辺縁には鈍い鋸歯がある。花期は 5～6 月。8～10cm に伸びた花穂に淡紫色の花を付ける。

＜分布＞[市内] 金華、三輪北、長森西・東、島、日野、柳津、藍川で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。

**マルバノホロシ***Solanum maximowiczii*

ナス科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、環境改変**<種の概要>** 山地の林縁に生育する多年草。茎はつる状で無毛。葉は長楕円形～狭卵形、基部はくさび形に狭まって翼のある柄につながる。葉身は長さ5～10cm、幅1.5～4cm。花期は8～9月。茎の途中あるいは葉の反対側からまばらに分枝する集散花序を出す。花冠は淡紫色、深く5裂し、開くと背面に反り返り、径1cm。液果は径7～10mm、赤く熟す。**<分布>** [市内] 金華、三輪北、長森西、梅林、網代で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。**サウトウガラシ***Deinostema violaceum*

ゴマノハグサ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、環境改変**<種の概要>** 湿地に生育する一年草。茎は直立し高さ5～20cm、断面はやや4角。葉は対生し、やわらかく線状披針形、1本の主脈が顕著で、長さ5～10mm、幅1～2mm。花期は8～10月。上部の葉腋に長さ1～12mmの花柄を出しその先に1花を付ける。花冠は紅紫色で長さ5～6mm。茎の中部の葉腋には柄のない小さな閉鎖花を付ける。**<分布>** [市内] 芥見東、金華、常磐、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。**スズメノハコベ***Microcarpaea minima*

ゴマノハグサ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類**<選定理由>** 希少、環境改変**<種の概要>** 休耕田など湿った場所に生育する小さな一年草。茎は多く分枝して地表を匍匐し、節ごとに細い根と小さな葉を付ける。葉は対生し柄がなく、長さ2～5mm、幅1～2mm。花期は7～10月。花は淡紅色で葉腋に1個付ける。**<分布>** [市内] 芥見東、岩野田北、黒野、常磐、西郷、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～琉球に分布。**オオカメノキ***Viburnum furcatum*

スイカズラ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、環境改変**<種の概要>** 山地に生育する落葉小高木。樹高6mに達する。ブナ帯～亜高山帯にかけて生育するが、これより低地でも見られる。枝は開出し褐紫色、中実で白い髄があり、若枝には細かい星状毛がある。葉は円状～広卵形、長さ幅ともに6～20cm、表面脈上には星状毛があり、裏面は細かい星状毛があり後無毛。若い時には方巻になっている。葉柄は長さ1.5～4cm、托葉は無い。花期は4～6月。散房花序は短い枝先の1対の葉とともにつく。花序には周辺に径2～3.5cmの不稔性の装飾花がある。中心部の正常花は白色で、5深裂し、径5～8mm。果期は7～10月。核果は広楕円形で長さ7～12mm、赤色で後黒くなる。**<分布>** [市内] 方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州(対馬、屋久島を含む)に分布。**タニウツギ***Weigela hortensis*

スイカズラ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—**<選定理由>** 希少、環境改変**<種の概要>** 谷沿いの林縁部に生育する落葉小高木。樹高は5mに達する。樹皮は厚いコルク層が形成され、縦に裂ける。若枝は赤みを帯びる。葉は長さ4～10cm、幅2～6cm、徒長枝の葉は更に大形になる。裏面には白軟毛が多く、特に中央脈両側には開出した白綿毛が密生する。葉柄は長さ3～10mm。花期は5～6月。花冠は長さ2.5～3.5cm、径約2cm、明るい紅色で外面の方が内面よりも濃い。花筒は長さ2.2～3cm。蒴果は細い筒状で、長さ1.2～1.8cm、径2.5～3mm。**<分布>** [市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道西部、本州(東北・北陸・山陰地方)に分布。

**タニギキョウ***Peracarpa carnosus*

キキョウ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林下に生育する多年草。地下に分枝する細い白色の根茎がある。茎は下部這い、上部は立ち上がり、高さ5～15cm。葉は互生し、卵円形で長さ10～20mm、縁にあらい鋸歯が数個ある。花期は6～8月。花は茎の頂きあるいは上部の葉腋に上向きに1個付く。花柄は細長く、果時には下垂する。花冠は漏斗形、白色または淡紫色を帯び、長さ5～8mm、5裂する。

＜分布＞ [市内] 芥見、金華、三輪北、長良東、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**カワラハハコ***Anaphalis margaritacea* subsp. *yedoensis*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 河原の砂礫地に生育する多年草。茎は叢生し、中部でもよく分枝し、高さ30～50cm。葉は互生し線形、幅は1.5mm内外で、縁は内側に巻く。花期は8～10月。小さな頭花が茎頂に散房状に多数つく。花は灰白色や白色の綿毛に包まれ、白っぽく見える。

＜分布＞ [市内] 鏡島、金華、合渡、早田、長良、長良西・東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**カワラヨモギ***Artemisia capillaris*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 海岸や川岸の砂礫地に生育する多年草。下部は木質化して亜低木となる。茎は直立し分枝し、花茎が伸びて高さ1mに達する。葉は長さ1.5～3cm、幅1～7cm、2回羽状に分裂し、基部は茎を抱く。花期は9～10月。大きな円錐花序に多数の花を密に付ける。頭花は球形～卵形、長さ幅共に1.5～2mm。

＜分布＞ [市内] 鏡島、金華、市橋、長良、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。

**ヤブタバコ***Carpesium abrotanoides*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 集落や藪などに生育する一年草～越年草。茎は高さ約1mまで直立し、その後頂点から放射状に長大な枝を開出する。葉は広楕円形～長楕円形で長さ20～28cm、幅8.5～15cm。基部は広い翼のある柄となり、裏面に腺点がある。花期は9～11月。放射状に延びた枝の葉腋に無柄の頭花が下向きにつく。

＜分布＞ [市内] 長良東、日野、方県、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

**サワアザミ***Cirsium yezoense*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の溪流近くに生育する大型の多年草。茎にはくも毛があり、高さ1～2m。葉は薄く楕円形で、長さ50～60cm、幅30cmに達し、羽裂する。花期は9～10月。頭花は點頭し、頭花と同長またはそれより長い4～6枚の苞葉が頭花の直下から立ち上がる。総苞は幅2～3.5cm、総苞片は薄くくも毛があり先には刺針はない。花冠は長さ18～21mm、狭筒部は10～20mm。

＜分布＞ [市内] 三輪北、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 北海道南部、本州(東北地方・北陸地方・滋賀県北部)に分布。



**ヤクシソウ***Crepidiastrum denticulatum*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い山地のやや乾いた場所に生育する越年草。茎は高さ 30～120cm、よく分枝する。根出葉は花時には枯れる。茎葉は長楕円形で、長さ 5～10cm、幅 2～5cm、下部で茎を抱く。花期は 8～11 月。枝の先に黄色の花を多数付ける。そう果は黒褐色で長さ 2.5～3.5cm、白色の冠毛がある。

＜分布＞[市内] 岩野田、金華、三輪南、梅林で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**フジバカマ***Eupatorium japonicum*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：準絶滅危惧

環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 川の堤防などに生育する多年草。茎は高さ 1～1.5m。葉は対生で普通 3 深裂し、裂片は長楕円形または長楕円状披針形、長さ 8～13cm。花期は 8～9 月。花は枝の先に散房状に多数つく。オミナエシ、キキョウと共に秋の七草として知られるが、河川の環境の変化によりオミナエシ、キキョウに比べると最も減少傾向が高い。

＜分布＞[市内] 芥見、岩野田北、金華、三輪南、常磐、長良、長良東、藍川で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～九州に分布。

**オグルマ***Inula britannica* subsp. *japonica*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 湿地や水田の縁、川岸など日あたりの良い湿潤な場所に生育する多年草。茎は高さ 20～60cm、根出葉や下部の葉は花時には枯れる。茎葉は広披針形～長楕円形で、基部はなかば茎を抱き、長さ 5～10cm、幅 1～3cm。花期は 7～10 月。茎の先に数個の黄色の頭花を付ける。そう果は長さ 1mm、有毛。冠毛は 5mm。

＜分布＞[市内] 芥見東、鏡島、合渡、三輪南、市橋、日置江、方県、柳津、藍川、鶉で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**ナガバノコウヤボウキ***Pertya glabrescens*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ やや乾燥した山地に生育する落葉低木。1 年目の枝は卵形の葉を互生し、花をつけない。2 年目以降の枝は、各節に 5～6 枚の細長い葉をつけ、その中央に頭花を付ける。花期は 8～10 月。花冠は白色で、長さ 15～18mm で深く 5 裂する。近似のコウヤボウキに比べ、地下茎は太く、葉は無毛。

＜分布＞[市内] 金華、日野、網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(宮城県以南)～九州に分布。

**メナモミ***Sigesbeckia pubescens*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する一年草。茎は高さ 60～120cm、上部には開出毛が密に生える。葉身は卵形～三角状卵形、長さ 7.5～19cm、幅 6.5～18cm。花期は 9～10 月。総苞片は 5 個、長さ 10～12mm。舌状花冠は黄色で長さ 3.5mm。

＜分布＞[市内] 黒野、方県で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## シロバナタンポポ

*Taraxacum albidum*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 集落周辺に生育する多年草。葉は倒披針状線形で、長さ 15～20cm、幅 3～7cm、羽状中裂する。花茎は開花時に葉と同長かそれより長い。花期は 2～5 月。花は径 4cm、花冠は白色。縁の小花は長さ 25mm、裏面は灰色の広い帯がある。在来のタンポポである。

＜分布＞[市内] 岩で記録がある。

[県内] 県西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州(東京以西)、四国、九州に分布。特に西日本に多い。

## サワオグルマ

*Tephrosieris pierotii*

キク科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 日あたりの良い山間の湿地に生育する多年草。茎は太くて柔らかく、中空で直立し高さ 50～80cm。葉と共に白いくも毛がある。葉はやや厚く、根出葉は多数、ロゼット状で柄があり、狭長楕円形～披針形、長さ 12～25cm、幅 1.5～7cm。茎葉は卵状披針形で基部は茎を抱く。花期は 4～6 月。頭花は黄色で径 3.5～5cm、6～30 個が散房状につく。花柄は 3～8cm。舌状花冠は長さ 11～16mm、幅 2mm。そう果は 4mm、冠毛は白色。

＜分布＞[市内] 芥見東、三輪北、長良東、方県、網代、藍川で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 北海道～琉球に分布。

## アギナシ

*Sagittaria aginashi*

オモダカ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ ため池や水田、湿地などに生育する抽水性～湿生の多年草。茎は短く葉は根生し、走出枝はない。葉は長さ 20～50cm の柄があり、矢尻形、やや細い頂裂片と左右に下向する側裂片からなる。側裂片の先端は尖らず円みを帯びる。花期は 7～10 月。花茎は長さ 45～100cm で白色の花を付ける。夏季以降に葉柄基部の内側に径 3～6mm の小球茎(むかご)を付ける。

＜分布＞[市内] 芥見東、三輪南で記録がある。

[県内] 県中部、東部に分布。

[県外] 北海道～九州に分布。

## シライトソウ

*Chionographis japonica*

ユリ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林中に生育する多年草。根出葉はロゼット状に出て、長楕円形～倒披針形で長さ 3～14cm、下部はしだいに狭くなって柄となり縁は細かい波状になる。花期は 5～6 月。花茎は高さ 15～50cm、線形の葉がある。花茎の頂に 5～20cm の穂状花序がつく。花被片は白色。

＜分布＞[市内] 芥見、三輪北、方県、網代で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 本州(秋田県以南)～九州に分布。

## チゴユリ

*Disporum smilacinum*

ユリ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野の林下に生育する多年草。地下に細い根茎と匍枝がある。茎は高さ 15～30cm。葉は楕円形～長楕円形で、長さ 4～7cm、両面無毛だが縁に半円状の突起がある。花期は 4～5 月。茎頂に 1～2 個、横または下向きにつく。花被片は白色、披針形で長さ 10～15mm で半開する。

＜分布＞[市内] 芥見東、網代で記録がある。

[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。

[県外] 北海道～九州に分布。

**カタクリ***Erythronium japonicum*

ユリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野に生育する多年草。鱗茎は筒状長楕円形で長さ5～6cm。葉はふつう2個で、花茎の下部につき、長い柄があるが、地下に埋まっているため地上には葉だけが現れる。葉身は長楕円形～狭い卵形で、長さ6～12cm、緑色で暗紫色の斑紋がある。花期は4～6月。花は高さ10～20cmの花茎の先に1個つき、下向きに開く。花被片は紅紫色、披針形で長さ4～5cm。鱗茎から澱粉をとり、片栗粉として使用する。

＜分布＞[市内] 芥見、網代で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**ノカンゾウ***Hemerocallis fulva* var. *disticha*

ユリ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 溝の縁や野原に生育する多年草。根茎は長く這い、根には時にふくらみがある。葉は長さ50～70cm、幅10～15mm、上部に小型の苞がつく。花期は7～8月。花序は2分してそれぞれ10花内外が開く。花被片は橙色でほとんど同形、長さ7～8cm、先はやや反り返る。花筒は長さ2～4cmあって他種よりはるかに長い。

＜分布＞[市内] 金華、三輪南・北、常磐、長良、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州～琉球に分布。

**カキツバタ***Iris laevigata*

アヤメ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、環境改変、営利目的

＜種の概要＞ 水湿地に生育する多年草。根茎は分枝して多くの繊維に覆われる。葉は長さ30～70cm、幅20～30mm。花期は5～6月。高さ40～70cmの花茎が立ち上がり、頂部に2～3花がつく。径12cm内外の青紫色の花を付ける。

＜分布＞[市内] 金華、三輪南・北、長良東、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**ホソイ***Juncus setchuensis* var. *effusoides*

イグサ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山野の湿地に生育する多年草。茎はやや叢生し、細く光沢の無い白みを帯びた青緑色。円筒状で明瞭な縦溝がある。高さは20～60cm。花期は6～9月。花序は多くの花序枝を伸ばし、分枝した枝先に多数の花を付ける。そう果は緑褐色でやや丸みを帯び、花被片より長く3隔室ある。

＜分布＞[市内] 茜部、加納西・東、芥見、厚見、三輪南、長良東、日野、柳津、藍川で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

**トウササクサ***Lophatherum sinense*

イネ科

岐阜市：準絶滅危惧  
岐阜県：—  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山林の日陰あるいは半日陰に生育する多年草。茎は高さ40～80cm。葉は互生し、広披針形で長さ15～20cm、幅3～4cm、先は鋭く尖る。花期は8～10月。茎の頂から長さ15～30cmの円錐花序を出し、長さ7～8mmの小穂を多数付ける。護穎は広卵形で先端には短い芒があり、芒には下向きの小刺があって衣服に付着する。

＜分布＞[市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(北陸・近畿以西)～九州に分布。



## コメガヤ

*Melica nutans*

イネ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 山地の林内に生育する多年草。茎は細く直立し、高さ 20～50cm。葉は線形で長さ 5～15cm、幅 2～5mm。花期は 5～7 月。花序は総状で長さ 8～15cm、時に下方に小さい枝を少数付ける。小穂の長さは 6～8mm、楕円形で帯赤紫色または白緑色。和名の由来は、このかわいらしい小穂が米粒に似ていることからきている。

＜分布＞ [市内] 金華、長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## ミヤコザサ

*Sasa nipponica*

イネ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 落葉樹林の林床や山地の稜線の風衝地に生育する木本植物。稈は高さ 50～80cm、細く単一で分枝しない。稈鞘は無毛、節間は細長く無毛または逆向きの細毛がある。葉鞘は無毛。葉は長楕円状披針形で長さ 15～25cm、幅 2～5cm、上面無毛または長毛が散生し、裏面は軟毛が密生する。肩毛はよく発達し放射状、時に欠如。葉は冬季、縁が白く枯れることが多く、翌年の夏には全部更新する。

＜分布＞ [市内] 三輪北、藍川で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道(日高南部)、本州(太平洋側)、四国、九州に分布。

## イブキザサ

*Sasa tsuboiana*

イネ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 落葉樹林の林床や山地の稜線の風衝地に生育する木本植物。稈は高さ 1.5～2m で剛壮、上方で密に枝を分岐する。時に下部でもまばらに枝を出す。稈鞘、葉鞘、節、節間など全て無毛。稈鞘は稈の下部では短く節間の半分以下。葉身は長楕円状披針形～披針形で長さ 15～28cm、幅 3～6cm、両面無毛。肩毛は放射状。花梗は枝から出て、葉より少し超出する。

＜分布＞ [市内] 金華、長森西、日野で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(中南部の太平洋側)、四国、九州(北部)に分布

## イヌアワ

*Setaria chondrachne*

イネ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 林床に生育する多年草。根茎は長さ 20～30cm。茎は直立し高さ 50～80cm、基部は多少分枝する。葉は広線形で扁平、長さ 20～40cm、幅 5～15cm。花期は 8～10 月。花序は長さ 15～30cm で長さ 5～20mm の枝を出し小穂を付ける。小穂の基部には小枝の変形した芒を付ける。

＜分布＞ [市内] 金華、三輪北、長良で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(山形県および関東以西)～九州に分布。

## ナガエミクリ

*Sparganium japonicum*

ミクリ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ ため池、河川、水路などに生育する多年生の抽水植物。特に止水域よりも流水域によく見られる。地中を横に這う根茎がある。葉は断面が三角状で背稜が顕著、直立し高さ 70～130cm。花期は 6～9 月。雌性頭花は 3～7 個で少なくとも下側の 1～3 個は有柄。雄性頭花は 4～9 個で雌性頭花から離れてつく。集合果が栗の「いが」に似ていることからミクリ(実栗)の名がある。

＜分布＞ [市内] 茜部、厚見、合渡、黒野、鷲山、常磐、長森東・南、長良、長良西、日野、方県で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

**ヒメガマ***Typha domingensis*

ガマ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 湿地や休耕田、ため池などに生育する多年生の抽水植物。泥中には横走する太い根茎がある。茎は高さ1.5～2m。葉は幅5～15mm。花期は6～8月。花序には上部に雄花群、下部に雌花群が付き、両花群間は1.5～7cm空く。雄花群は長さ11～25cm、雌花群は長さ6～20cm、花時には径1～2cm。

＜分布＞[市内] 厚見、長森南、網代で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

**クロカワズスゲ***Carex arenicola*

カヤツリグサ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 農耕地周辺など砂質の草地に生育する多年草。根茎は横走する。茎は直立し、高さ10～30cm。葉は硬く、幅2～3mm、有花茎よりも短い。花期は4～5月。小穂は褐色を帯び、長さ5～8mm、茎の上部に密集し、各小穂の上部には雄花、下部には雌花がつく。果胞は開出し、卵形、長さ3～4mm。そう果は長さ1.7mm、柱頭は2個。

＜分布＞[市内] 長良東、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

**サンカクイ***Schoenoplectus triqueter*

カヤツリグサ科

岐阜市：準絶滅危惧

岐阜県：—

環境省：—

＜選定理由＞ 希少、環境改変

＜種の概要＞ 池や川の畔などの湿地に生育する多年草。根茎は細長く横に這う。茎は高さ50～100cm、断面は鋭3稜形で幅2～7mm。花期は7～10月。花序は側生状で4～5個の小穂からなり、枝は無いがあっても短い。小穂はさび褐色、長楕円形～卵形で、長さ1～12mm、幅5～7mm。そう果は広倒卵形でレンズ型、黄褐色。刺針は3～5個。

＜分布＞[市内] 芥見東、岩、合渡、黒野、常磐、島、日野で記録がある。  
[県内] 県中部、南部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

**イヌスギナ***Equisetum palustre*

トクサ科

岐阜市：情報不足

岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 日あたりの良い湿地や沼沢地、河川に生育する夏緑性のシダ植物。地下茎は長く匍匐し、直立茎はしばしば群生する。茎は高さ20～60cm、基部で径2～4mm。上半分で規則正しく枝を輪生し、主軸の先は長く伸びて枝をつけない。葉鞘は歯片とともに長さ1～1.2cm、緑色、歯片は披針形で鋭頭、辺縁に白膜がある。孢子囊穂は主軸に頂生し、長さ1～3.5cm、柄の長さは0.5～3cm。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道、本州(長野県、関東地方以北)に分布。

**コハナヤスリ***Ophioglossum thermale* var. *nipponicum*

ハナヤスリ科

岐阜市：情報不足

岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 内陸の日あたりの良い砂地や草地に生育する小型の夏緑性のシダ植物。根茎は細く短く、1～数枚の葉を叢生する。葉は高さ10～25cm、坦葉体は長さ2～12cm、栄養葉は長さ2.5～12cm、幅0.8～2cm、長楕円形～卵形、中央より下で最も幅広い。葉の基部は次第に狭くなって孢子葉の柄と合体する。孢子葉は長さ6～18cm、孢子囊穂は長さ4cmに達するものもある。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

## ヒメイワトラノオ

*Asplenium capillipes*

チャセンシダ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少

<種の概要> 山林中の湿った石灰岩上に生育する常緑性のシダ植物。葉は開出して地に接してつき、小型で長さ3~10cm、葉柄と葉身はほぼ等長。葉柄や中軸は糸のように細く、中軸には無性芽が出る。裂片は幅広く鋭頭~鈍頭。孢子嚢群は楕円形で裂片に1~3個つく。根茎や葉柄基部の鱗片は長さ約1mm、基部近くにまばらに突起がある。

<分布> [市内] 梅林で記録がある。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 北海道南部、本州(関東・中部地方・岡山県)、四国(徳島県)、九州(熊本県)に分布。

## トキワシダ

*Asplenium yoshinagae*

チャセンシダ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少

<種の概要> 山林中の湿ったコケに被われた岩上に生育する常緑性のシダ植物。根茎は短く、斜上から直立し、鱗片が密生する。鱗片は黒褐色~黒色、披針形、長さ6mm、幅0.5mm、先端は槍形。葉柄は長さ15cmに達し、暗緑色~褐色。葉身は深緑色で厚く披針形、1回羽状複葉で長さ20cm、幅5cm。羽片は12~25対、短い柄があり、ゆがんだ菱形で基部前側はやや耳形、羽状に浅裂~深裂し、裂片には鈍鋸歯がある。孢子嚢群は中肋に沿って2列に長く斜上し、長さ3~7mm。

<分布> [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東地方、東海地方、紀伊半島)、四国、九州に分布。

## オワセベニシダ

*Dryopteris ryo-itoana*

オシダ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少

<種の概要> 低山地の斜面の林床や石の多い場所に生育する常緑性のシダ植物。根茎は斜上し塊状、葉柄には茶褐色で微突起のある鱗片がやや密にある。葉身は三角状卵形、2回羽状複生、長さ40cmを超える。孢子嚢群は、小羽片の辺縁と小羽軸の中間につき、包膜は全縁で中央部が紅色。日本固有種。

<分布> [市内] 金華、長良東で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(岐阜県のほか、紀伊半島・山口県)、四国に分布。

## ミヤマウラボシ

*Phymatopsis veitchii*

ウラボシ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少

<種の概要> 深山の森林中の岩壁に生育する夏緑性のシダ植物。根茎は横走し、細く径1.5~2.5mm、密に鱗片がある。鱗片は披針形で長さ2~2.5mm、淡褐色で中心部はやや濃い。葉柄は細く長さ3~12cm、淡緑色~わら色、基部付近は帯褐色で光沢があり、鱗片を付ける。葉身は羽状に深裂~全裂、三角状卵形で長さ4~25cm、幅3~15cm。側裂片は1~5対開出し、狭長楕円形~披針形、辺縁に低い鋸歯があり、幅6~14mm、最下裂片の基部はやや狭くなる。葉質は薄い紙質。孢子嚢群は葉の上半から下に向けてつき、裂片の辺縁よりは中肋近くに並び、円形、径約2mm。

<分布> [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道(大雪山)、本州(山形県~福井県の山地と大峰山系)、四国(徳島県)に分布。

## カシワ

*Quercus dentata*

ブナ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：情報不足  
環境省：—

&lt;選定理由&gt; 希少

<種の概要> 山地の尾根筋などに生育する落葉高木。樹高は15mに達する。樹皮は、灰褐色~黒褐色、不規則に割れる。若枝は初めから太く、灰褐色の短毛と星状毛がある。葉は枝先に集まる傾向があり、互生、極めて短い柄があるか無柄。葉身は用紙質で、長さ12~32cm、倒卵状長楕円形で鈍頭、基部はくさび形でやや耳状となる。縁には大きな波状鋸歯がある。葉の表面には初め短毛や星状毛を散生するがのち無毛、裏面は短毛と星状毛を密生し、黒色の小腺点を散生する。花期は5~6月。雄花序は新枝の下部に多数下垂し、長さ10~15cm、淡褐色の軟毛を密生する。雌花は新枝の上部の葉腋に5~6個つく。堅果は球形で径2.5~4.5mm、年内に熟す。

<分布> [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。



## サンショウソウ

*Pellionia minima*

イラクサ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山地の林床に生育する多年草。茎は高さ 10～30cm で、基部は多少分岐し地上を這う。葉は倒卵形で辺縁には 4～5 対の鈍鋸歯がある。花期は 3～6 月。花は葉柄の基部に付く。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)～琉球に分布

## マツグミ

*Taxillus kaempferi*

ヤドリギ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少、特異生態

＜種の概要＞ アカマツ、モミ、ツガなどの針葉樹に寄生する常緑低木。高さ 20～50cm。若枝は初め褐色の短毛を密生するがのち無毛。葉は革質、倒披針形で長さ 1.5～4cm、幅 0.4～0.9cm、先は円く、下部は次第に狭くなって長さ 1～2mm の葉柄に流れる。花期は 7～8 月。枝のわきに短い集散花序を伸ばし、数個の赤い花を付ける。花被は筒型で先は 4 裂し、長さ約 1.5cm。裂片は線形で反曲し長さ約 4mm。果実は楕円状球形で長さ約 5mm、赤熟する。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県西部、中部、南部に分布。  
[県外] 本州(関東地方・富山県以西)、四国、九州に分布。

## ウナギツカミ

*Persicaria sagittata* var. *sibirica*

タデ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 水辺や溝に生育する一年草。茎は高さ 20～30cm、分枝し、稜角には短い下向きの刺毛がある。葉は互生し長卵形、長さ 3～4cm、幅 1.5cm、基部は矢じり形で茎を抱く。葉裏の中脈上に下向きの刺毛がある。花期は 4～6 月。枝頂に数花が頭状につく。花冠はない。萼は 5 裂し、上部は淡紅色。そう果は 3 稜形、黒褐色で光沢が無く、長さ約 2.5mm。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## ヌカボタデ

*Persicaria taquetii*

タデ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 水湿地に生育する一年草。茎は細く、下部は地を這って根を出し、多くの枝を分け、上部は直立し、高さ 20～40cm になる。葉はほぼ無柄で、長披針形、長さ 2～6cm、両端は細まり、両面には伏せ毛があるかまたはない。托葉鞘は筒状で長さ 2～6mm、同じ長さの縁毛がある。花期は 9～11 月。総状花序はまばらで細長く、線形、長さ 1～3cm。花冠はない。萼は 5 裂し、紅色で長さ約 1.5mm。そう果は卵円形で 3 稜形もしくはレンズ形。黒褐色で光沢があり、長さ 1.5～1.7mm。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

## オオヤマレンゲ

*Magnolia sieboldii* subsp. *japonica*

モクレン科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山地に生育する落葉小高木。樹高は 4～5m。幹は斜上し屈曲する。葉は互生し倒卵形、長さ 6～18cm、幅 5～12cm、先は短く突出し、裏面は前面に白毛がある。葉柄は有毛で長さ 2～4cm。花期は 5～7 月。花は枝の先端について、下または横向きを開き、径 5～10cm、芳香がある。花被片は 9 枚、外側の 3 枚は萼で赤色を帯びる。花弁は 6 枚、倒卵形で白色。集合果は楕円形で長さ 5～7cm、赤く熟す。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)、四国、九州に分布。

## イヌガシ

*Neolitsea aciculata*

クスノキ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 分布限界、希少

＜種の概要＞ 暖地の日あたりの良い山野に生育する常緑小高木。樹高は10mに達する。葉は互生で枝先に車輪状に集まり、倒卵状楕円形で長さ5~12cm、幅2~4cm、3行脈がある。表面は無毛、裏面は灰白色で無毛あるは少し伏せ毛が残る。葉柄は2~2.5cm。花期は3~4月。花序は枝の裸出部から上方の葉の間にかけて腋生する芽に数個つく。花被は暗紅色。果実は小型、長楕円形でやや先が尖り、その年の秋に黒紫色に熟す。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東南部以西)、四国、九州、琉球に分布。

## イシモチソウ

*Drosera peltata* var. *nipponica*

モウセンゴケ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特異生態

＜種の概要＞ 湿原の周辺や荒れた場所に生育する多年草。地下に球形の塊茎がある。茎は高さ10~30cm、根出葉は花期には無くなる。茎葉はまばらに互生し、三日月形で幅4~6mm、表面と縁に長い腺毛があり、小さな虫を捕えて消化・吸収する。葉の基部は湾入して細い柄に直角に続く。葉柄は長さ10~15mm。花期は5~6月。総状花序を頂生し、のちには葉に對生して2~10花を付ける。花卉は白色で広倒卵形、長さ6~8mm。

＜分布＞[市内] 芥見東で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)、四国、九州、琉球(西表島)に分布。

## キケマン

*Corydalis heterocarpa* var. *japonica*

ケシ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 低地の草地や荒地に生育する越年草。茎は太くて丸く、中空で赤みを帯び、高さ40~60cmになる。葉は広卵形の3角形で、2~3回3出羽状に複生し、長さ幅とも10~25cm、小葉は深裂し欠刻がある。花期は3~6月。総状花序は長さ5~10cmで、多数の花をやや密に付ける。花は黄色で長さ15~20mm、花柄は4~6mm。蒴果は狭披針形でほとんど数珠状にならない。種子は黒色、表面に微細な円柱状突起を密布し、径約1.7mm、ほぼ2列に並ぶ。

＜分布＞[市内] 詳細不明。  
[県内] 県北部、西部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州(関東以西)~琉球に分布。

## クサフジ

*Vicia cracca*

マメ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山野の日あたりの良い草地や林縁に生育するつる性の多年草。茎は長さ150cmに達し、木質の根茎がある。葉は羽状複葉で、長さ8~15cm、先端は分枝する巻ひげとなる。小葉は18~24枚、狭卵形で長さ15~30mm、幅2~6mm。托葉は狭卵形で基部に外向きの大きな歯牙が1個ある。花期は5~9月。花は長さ10~12mmで青紫色、長さ6~15cmの総状花序にやや1方に偏ってつく。豆果は長楕円形で長さ2~3cm、幅6~8mm、2~6種子を入れる。

＜分布＞[市内] 網代で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 北海道、本州、四国、九州に分布。

## ノウルシ

*Euphorbia adenochlora*

トウダイグサ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 海岸や川辺の草地に生育する多年草。草丈約30cmで直立茎に葉を互生し、茎頂に5枚の葉を散状につけ、その葉腋から5本の散形枝を出し、各枝は杯状花序を頂生し、三又分岐、ついで二又分岐を繰り返す。葉は狭い長楕円形から披針形、長さ5~6cm、幅6~7mm、裏面に短軟毛がある。花序の下の苞葉は倒卵形で鮮やかな黄色となり、遠くから見ると花卉のように見える。花期は4~5月。球形の子房の外表面にはいぼ状の小突起が密生し、蒴果になってもこの突起は残る。

＜分布＞[市内] 詳細不明。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 北海道~九州に分布。

## ハナノキ

*Acer pycnanthum*

カエデ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山間の湿地に生育する落葉高木。樹高は 30m に達する。葉は対生し葉身は広卵形、長さ 2.5～8cm、幅 2～10cm、掌状 3 脈がある。先は浅く 3 裂し、裂片は重鋸歯縁、裏面は粉白色で、基部の脈腋および脈状に毛がある。葉柄は 1.5～8cm、葉身の 0.5～1.3 倍程度。花期は 4 月。花序は前年枝の葉腋に束状に出て、3～6 花を付ける。花は紅色で 5 枚、花弁は線形で萼片とほぼ同長、長さ約 1.5mm、幅 0.5mm。果翼は直角ないし鋭角に開く。日本固有種。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 岐阜・長野両県南部、愛知県北東部の 3 県県境一帯に分布。

## シロスミレ

*Viola patrinii*

スミレ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山地および低地の湿地に生育する多年草。地下茎は短く、少数の太くて長い黄赤褐色の根を出す。葉は少数でまっすぐに立ち、三角状披針形または長楕円状披針形、長さ 2.5～7cm、低い鋸歯がある。葉柄は葉身よりも長く、長さ 4～10cm、上方に翼がある。花期は 4～6 月。花柄は高さ 7～15cm で立ち、花はやや大きく、白色～帯紫色。花弁は長さ 10～13mm、側弁には毛があり、唇弁には紫条が入る。距は短く長さ 3～4mm。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## ヒメビシ

*Trapa incisa*

ヒシ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 池に生育する一年生の水生植物。浮葉は広卵状菱形、径 1～2cm、上部の縁は粗い鋸歯となり、表面は光沢があり、裏面脈状にはまばらに毛がある。葉柄の中央部は長楕円状に膨らむ。花期は 7～10 月。花は白色でときに紅色を帯び、径 6～8mm。石果は倒三角形で 4 個の刺がある。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## タチモ

*Myriophyllum ussuriense*

アリノトウグサ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 沼や湿地に生育する多年草。茎は直立して枝は無く、湿地で地上に出たものは高さ 5～20cm、水中では約 50cm に伸びる。水中葉は 3～4 個輪生し、披針形～広披針形、羽状深裂し、長さ 0.5～2cm、裂片は糸状線形で短い。茎の上方の葉は針形でふつう羽裂しない。花期は 6～8 月。雌雄異株。花弁は淡紅色で 4 枚あり、長楕円状卵形、長さ約 2mm。石果は卵円形、長さ約 0.7mm、幅約 0.5mm、いぼ状突起をつけ 4 溝ある。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## ヒトツバタゴ

*Chionanthus retusus*

モクセイ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 丘陵地の山林に生育する落葉高木。樹高 30m に達する。枝は灰褐色で若い時多少毛がある。葉は対生し、長さ 1.5～3cm の葉柄があり、長楕円形～広卵形で長さ 4～10cm、全縁。若木では細鋸歯～重鋸歯がある。表面の中肋上には細毛があり、裏面中肋基部には淡褐色の軟毛がある。花期は 5 月。雌雄異株。新枝の先端に長さ 7～12cm の円錐花序を出し、白色の花を付ける。花柄は長さ 7～10mm。花冠は 4 裂し、裂片は線状倒披針形で長さ 1.5～2cm。核果は楕円形で長さ約 1cm、黒く熟す。別名：ナンジャモンジャ。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 本州(岐阜県のほか、木曾川流域の長野県と愛知県)、対馬に分布。



## シオジ

*Fraxinus platypoda*

モクセイ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：情報不足  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山の山間に生育する落葉高木。樹高は25mに達する。小枝は太く、灰黄褐色で無毛。葉は7～11小葉からなる奇数羽状複葉で長さ25～35cm、葉柄基部は著しく膨らむ。葉裏の中肋沿いに開出毛がある。頂小葉は長楕円状倒披針形で長さ8～20cm、幅3～7cm、長さ1～2cmの小葉柄がある。側小葉は無柄で基部がゆがみ、細鋸歯がある。花期は4～5月。落葉した前年の葉腋から長さ10～15cmの花序を出す。花には花冠がない。翼果は下垂し、狭長楕円形で長さ3～5cm、幅8～15mm。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、西部、中部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)、四国、九州に分布。

## ガガバタ

*Nymphoides indica*

ミツガシワ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 池や沼、河川に生育する多年生の水生植物。茎は細く長く、1～3個の葉を付ける。葉は卵状円形で、径7～20cm、葉柄は1～2cmで、基部はやや耳状になり花序の基部を抱く。花期は7～9月。葉柄の基部に数個～多数束生する。花冠は白色で径約15mm、裂片の内側に長い毛がある。

＜分布＞[市内] 黒野、方県で記録がある。  
[県内] 県中部、南部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

## マメダオシ

*Cuscuta australis*

ヒルガオ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：情報不足  
環境省：絶滅危惧ⅠA類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 日あたりの良い野原や海岸に生育するつる性で一年生の寄生植物。茎は細く糸状で、緑葉はなく、寄主にからみつき黄色を帯びる。花期は7～10月。花は無柄で数個が束生し、花冠は長さ約2mm、5裂する。蒴果はほぼ球形で径約3mm、花冠を基部に残して大きく裸出する。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県西部、中部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

## ツルカコソウ

*Ajuga shikotanensis*

シソ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 日あたりの良い丘陵地の草地に生育する多年草。茎は直立し高さ10～30cm。全体に多細胞の長い軟毛がある。ロゼット葉は、広倒披針形～倒卵形、波状鋸歯。茎葉は対生で1～2対あり、上部の5～10対は苞となり、その腋に仮輪をつかって花を付ける。花期は5～6月。花冠は淡紫色、背面で長さ約7mm。花が終わるところから花茎の基部から葉をつけた走out枝を出す。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州、南千島(色丹島)に分布。

## キセワタ

*Leonurus macranthus*

シソ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山や丘陵の草地に生育する多年草。茎は直立し四角で高さ60～100cm。葉は卵形～狭卵形、用紙質で粗い毛があり、長さ5～9cm、幅3～7cm、長さ1～5cmの葉柄がある。花期は8～9月。花は数個ずつ上部の葉腋につき、紅紫色で長さ25～30mm。花冠は唇形で外面は密に白毛があって白く見える。

＜分布＞[市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## オケラ

*Atractylodes ovata*

キク科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ やや乾いた草地に生育する多年草。地下茎は長さ5～8cm、径1.5～3cmで、多数の丈夫な根がある。茎は硬く、高さ30～100cm、上部で分枝し、枝の先に頭花を付ける。葉は長柄があり、葉身は3～5深裂し硬い。花期は9～10月。雌雄異株。頭花の径は2～2.5cm、総苞直下に2列の魚骨状の苞がある。小花は雄花で長さ10～12mm、雌花で長さ9～11mm、白色または淡紅色。冠毛は8～9mm。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県北部、中部、東部に分布。  
[県外] 本州～九州に分布。

## オナモミ

*Xanthium strumarium*

キク科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 道端や荒地に生育する一年草。茎は高さ20～100cm、短毛がある。葉は互生し、3.5～10cmの長柄があり、葉身は卵状三角形、長さ6～15cm、3～5浅裂し、不揃いな鋸歯縁、両面に剛毛がありざらつく。花期は8～10月。雄花は葉腋から出る短い円錐花序につき、雌花は雄花序の下の葉腋につく。筒状花は白色。果実には先端が曲がった鉤状の刺があり、これらを含め長さ9～18mm、幅6～12mm。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部、東部、南部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

## ヒルムシロ

*Potamogeton distinctus*

ヒルムシロ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅰ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 池や沼に生育する多年生の水生植物。地下茎は水底の泥の中を横に這い、先端に越冬芽を作り、各節から根を出し、1節おきに水中茎を出す。水中茎は水深に応じて伸び、下部に沈水葉、上部に浮水葉を付ける。葉の大半は互生。沈水葉の葉身は披針形で薄く、長さ16cm、幅2.5cmになる。浮水葉の葉身は長楕円形で、長さ5～10cm、幅2～4cm、表面は緑色でつやがあり、裏面は黄緑色。花期は6～10月。浮水葉の葉腋から水上に花茎を上げ、先端にこん棒状の穂状花序を出す。花序は開花時に直立し水面より上に出て、花後には横たわり水中に沈む。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 北海道～琉球に分布。

## クロホシクサ

*Eriocaulon parvum*

ホシクサ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：絶滅危惧Ⅱ類

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 水田、休耕田、ため池の畔、湿地に生育する一年草。茎はごく短く、1～3cm。葉は多数、ロゼット状または茎にらせん状につき、線形で長さ4～10cm、3～5脈が格子状になり、先は著しく尖る。花期は9～10月。花茎は高さ10～20cm、少しねじれる。頭花は球形で、藍黒色、径4～5mm、白色の短毛がある。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部、東部に分布。  
[県外] 北海道～九州に分布。

## ウマスケ

*Carex idzuroei*

カヤツリグサ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 水湿地に生育する多年草。太く長い匍匐枝がある。稈は高さ55～70cm、平滑で上部はややざらつく。葉は稈と同長あるいは長く、幅4～8mm、3脈が顕著。基部の鞘は長さ3～5cm、暗赤紫色。花期は5～6月。小穂は稈の先端から15～25cmの間に4～5個つく。頂小穂は雄性で長さ2.5～5cm、線形、鱗片は蒼白色。側小穂は雌性で、長楕円形、長さ1～3cm、鱗片は淡黄褐色、光沢がある。えい果はゆるく果胞に包まれ長さ3.5～3.8mm、幅1.9～2.1mmで3稜形。柱頭は3個。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)、四国、九州に分布。

**オオアオスゲ***Carex lonchophora*

カヤツリグサ科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：—

＜選定理由＞ 希少

＜種の概要＞ 山地の道端に生育する多年草。大株となり匍匐枝はない。稈は高さ 40～60cm、上部はざらつき下部は平滑。葉は稈と同長または稈より長く、幅 2～5mm。基部の鞘は長さ 3～6cm、淡褐色～褐色、繊維状に細裂する。花期は 5～7 月。小穂は先端から 8～15cm の間に 4～5 個つく。頂小穂は雄性で長さ 1～3cm、紡錘状、鱗片は半透明。側小穂は雌性で円柱形、長さ 0.8～3cm、鱗片は蒼白色で光沢があり、超出する長い芒がある。果胞には密に毛がある。穎果は密に果胞に包まれ長さ 1.6～2mm、鈍 3 稜形、褐色～橙褐色で光沢がある。頂部には盤状付属体があり、柱頭は 3 個。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州、四国、九州に分布。

**マメツタラン***Bulbophyllum drymoglossum*

ラン科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：準絶滅危惧  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特異生態

＜種の概要＞ 山地の樹幹や岩上に着生する多年草。根茎は細長く匍匐し、まばらに葉を付ける。葉は革質、長さ 7～13mm、幅 5～10mm、円筒。花期は 5～6 月。花茎は葉の基部から出て糸状、長さ 7～10mm、基部に長さ 1.5mm の小型の鱗片葉があり 1 花を付ける。萼片は広披針形で長さ 7～8mm、側花弁は長楕円形で長さ 3～4mm。

＜分布＞ [市内] 金華で記録がある。  
[県内] 県中部に分布。  
[県外] 本州(関東地方以西)～琉球に分布。

**エビネ***Calanthe discolor*

ラン科

岐阜市：情報不足  
岐阜県：絶滅危惧Ⅱ類  
環境省：準絶滅危惧

＜選定理由＞ 希少、特異生態

＜種の概要＞ 雑木林の下などに生育する多年草。偽球茎は球状。葉は 2～3 枚ついて、長さ 15～25cm、幅 5～8cm。花期は 4～5 月。花茎は高さ 20～40cm、花序には短毛があり、ややまばらに 8～15 花を付ける。花被片は暗褐色。側花弁は萼片よりやや狭く同長。唇弁は萼片と同長、帯紅色または白色で扇形、3 深裂し、側裂片は広いくさび形。花被片や唇弁の色に種々の変異がある。

＜分布＞ [市内] 三輪北で記録がある。  
[県内] 県内全域に分布。  
[県外] 北海道(西南部)～琉球に分布。